

第2章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

(報告書案)

1 回答の属性

(1) 調査票の記入者

	回答数（人）	割合（％）
宛名のご本人が記入	2,319	92.9
ご家族が記入	91	3.6
その他	0	0.0
無回答	87	3.5
総数	2,497	100.0

(2) 本人の年齢

	回答数（人）	割合（％）
65～74 歳	1,177	47.1
65～69 歳	564	22.6
70～74 歳	613	24.5
75 歳以上	1,184	47.4
75～79 歳	502	20.1
80～84 歳	391	15.7
85～89 歳	216	8.7
90 歳以上	75	3.0
無回答	136	5.4
総数	2,497	100.0

(3) 本人の認定状況

	回答数（人）	割合（％）
一般高齢者	2,162	86.6
要支援者	134	5.4
要支援 1	80	3.2
要支援 2	54	2.2
無回答	201	8.0
総数	2,497	100.0

※ 本文・図表中では、高齢者のうち、要支援・要介護認定を受けていない方（非該当又は事業対象者の方）を一般高齢者と表記している

(4) 本人の住所（地域包括支援センターごと）

	回答数（人）	割合（％）
もとまち	405	16.2
こいがくぼ	419	16.8
ほんだ	394	15.8
ひよし	409	16.4
ひかり	413	16.5
なみき	409	16.4
無回答	48	1.9
総数	2,497	100.0

(5) 本人の住所（地域包括支援センター）別年齢構成

上段：人，下段：％

	65～74 歳			75 歳以上					無回答	総数
	65～69 歳	70～74 歳	計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計		
もとまち	107 26.4	105 25.9	212 52.3	65 16.0	65 16.0	30 7.4	11 2.7	171 42.2	22 5.4	405 100.0
こいがくぼ	93 22.2	92 22.0	185 44.2	94 22.4	66 15.8	49 11.7	9 2.1	218 52.0	16 3.8	419 100.0
ほんだ	100 25.4	109 27.7	209 53.0	80 20.3	54 13.7	29 7.4	12 3.0	175 44.4	10 2.5	394 100.0
ひよし	84 20.5	108 26.4	192 46.9	80 19.6	76 18.6	37 9.0	11 2.7	204 49.9	13 3.2	409 100.0
ひかり	98 23.7	102 24.7	200 48.4	81 19.6	54 13.1	38 9.2	16 3.9	189 45.8	24 5.8	413 100.0
なみき	81 19.8	92 22.5	173 42.3	101 24.7	73 17.8	32 7.8	15 3.7	221 54.0	15 3.7	409 100.0
無回答	1 2.1	5 10.4	6 12.5	1 2.1	3 6.3	1 2.1	1 2.1	6 12.5	36 75.0	48 100.0
総数	564 22.6	613 24.5	1,177 47.1	502 20.1	391 15.7	216 8.7	75 3.0	1,184 47.4	136 5.4	2,497 100.0

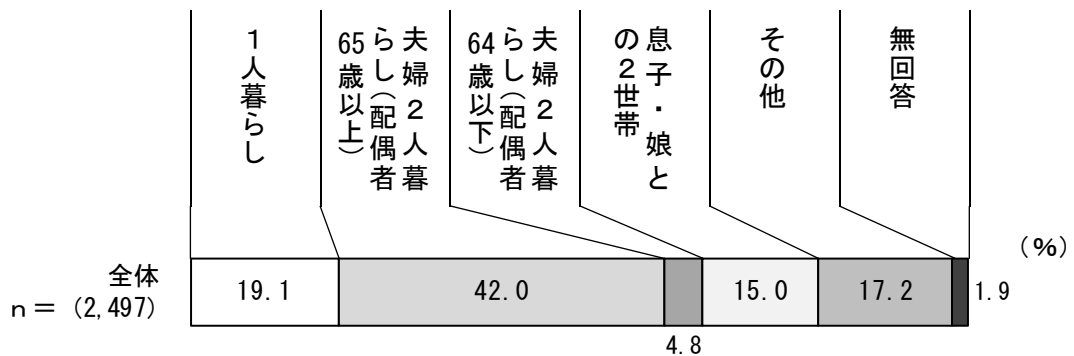
2 家族や生活状況

(1) 家族構成

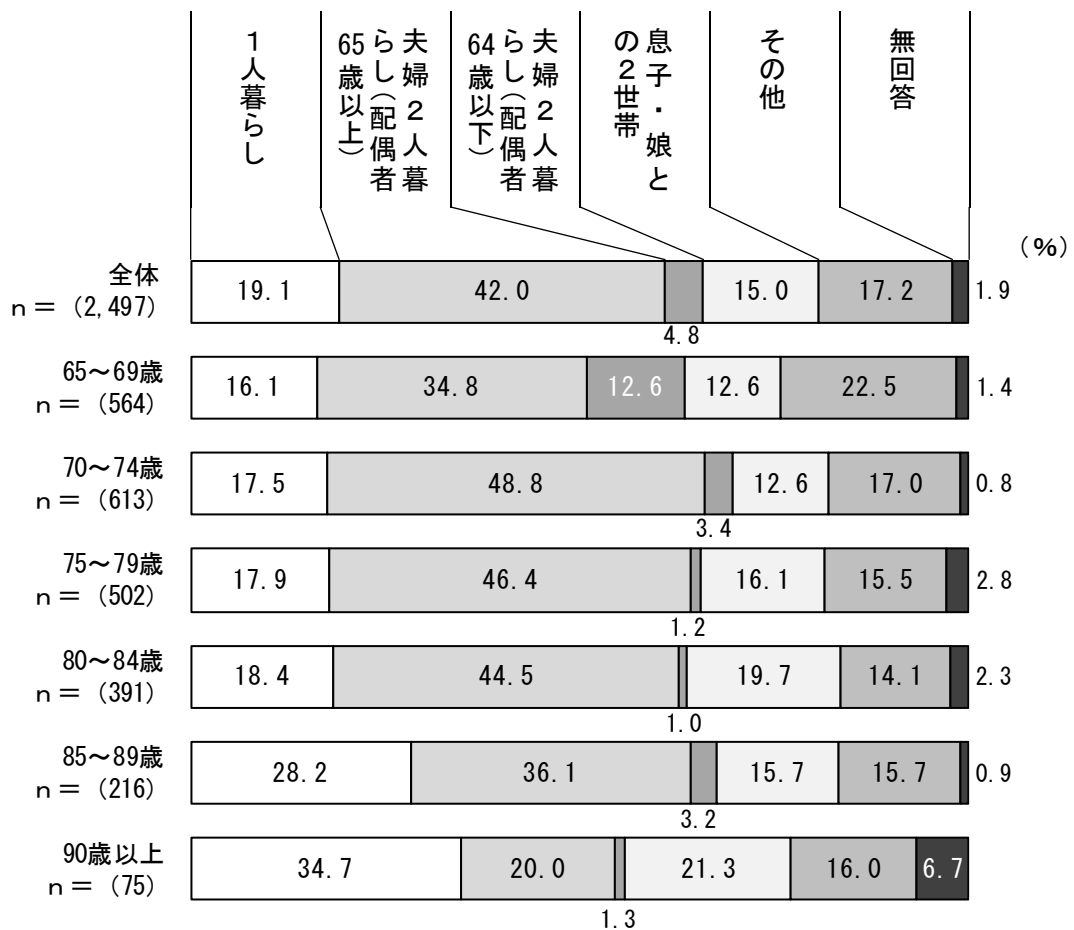
問1 (1) 家族構成を教えてください

本人の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.0%で最も多く、次いで「1人暮らし」（19.1%）, 「その他」（17.2%）, 「息子・娘との2世帯」（15.0%）等が続いています。
年齢別にみると、「1人暮らし」の割合は、90歳以上が34.7%で最も多くなっています。

【家族構成】



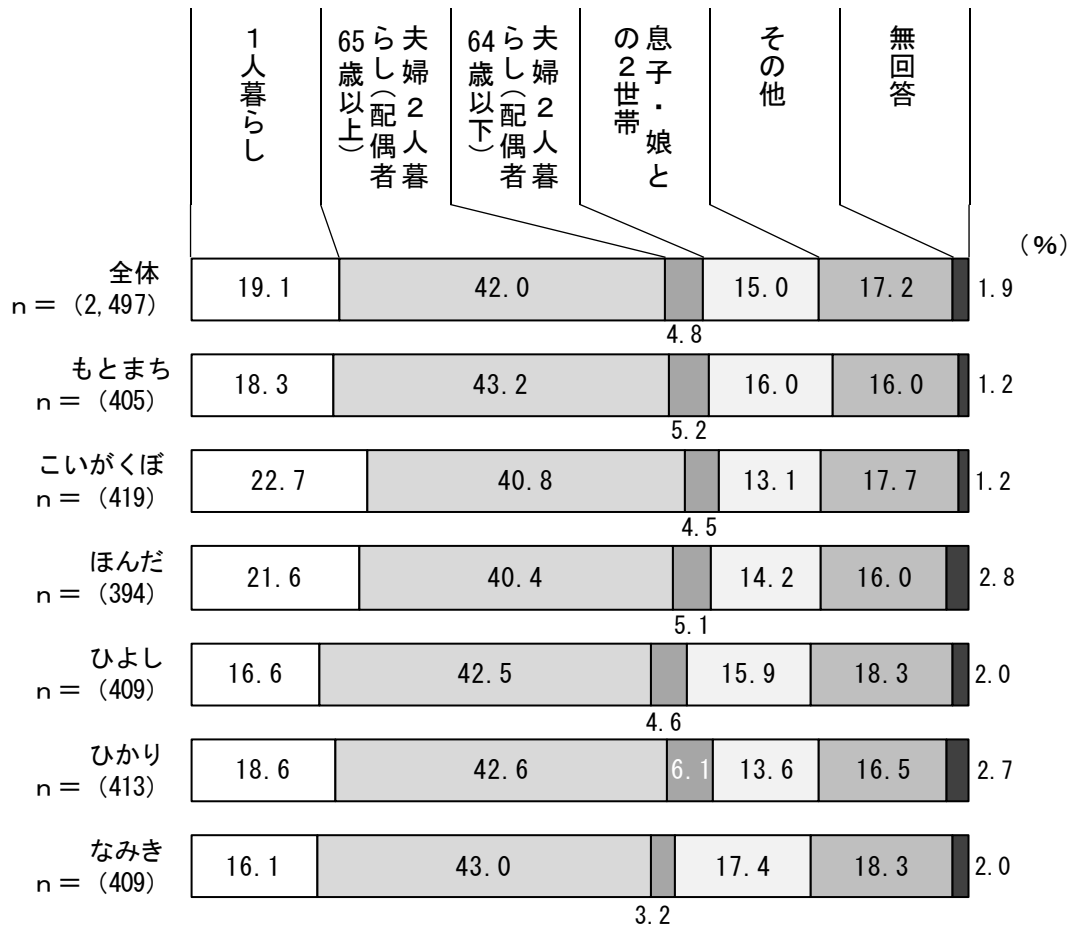
【家族構成：年齢別】



地域包括支援センター別にみると、「1人暮らし」の割合は、こいがくぼが22.7%で最も多く、ほんだ(21.6%)、ひかり(18.6%)、もとまち(18.3%)が続いています。

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」を合わせた割合は、ひかりが48.7%で最も多く、次いでもとまち(48.4%)、ひよし(47.1%)が続いています。

【家族構成：地域包括支援センター別】



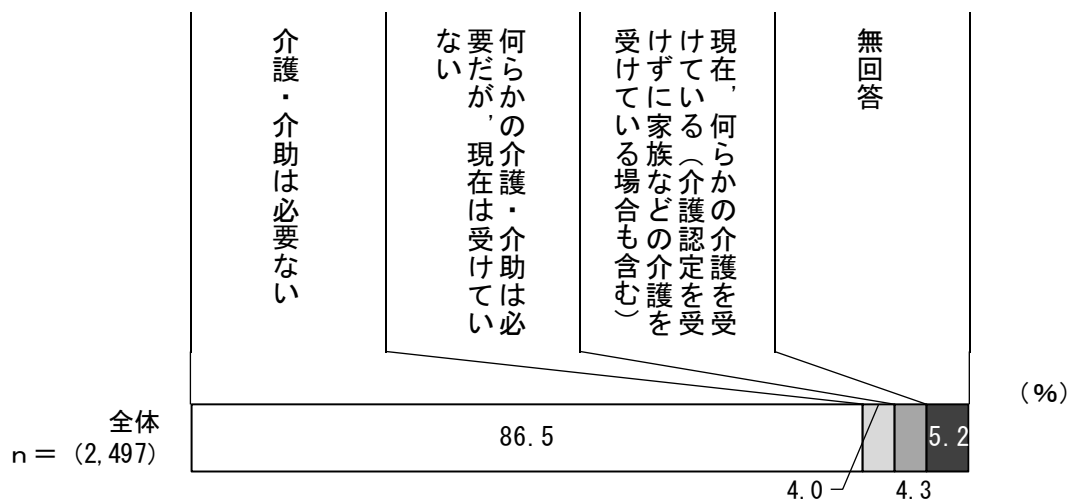
(2) 介護・介助の必要性

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

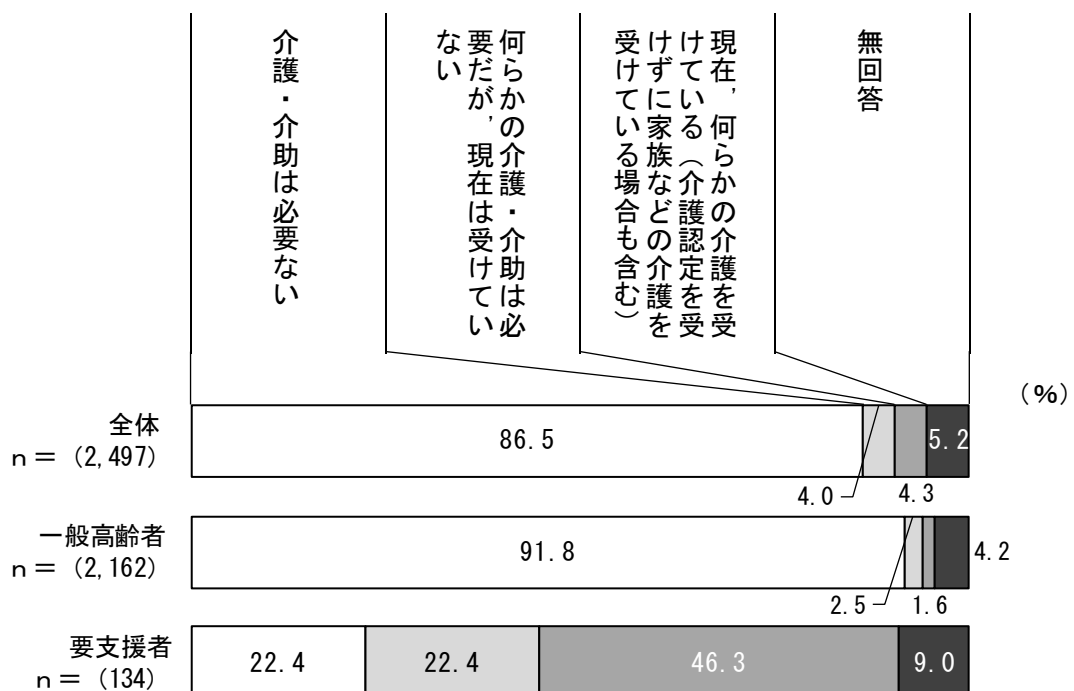
介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が 86.5%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（4.3%）、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（4.0%）が続いています。

認定状況別にみると、要支援者では「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が 46.3%で最も多く、次いで「介護・介助は必要ない」、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（それぞれ 22.4%）が続いています。

【介護・介助の必要性】



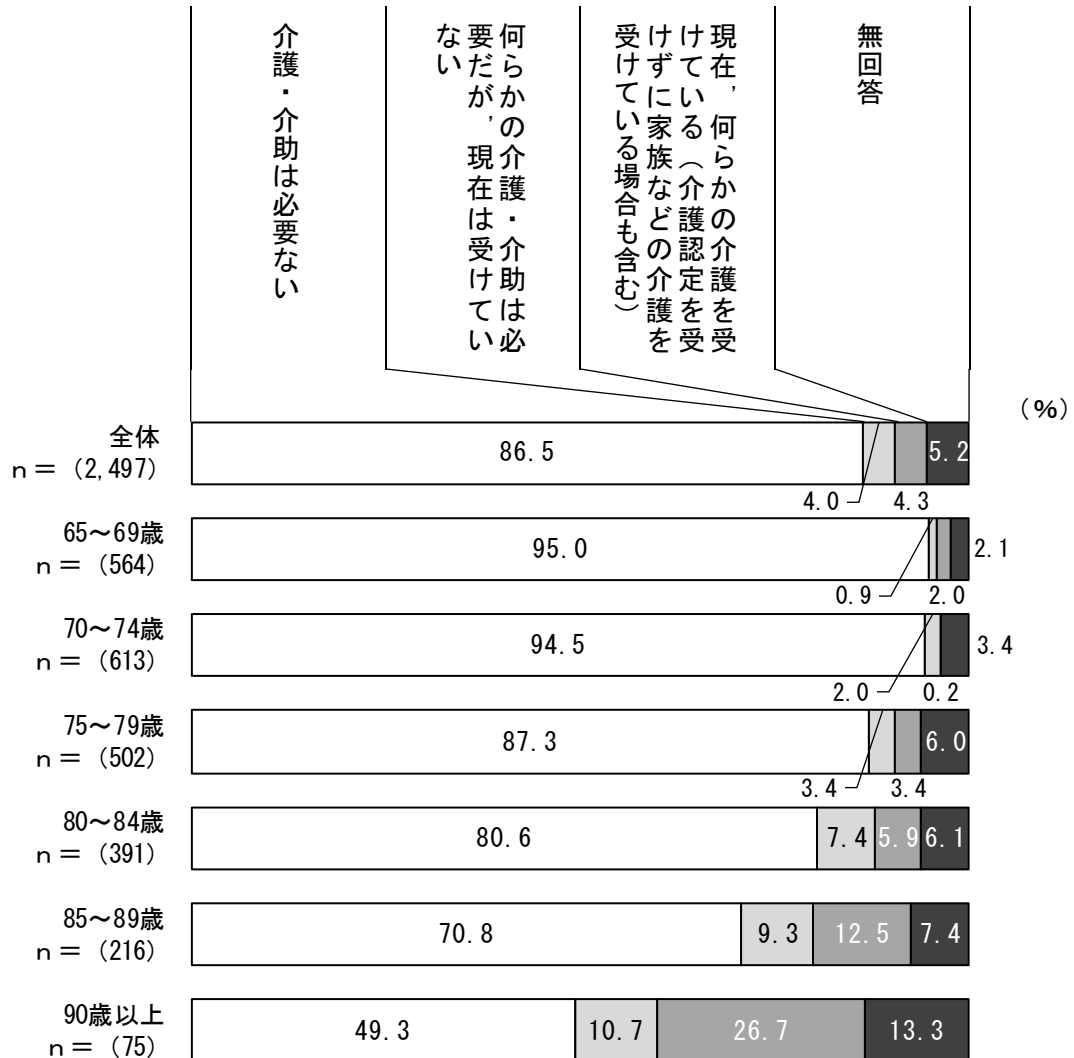
【介護・介助の必要性：認定状況別】



年齢別にみると、年齢が上がるとともに「介護・介助は必要ない」の割合が減少しています。

一方で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は増加しており、80歳～84歳で7.4%、85歳～89歳で9.3%、90歳以上で10.7%となっています。

【介護・介助の必要性：年齢別】



(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【問1(2)において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を選択した方のみ】

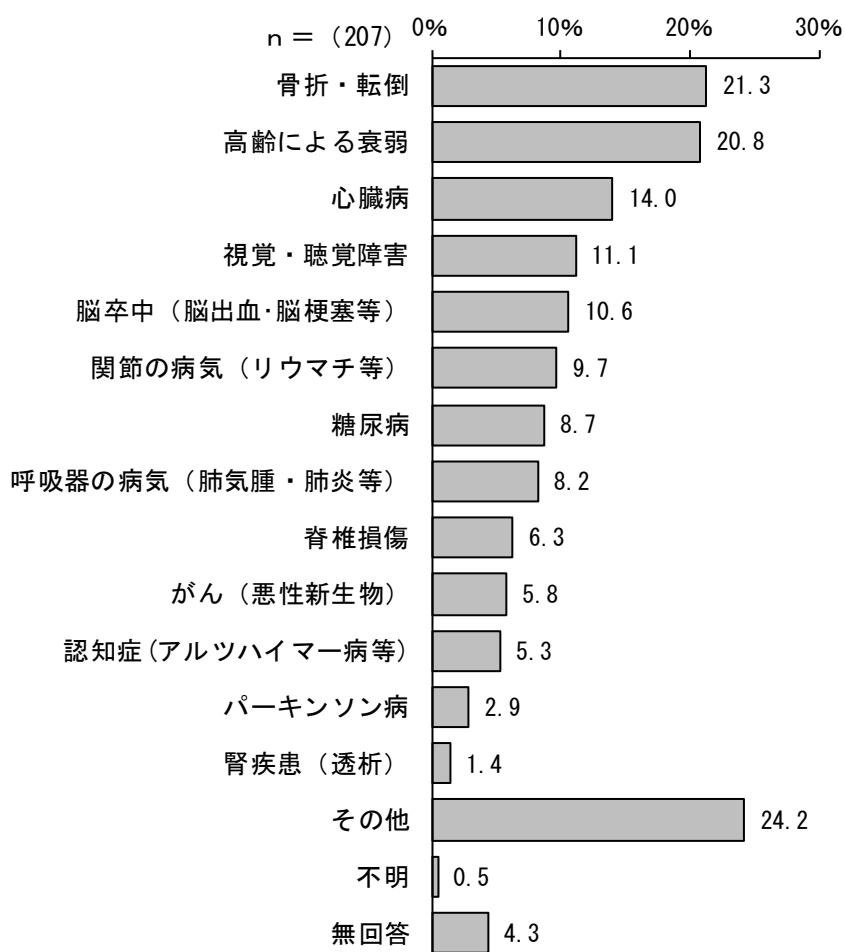
問1(2)①介護・介助が必要になった主な原因を教えてください

(あてはまるものすべてに○)

問1(2)において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方が、介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」が21.3%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」(20.8%)、「心臓病」(14.0%)、「視覚・聴覚障害」(11.1%)、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」(10.6%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「脊柱管狭窄症」、「変形性膝関節症」、「坐骨神経痛」、「高血圧」、「うつ病」、「甲状腺の病気」、「逆流性食道炎」、「パーキンソン症候群」、「腰痛」等となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因】(複数回答)



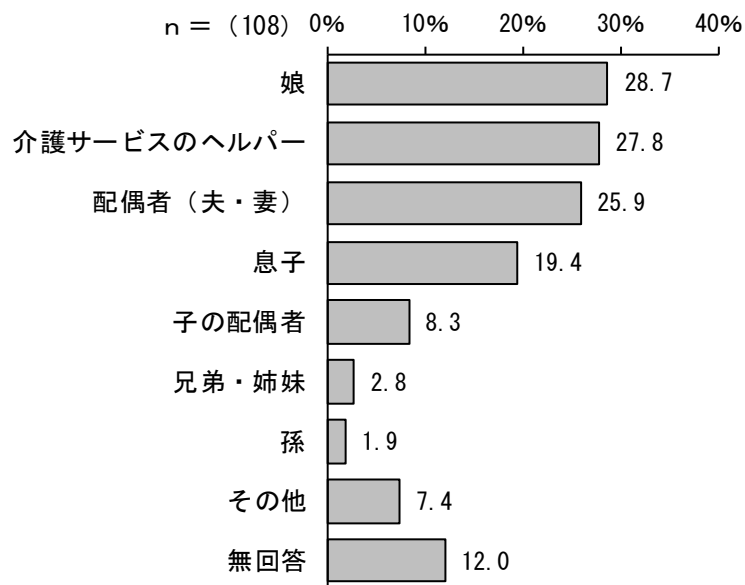
(4) 主な介護・介助者

【問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を選択した方のみ】

問1(2)②主にどなたの介護、介助を受けていますか（あてはまるものすべてに○）

問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方の主な介護・介助者は、「娘」が28.7%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」(27.8%)、「配偶者（夫・妻）」(25.9%)等が続いています。

【主な介護・介助者】（複数回答）



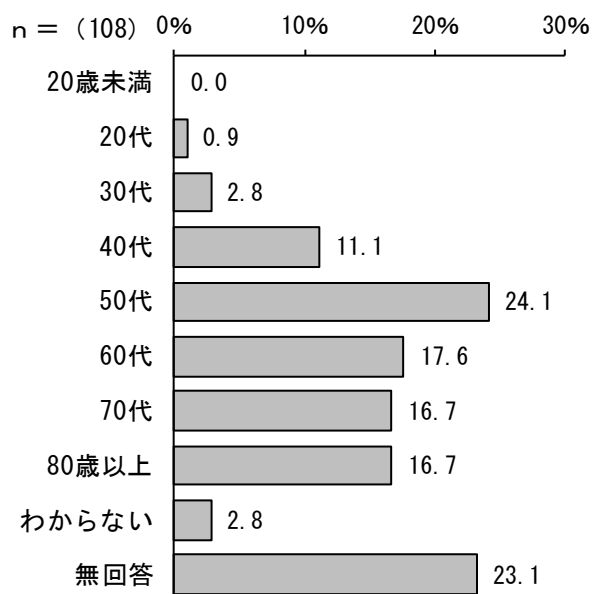
(5) 主な介護・介助者の年齢

【問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を選択した方のみ】

問1(2)③主な介護・介助者の方の年齢を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方の主な介護・介助者の年齢は、「50代」が24.1%で最も多く、次いで「60代」(17.6%)、「70代」,「80歳以上」(それぞれ16.7%)等が続いています。

【主な介護・介助者の年齢】(複数回答)



※ 今回調査から新たに追加された設問

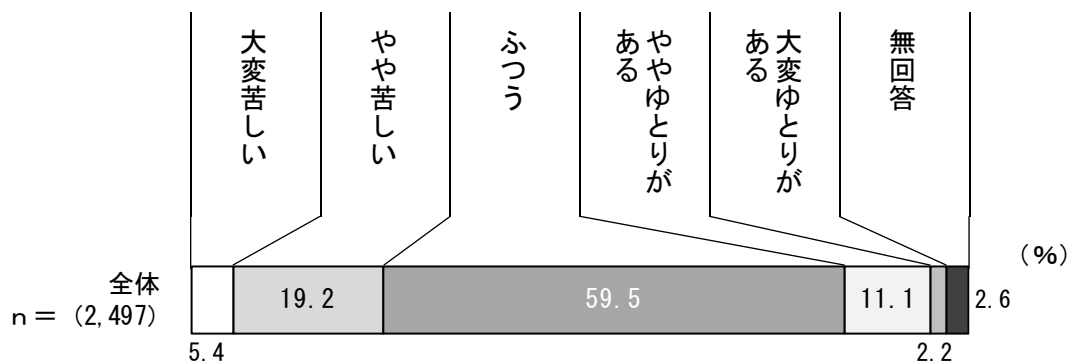
(6) 暮らしの状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

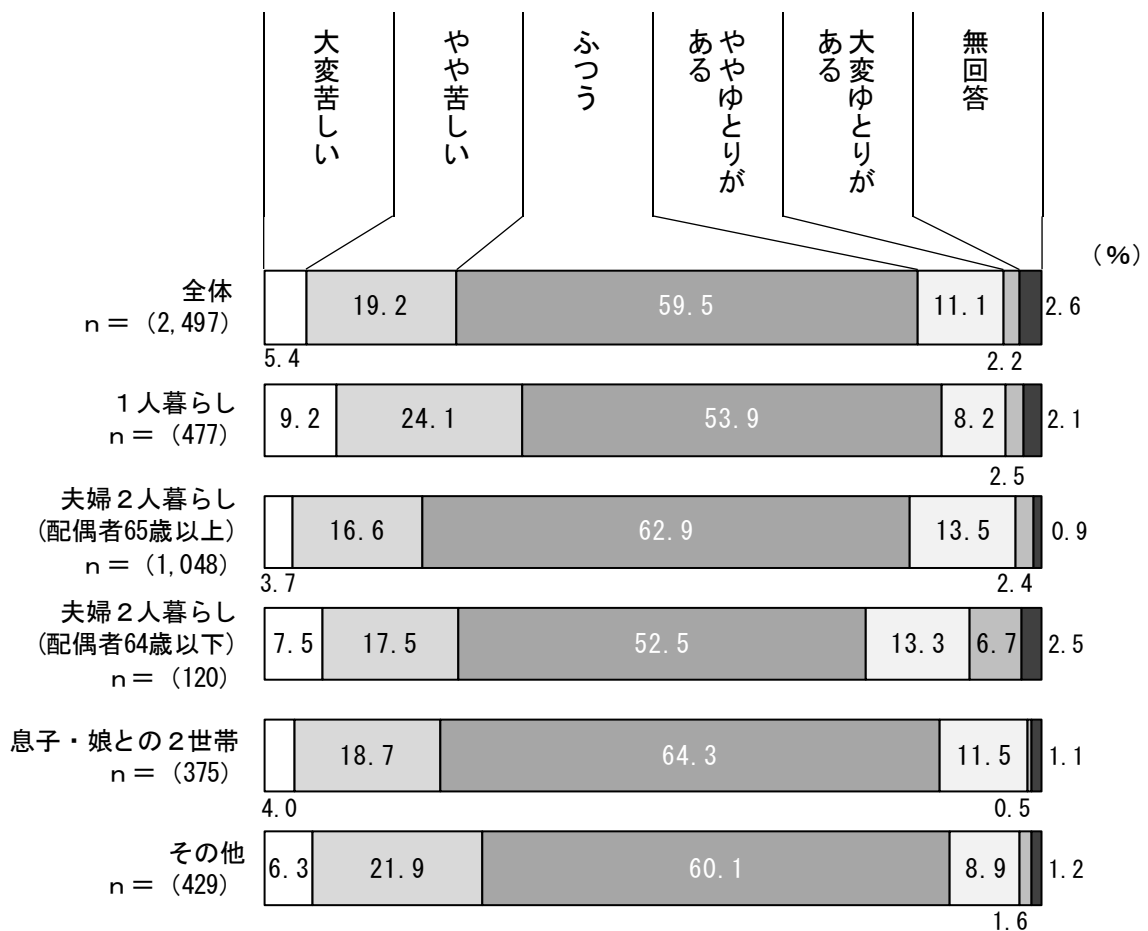
現在の経済的な暮らしの状況は、「ふつう」が 59.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」(19.2%)、「ややゆとりがある」(11.1%)、「大変苦しい」(5.4%)、「大変ゆとりがある」(2.2%)が続いています。

家族構成別にみると、「(大変・やや) 苦しい」を合わせた割合は、1人暮らしで 33.3%と最も多くなっています。

【暮らしの状況】

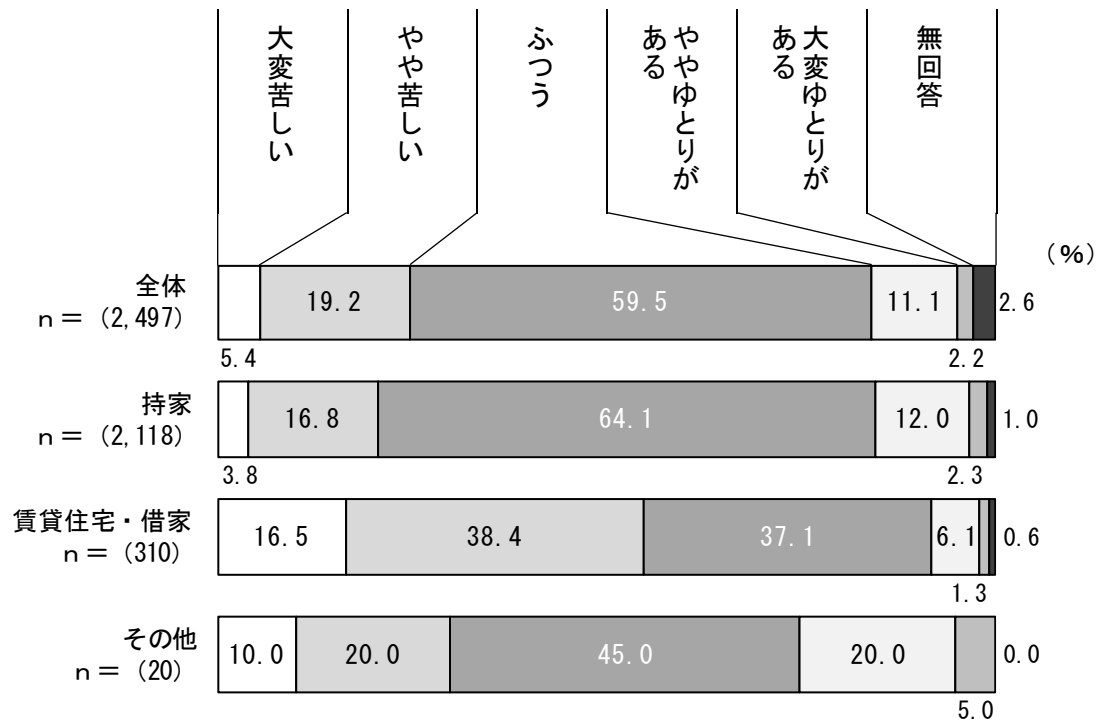


【暮らしの状況：家族構成別】



住まい別（次ページ参照）にみると、「(大変・やや) 苦しい」を合わせた割合は、賃貸住宅・借家で 54.9%と持家等に比べて多くなっています。

【暮らしの状況：住まい別】



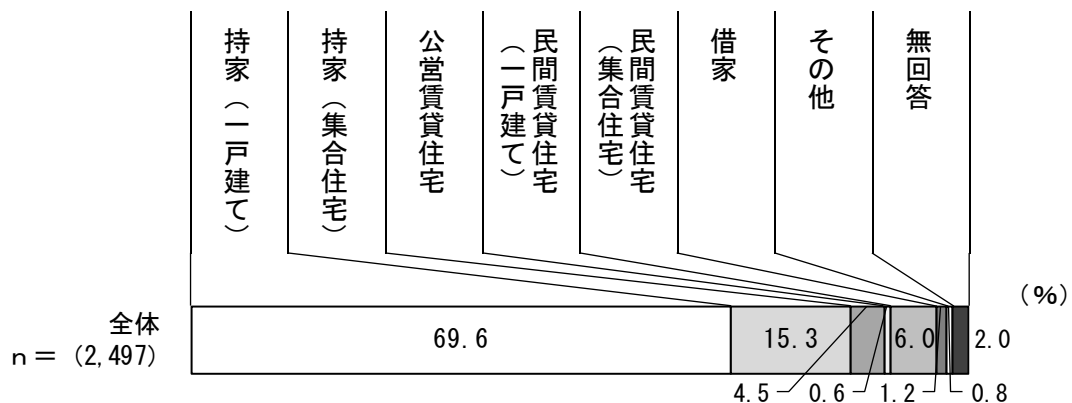
(7) 住まい

問1 (4) お住まいの種類を教えてください

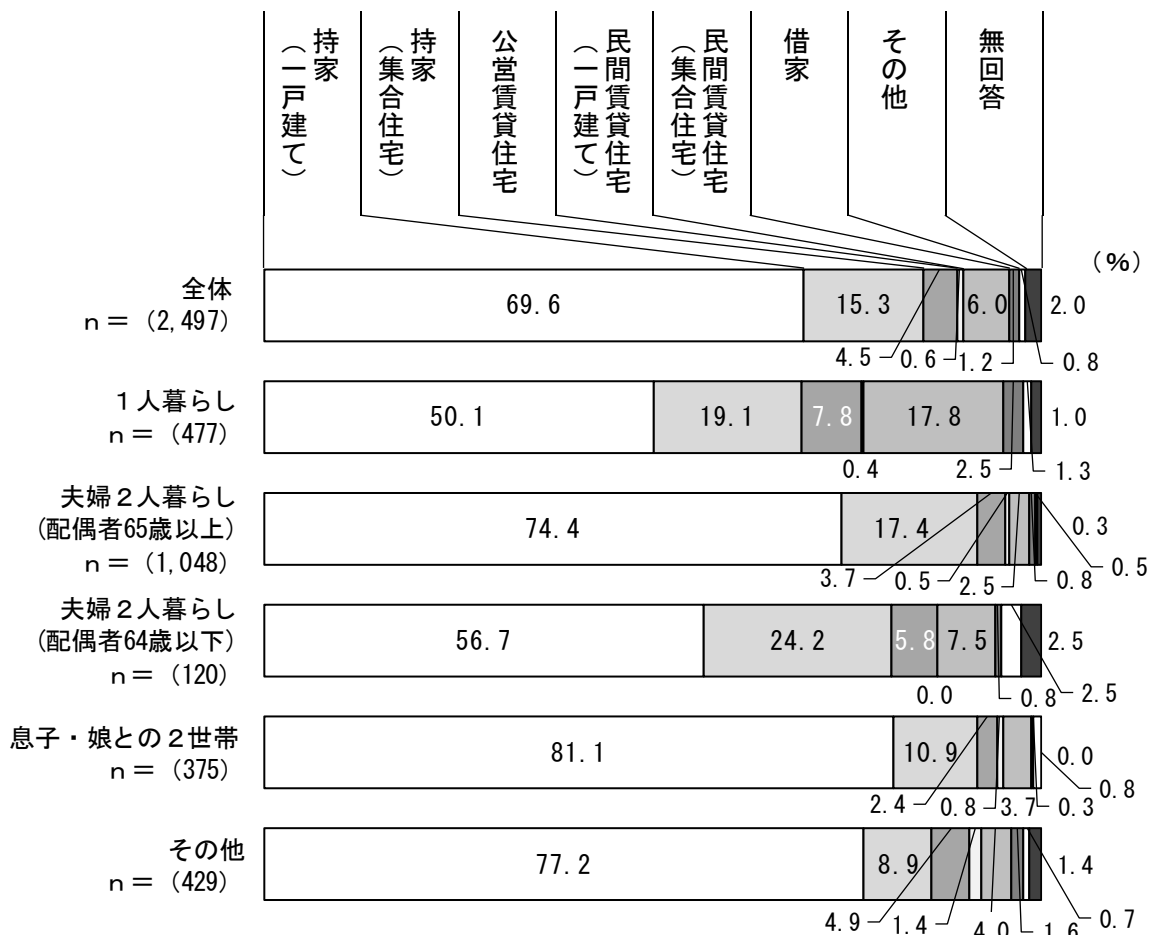
現在の住まいについては、「持家（一戸建て）」が 69.6%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」(15.3%), 「民間賃貸住宅（集合住宅）」(6.0%), 「公営賃貸住宅」(4.5%) 等が続いています。

家族構成別にみると、1人暮らしで「民間賃貸住宅（集合住宅）」(17.8%) と「公営賃貸住宅」(7.8%) の割合が他の家族構成に比べて多くなっています。

【住まい】

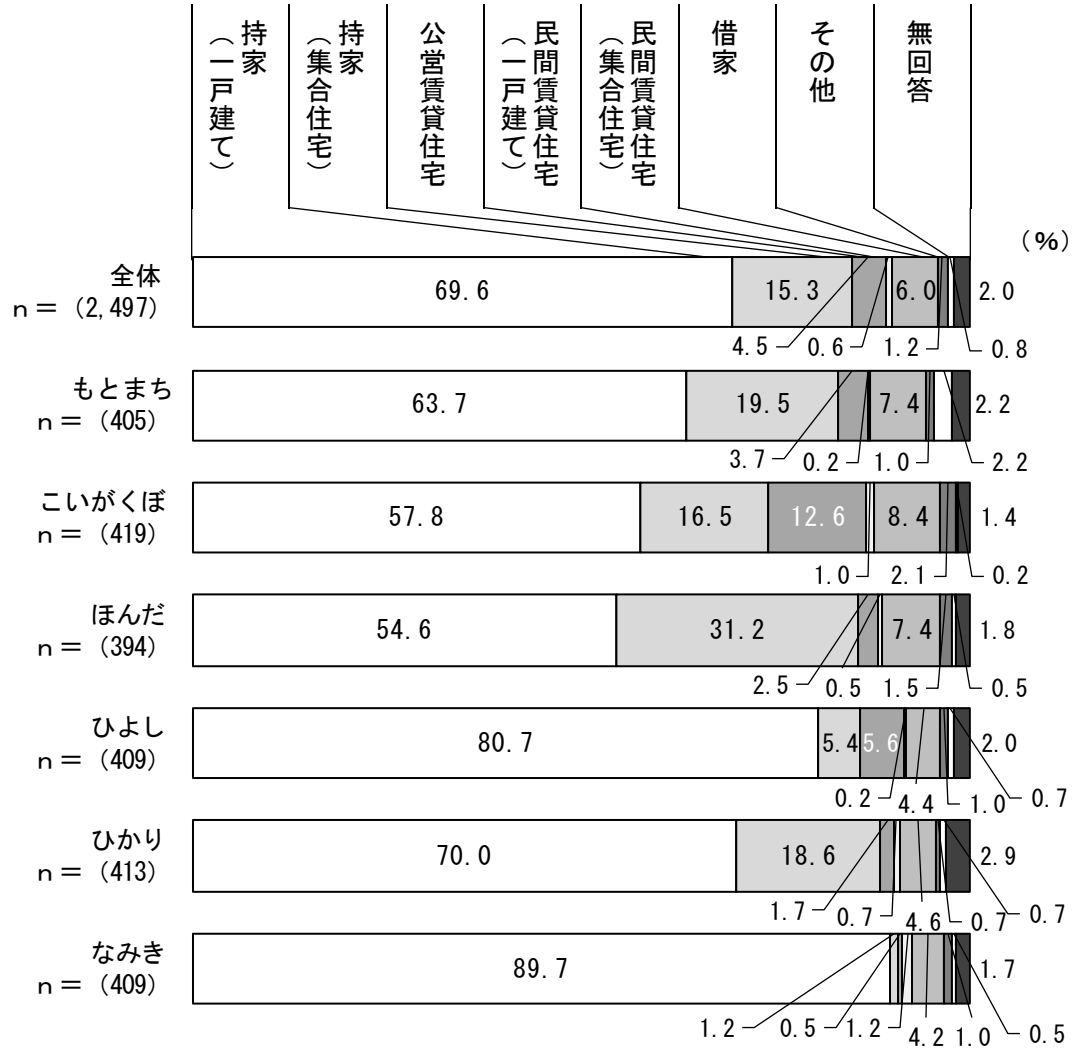


【住まい：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、なみきで「持家（一戸建て）」の割合が 89.7%と、他の地域包括支援センターに比べて多くなっています。

【住まい：地域包括支援センター別】



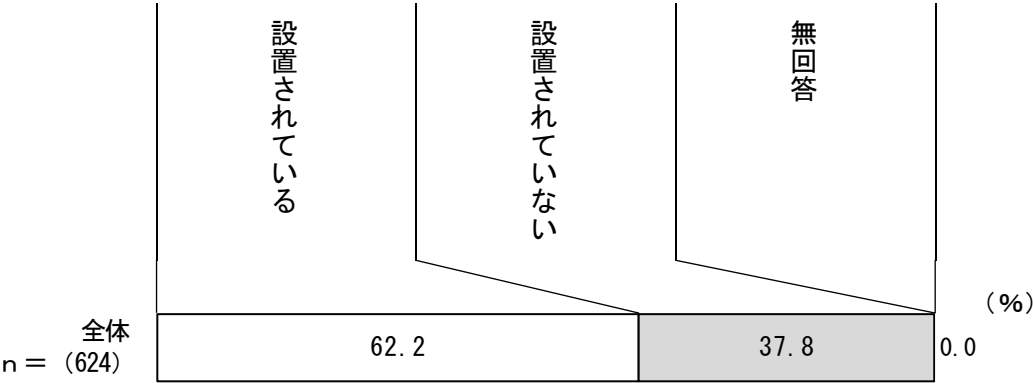
(8) エレベーター又はエスカレーターの設置状況

【問1(4)において「持家(集合住宅)」、「公営賃貸住宅」、「民間賃貸住宅(集合住宅)」を選択した方で、2階以上の階にお住まいの方のみ】

問1(4)①お住まいの集合住宅に、エレベーター又はエスカレーターは設置されていますか

問1(4)において「持家(集合住宅)」、「公営賃貸住宅」、「民間賃貸住宅(集合住宅)」で2階以上の階に住んでいる方にエレベーター又はエスカレーターの設置状況について聞いたところ、「設置されている」が62.2%となっています。

【エレベーター又はエスカレーターの設置状況】



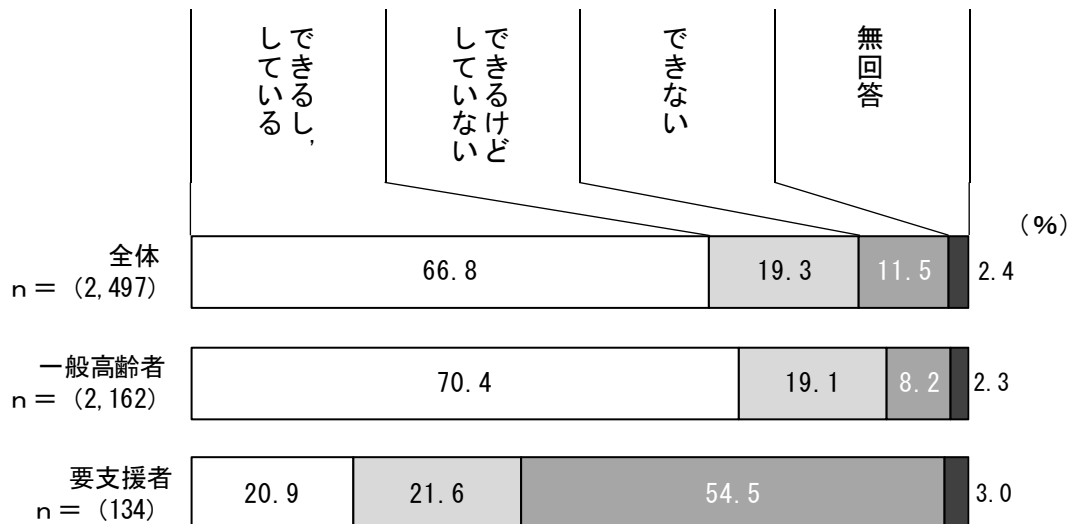
3 からだを動かすこと

(1) 階段を昇ること

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が 66.8%で最も多く、次いで「できるけど、していない」(19.3%) 等が続いています。

【階段を昇ること：認定状況別】

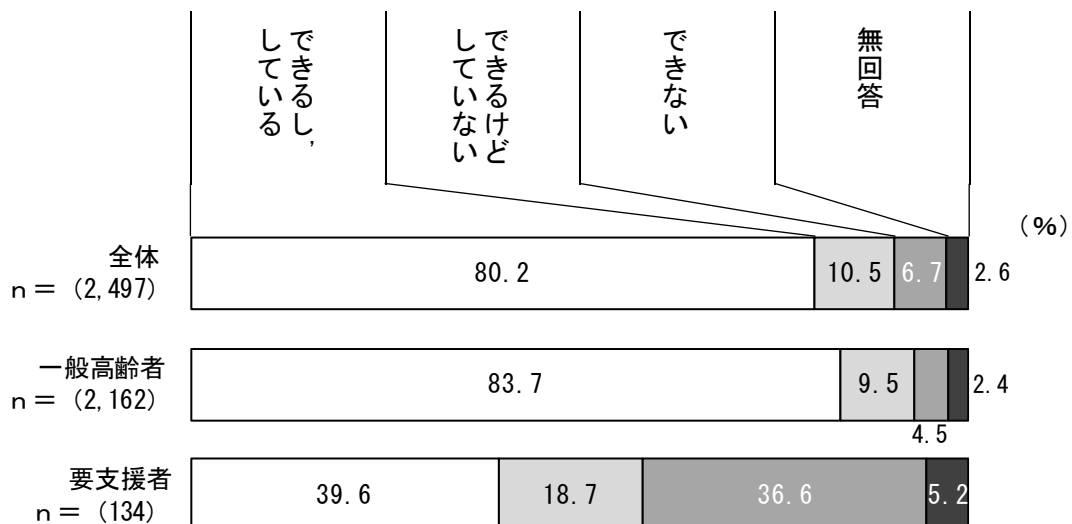


(2) 椅子からの立ち上がり

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が 80.2%で最も多く、次いで「できるけど、していない」(10.5%) 等が続いています。

【椅子からの立ち上がり：認定状況別】

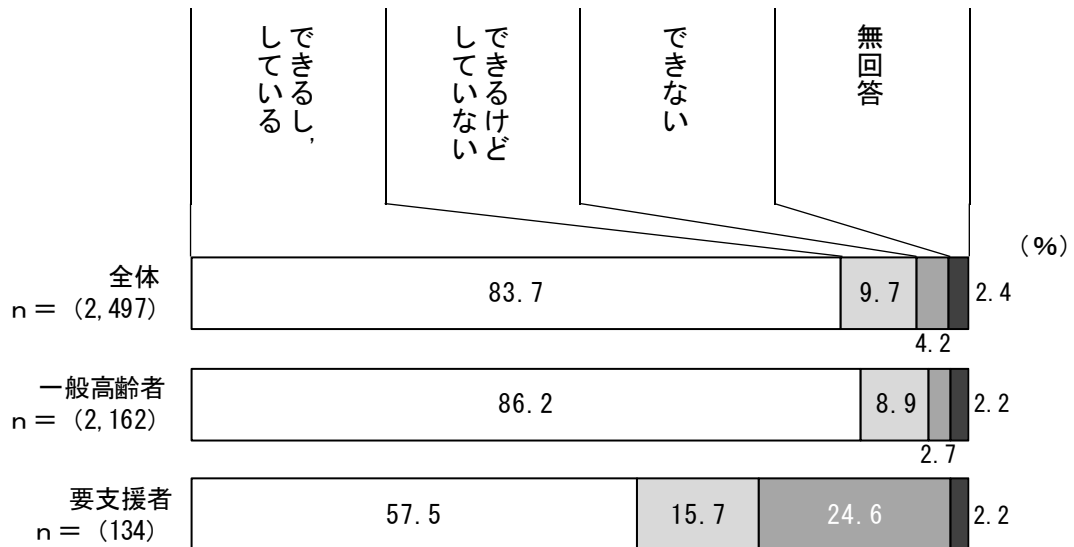


(3) 15分程度の歩行

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が83.7%で最も多く、次いで「できるけど、していない」(9.7%)等が続いています。

【15分程度の歩行：認定状況別】

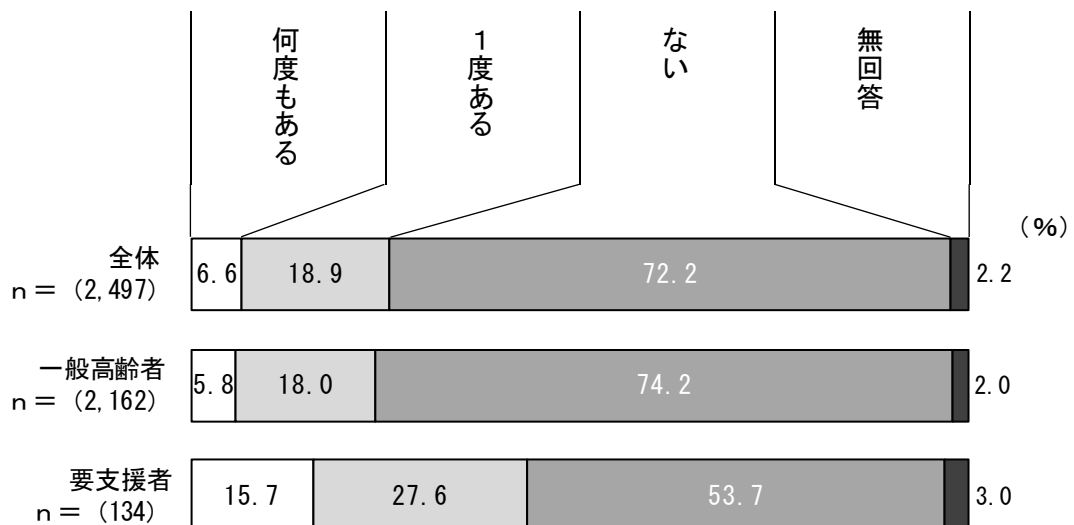


(4) 転倒の経験

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間の転倒経験については、「ない」が72.2%で最も多く、次いで「1度ある」(18.9%)等が続いています。

【転倒の経験：認定状況別】

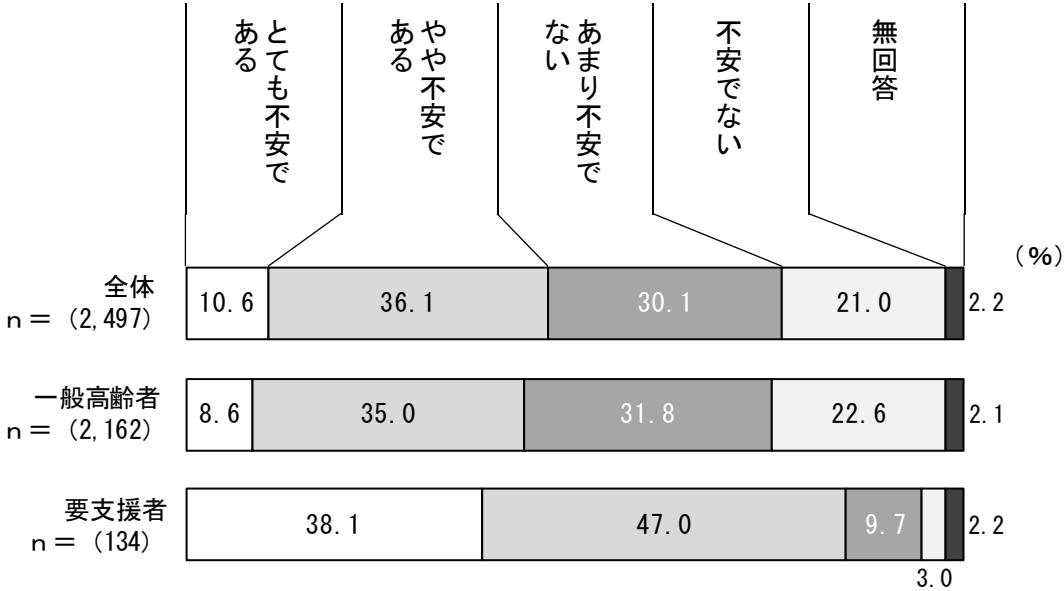


(5) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安については、「やや不安である」が 36.1%で最も多く、次いで「あまり不安でない」(30.1%) 等が続いています。

【転倒に対する不安：認定状況別】



（6）運動器機能の低下

今回の調査票の問2（1）～（5）は、運動器の機能低下を問う設問です。3問以上、該当する選択肢（下表のとおり）を回答した場合は、運動器機能が低下している高齢者になります。

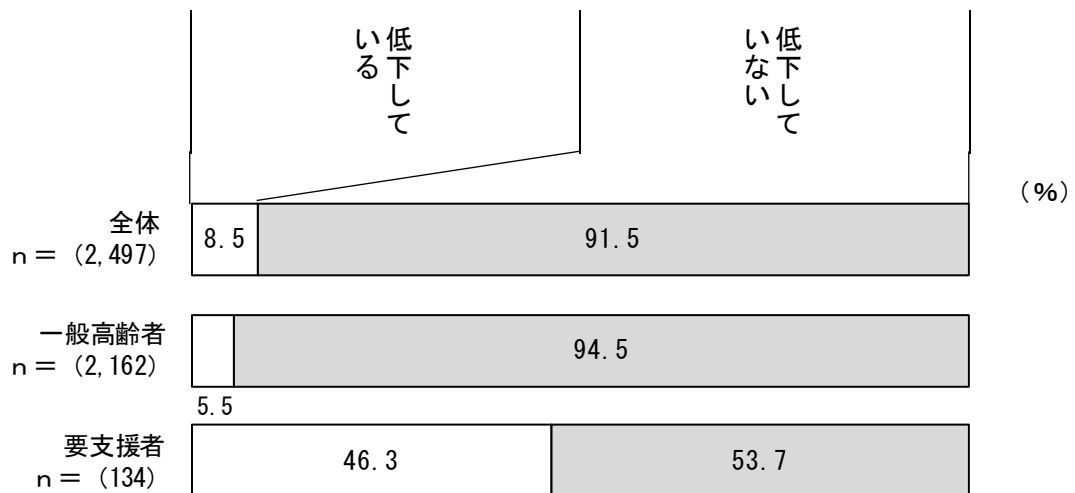
【運動器機能の低下に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2（1）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
問2（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
問2（3）	15分位続けて歩いていますか	「できない」
問2（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」「1度ある」
問2（5）	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」「やや不安である」

該当する選択肢の回答結果から、運動機能が低下している高齢者は8.5%となっています。

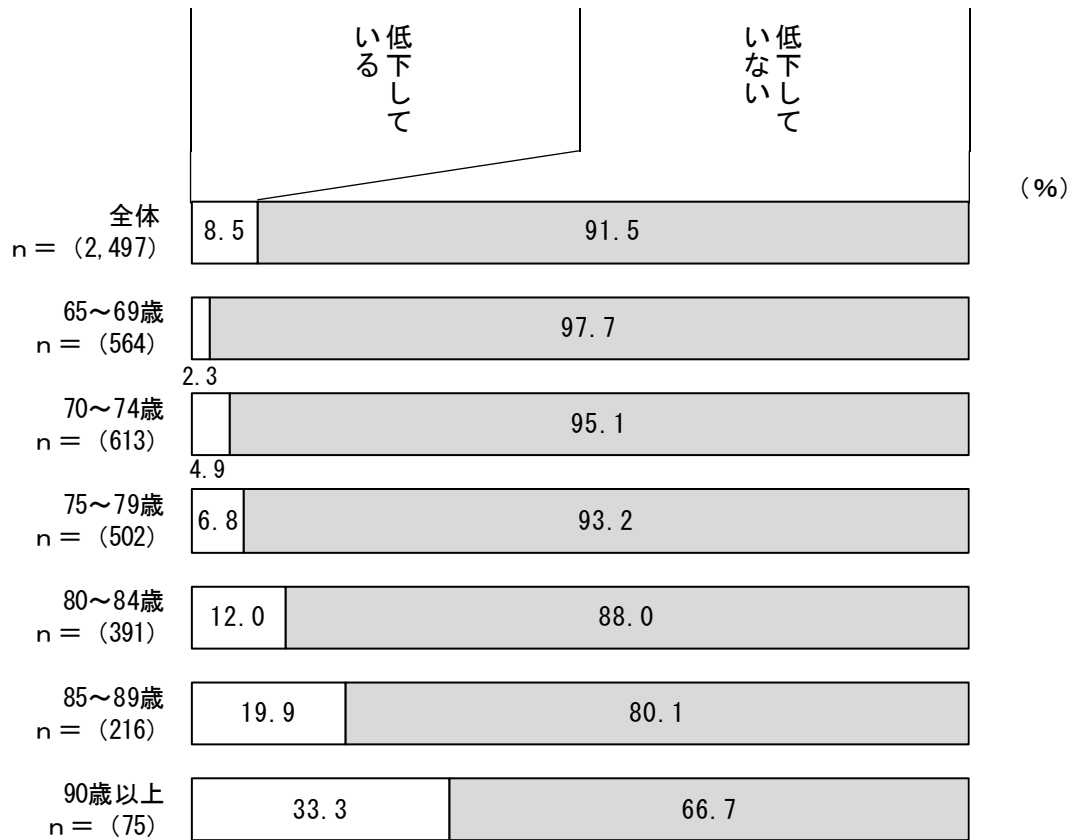
認定状況別にみると、要支援者が46.3%となり、一般高齢者に比べ運動器機能の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【運動器機能の低下：認定状況別】



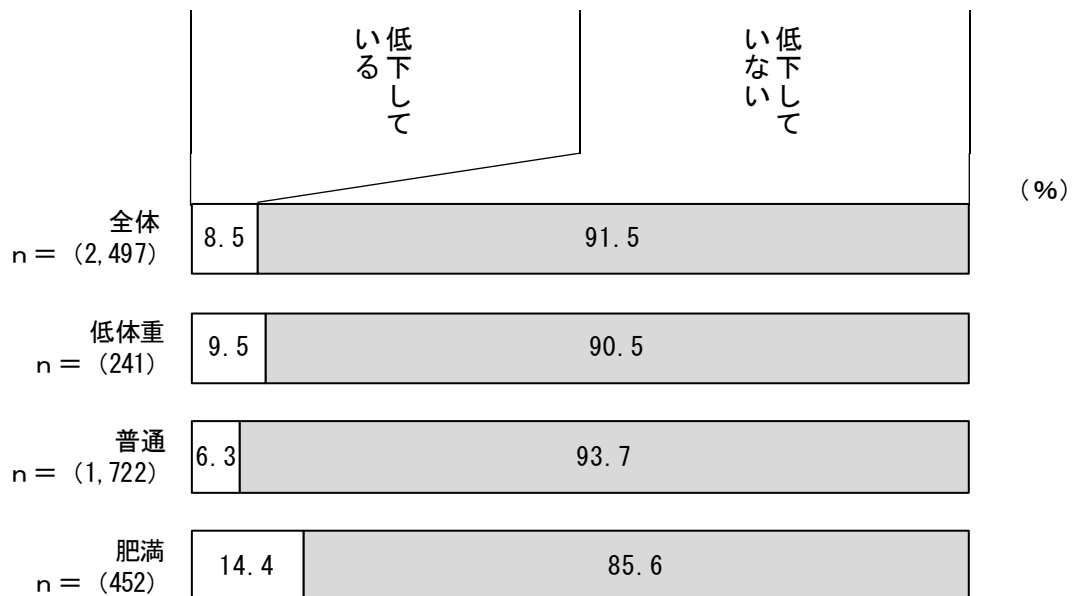
年齢別にみると、年齢が上がるとともに運動器機能の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【運動器機能の低下：年齢別】



肥満度別にみると、肥満が14.4%と最も多くなっています。

【運動器機能の低下：肥満度別】

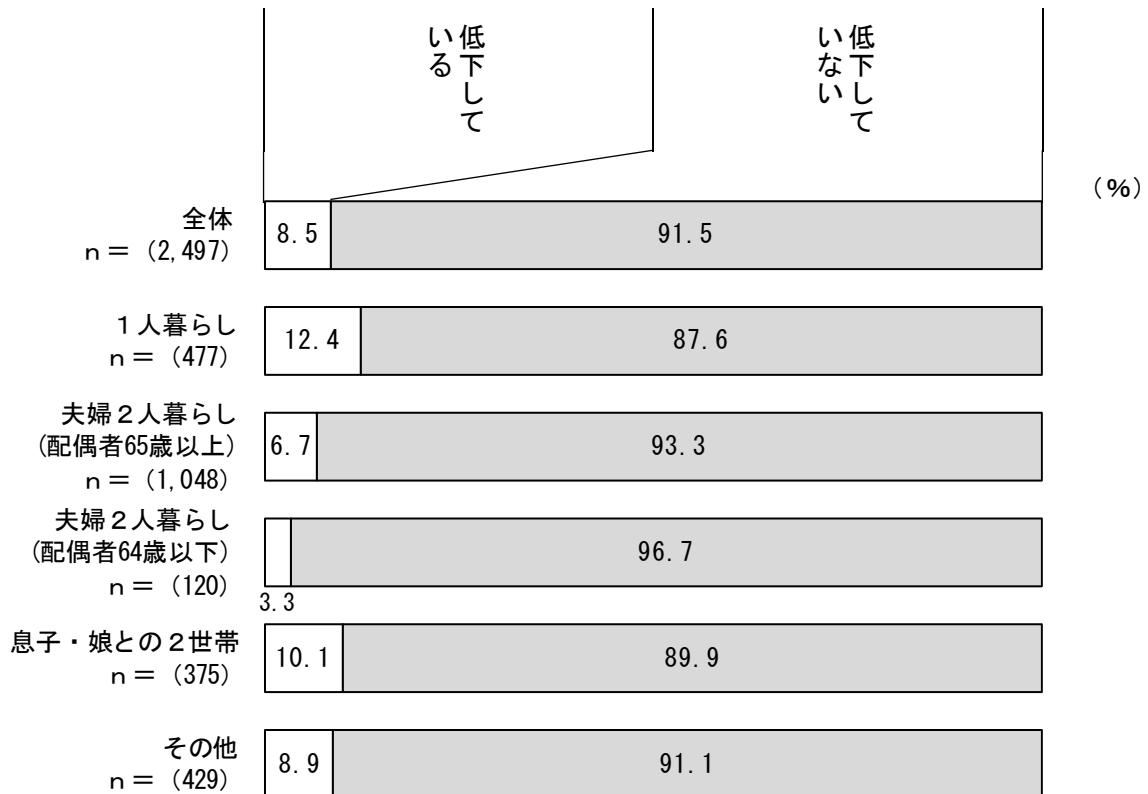


※ 肥満度別は、問3（1）から算出したBMIが18.5未満を「低体重」、18.5以上25未満を「普通」、25以上を「肥満」として集計

（BMI（体格指数）：体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））によって求められる値）

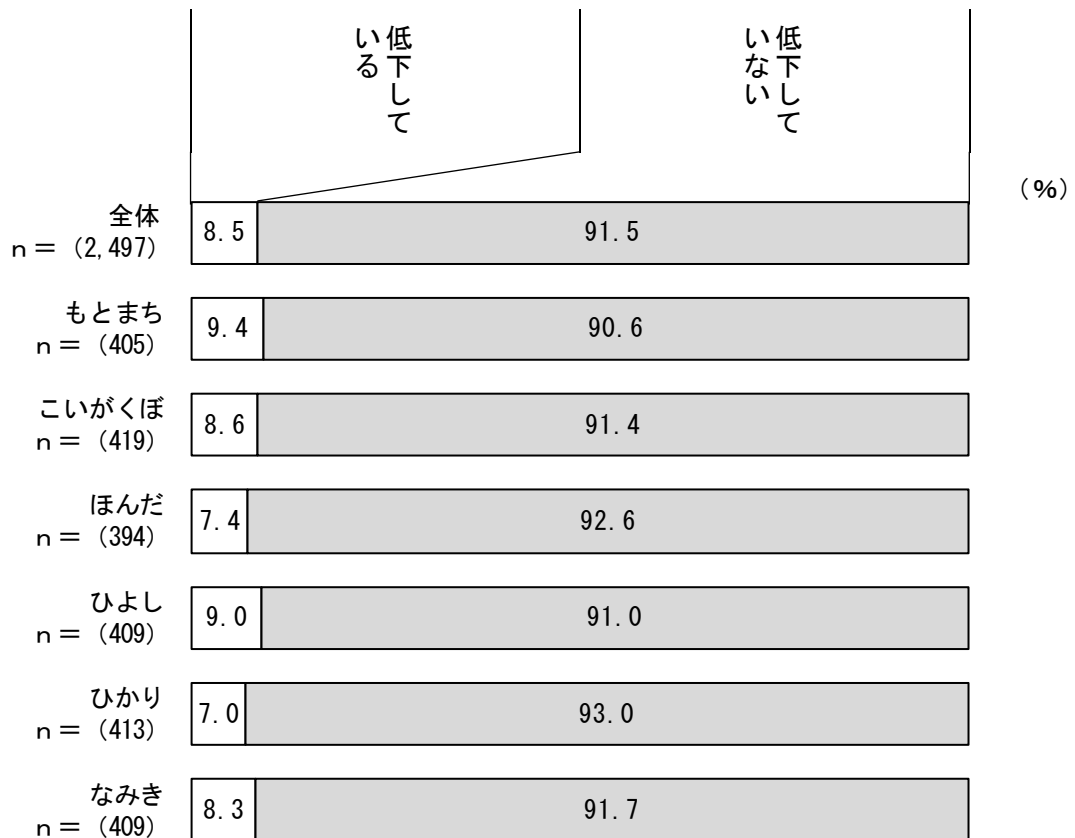
家族構成別にみると、1人暮らしが12.4%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯（10.1%）等が続いています。

【運動器機能の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【運動器機能の低下：地域包括支援センター別】



(7) 転倒リスク

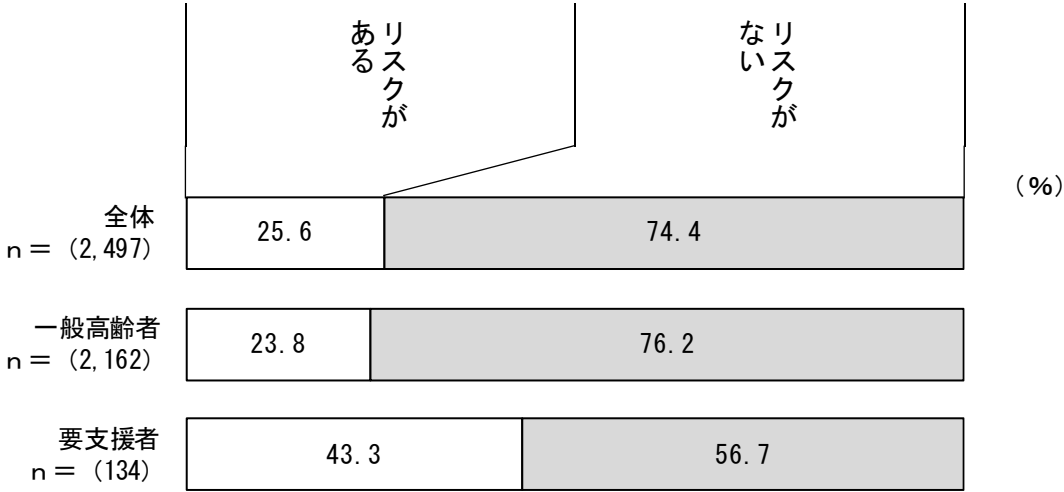
今回の調査票の問2(4)は、転倒リスクを問う設問です(調査結果は19ページ参照)。「何
度もある」又は「1度ある」を回答した場合は転倒リスクのある高齢者になります。

【転倒リスクに関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」「1度ある」

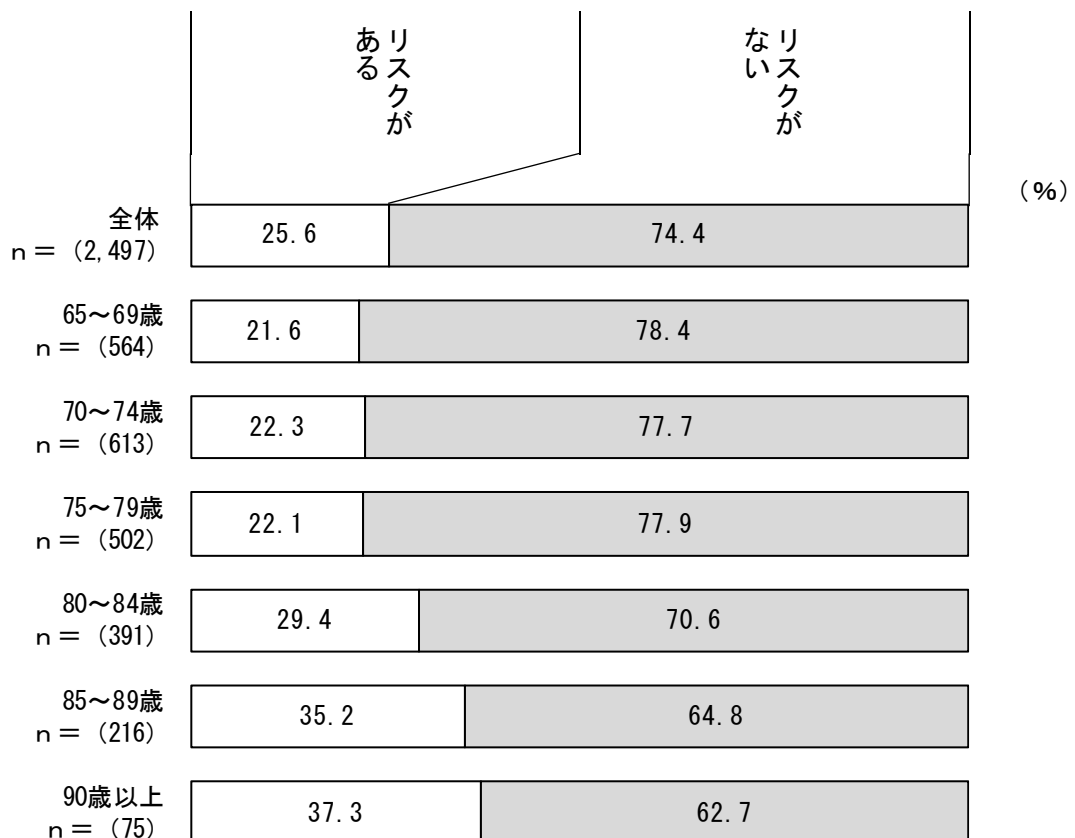
該当する選択肢の回答結果から、転倒リスクのある高齢者は25.6%となっています。
認定状況別にみると、要支援者が43.3%、一般高齢者が23.8%となっています。

【転倒リスク：認定状況別】



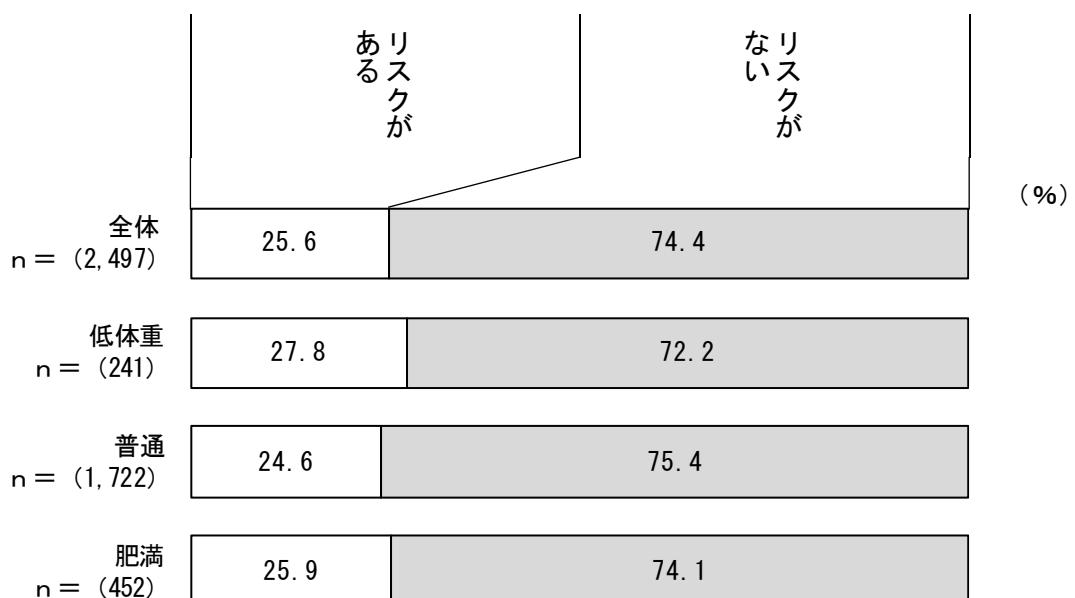
年齢別にみると、85歳以上では転倒リスクのある高齢者の割合が30%を超えています。

【転倒リスク：年齢別】



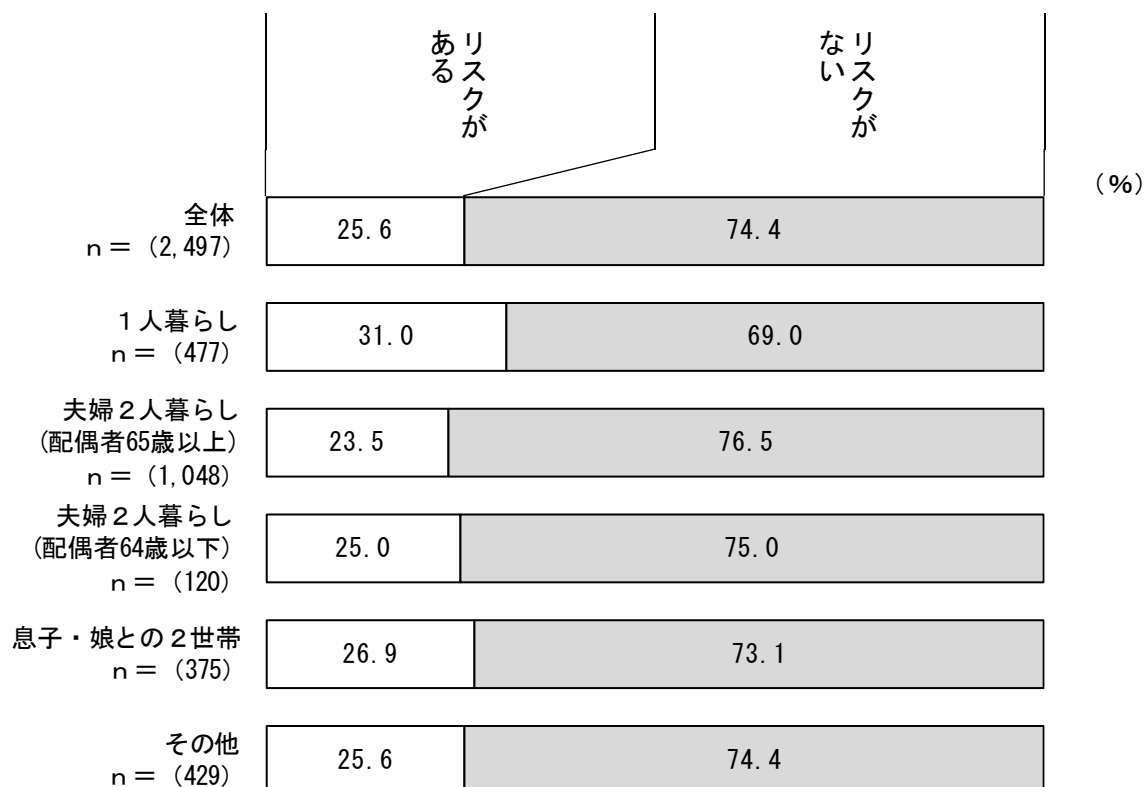
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【転倒リスク：肥満度別】



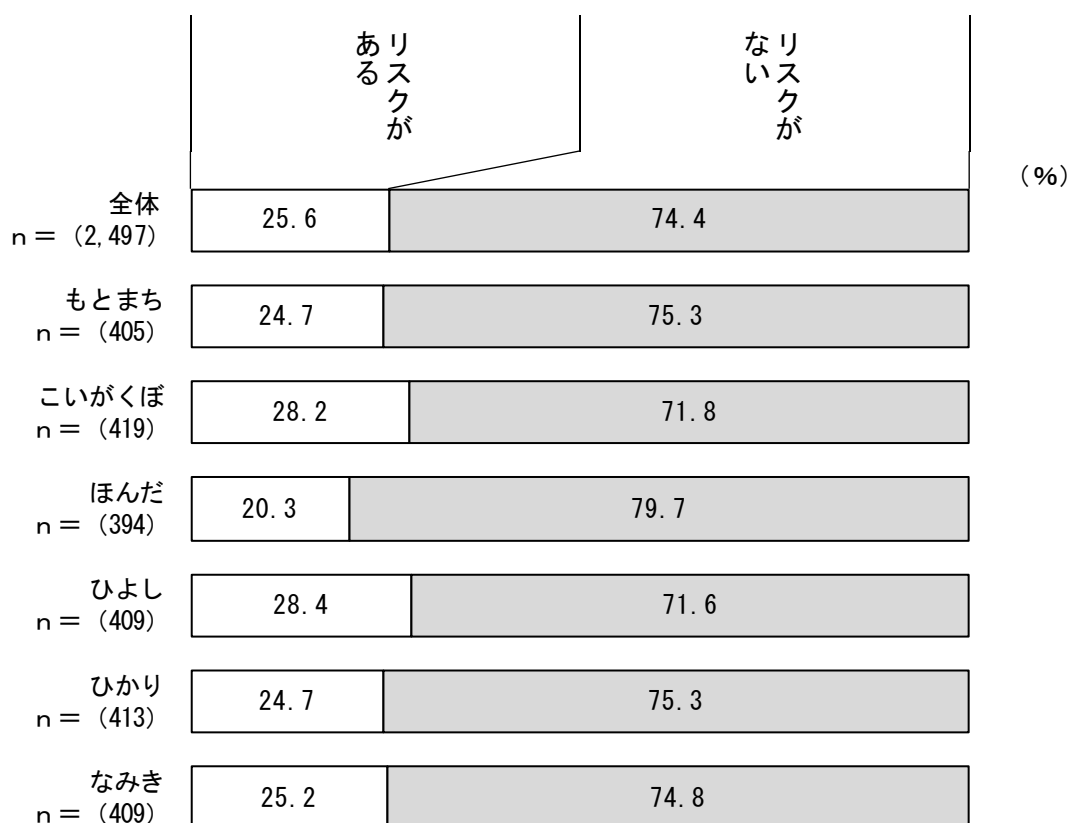
家族構成別にみると、1人暮らしが31.0%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(26.9%)等が続いています。

【転倒リスク：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、ひよしが28.4%で最も多く、次いでこいがくぼ(28.2%)等が続いています。

【転倒リスク：地域包括支援センター別】



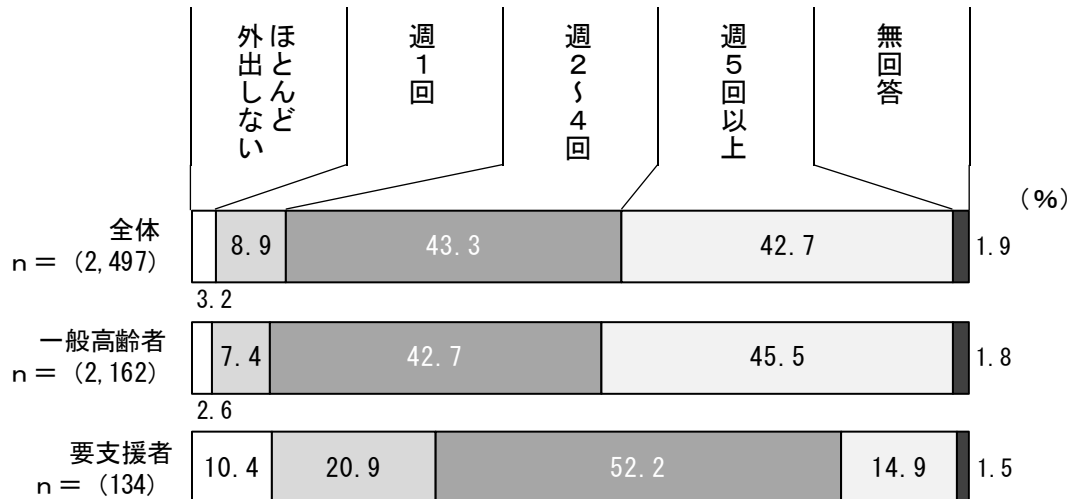
(8) 外出の頻度

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか

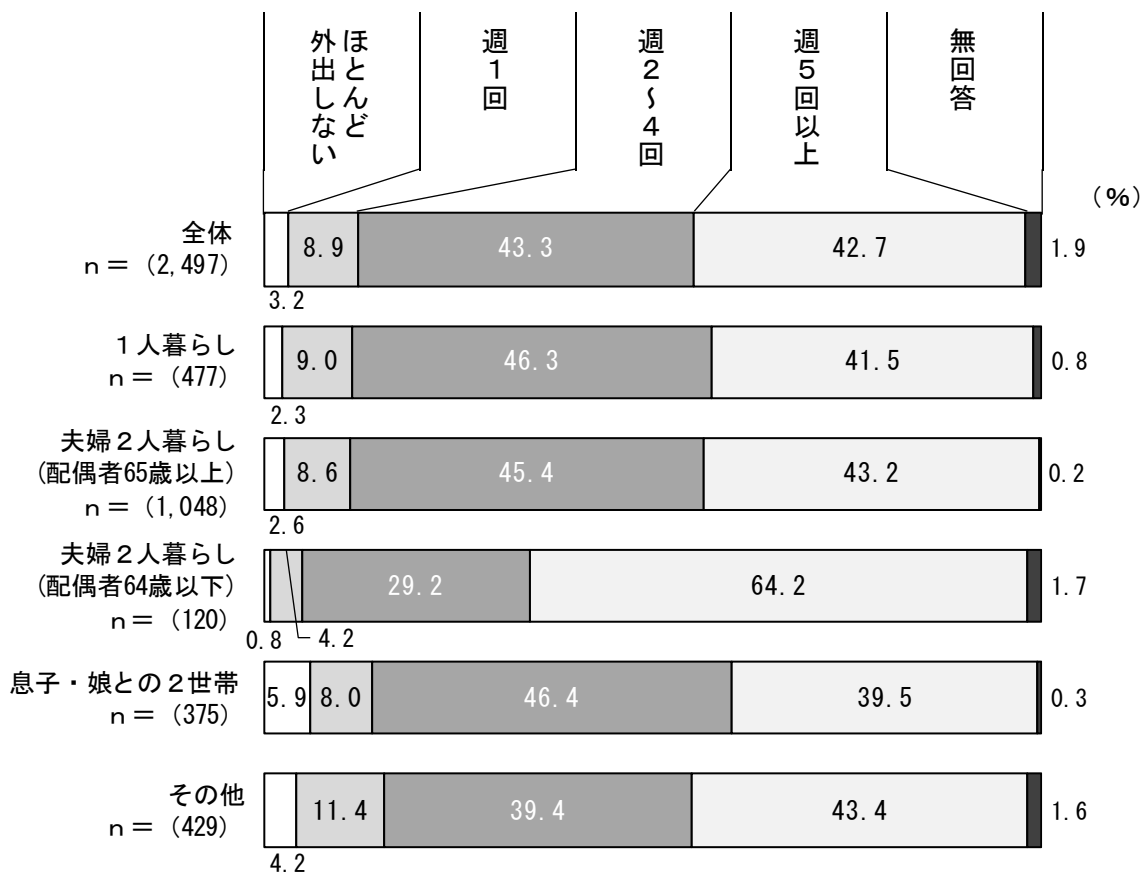
外出の頻度については、「週2～4回」が43.3%で最も多く、次いで「週5回以上」(42.7%)等が続いています。

認定状況別にみると、「ほとんど外出しない」、「週1回」を合わせた割合は、要支援者が31.3%，一般高齢者が10.0%となっています。

【外出の頻度：認定状況別】



【外出の頻度：家族構成別】



(9) 閉じこもり傾向

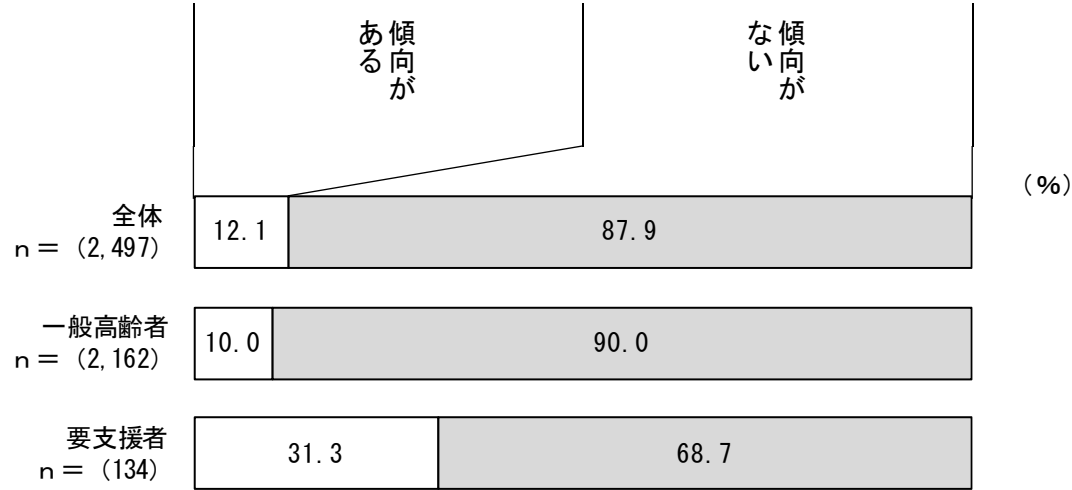
今回の調査票の問2(6)は、閉じこもり傾向を問う設問です。「ほとんど外出しない」又は「週1回」と回答している場合は閉じこもり傾向のある高齢者になります。

【閉じこもり傾向に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」「週1回」

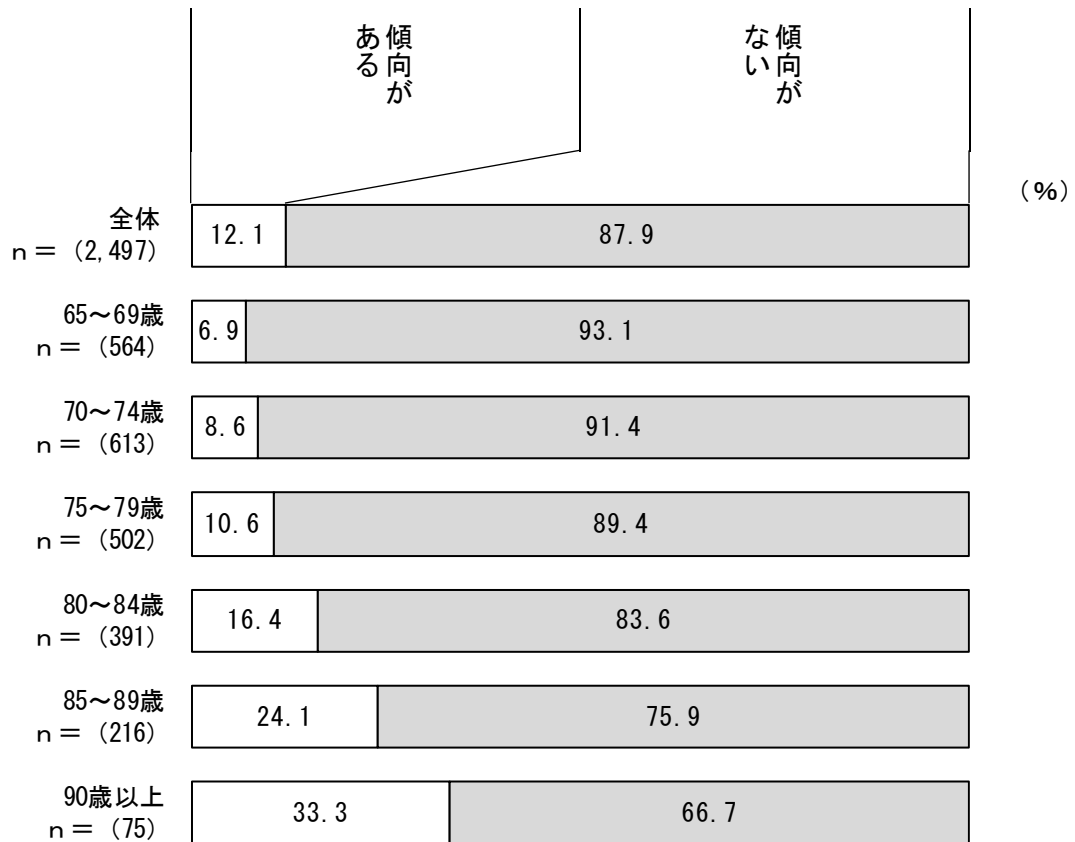
該当する選択肢の回答結果から、閉じこもり傾向のある高齢者は12.1%となっています。認定状況別にみると、要支援者が31.3%、一般高齢者が10.0%となっています。

【閉じこもり傾向：認定状況別】



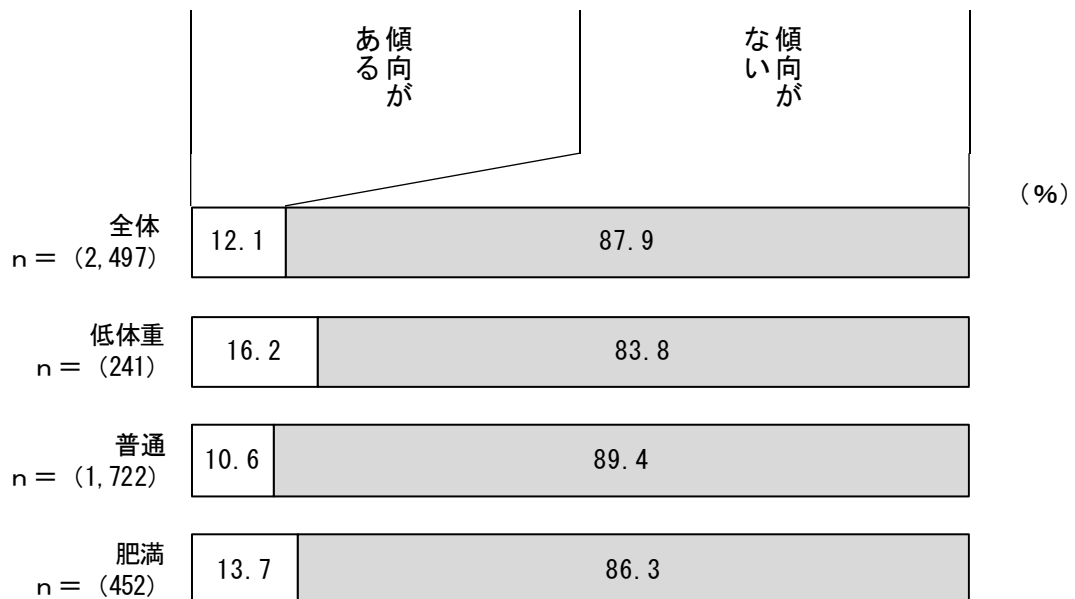
年齢別にみると、年齢が上がるとともに閉じこもり傾向のある高齢者の割合が多くなっています。

【閉じこもり傾向：年齢別】



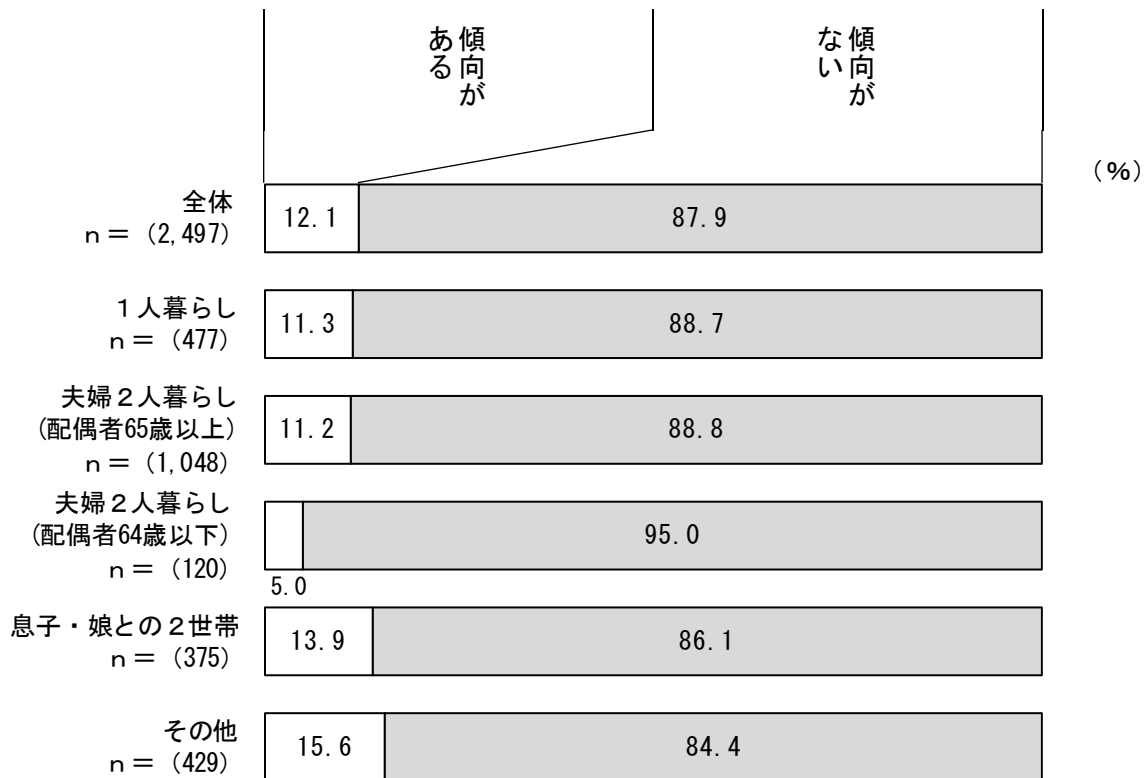
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【閉じこもり傾向：肥満度別】



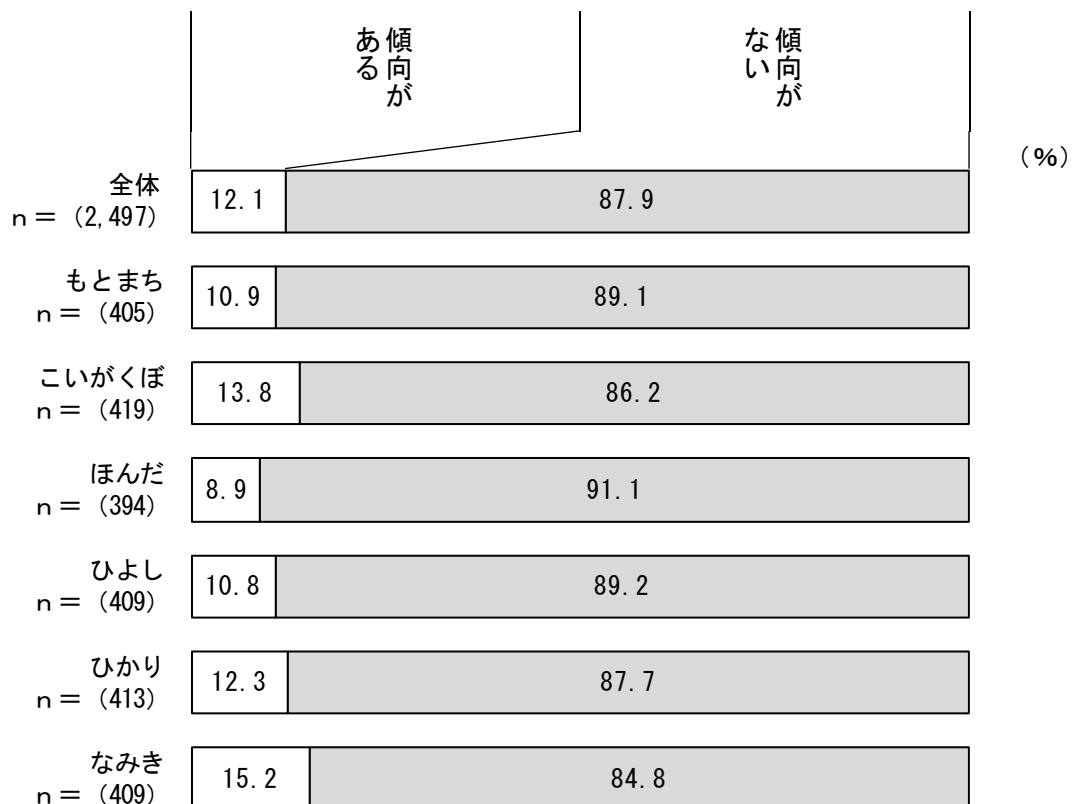
家族構成別にみると、その他が 15.6%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯 (13.9%) 等が続いています。

【閉じこもり傾向：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、なみきが 15.2%で最も多く、次いでこいがくぼ (13.8%), ひかり (12.3%) 等が続いています。

【閉じこもり傾向：地域包括支援センター別】



(10) 外出回数の減少

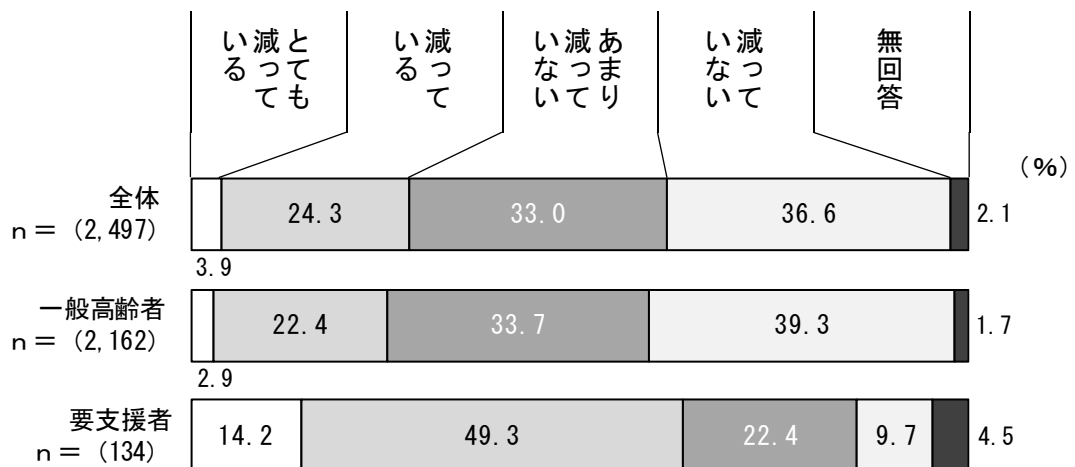
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

昨年と比べて外出回数が減少しているかについては、「減っていない」が36.6%で最も多く、次いで「あまり減っていない」(33.0%)等が続いています。

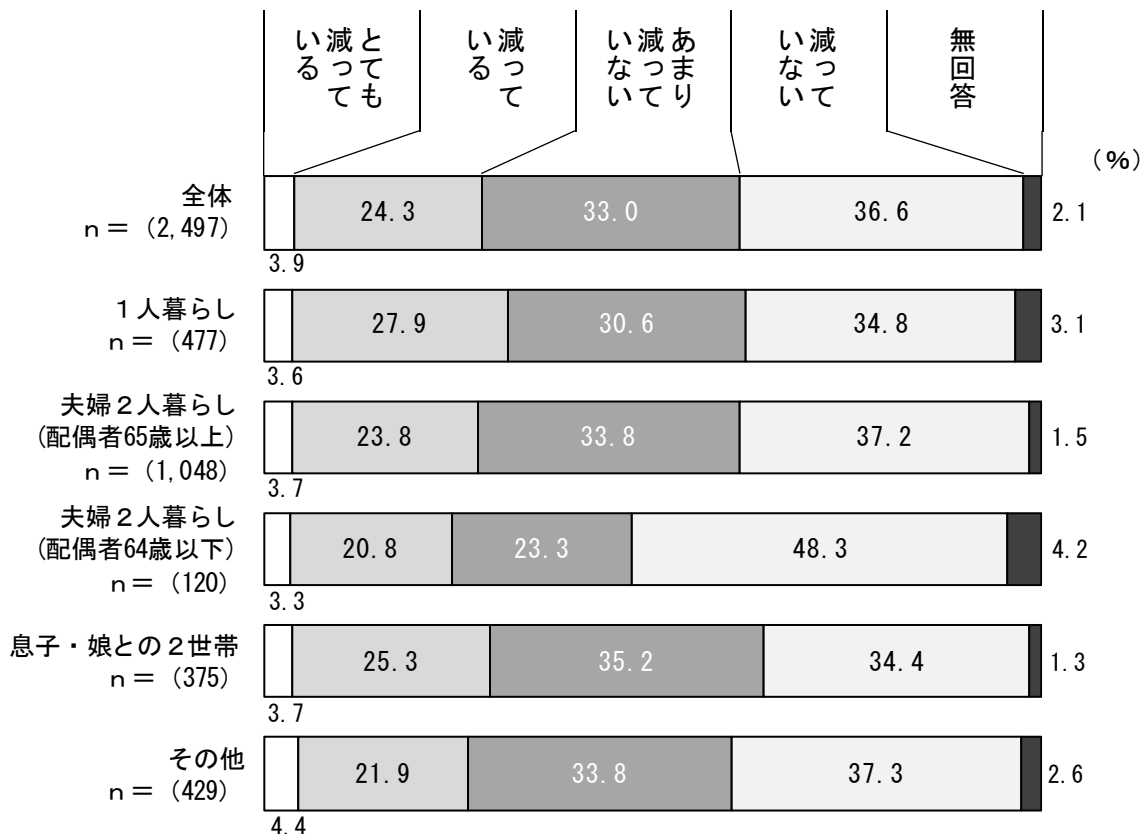
認定状況別にみると、「とても減っている」、「減っている」を合わせた割合は、要支援者が63.5%、一般高齢者が25.3%となっています。

家族構成別にみると、「とても減っている」、「減っている」を合わせた割合は、1人暮らしが31.5%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(29.0%)等が続いています。

【外出回数の減少：認定状況別】



【外出回数の減少：家族構成別】



(11) 外出を控えているか

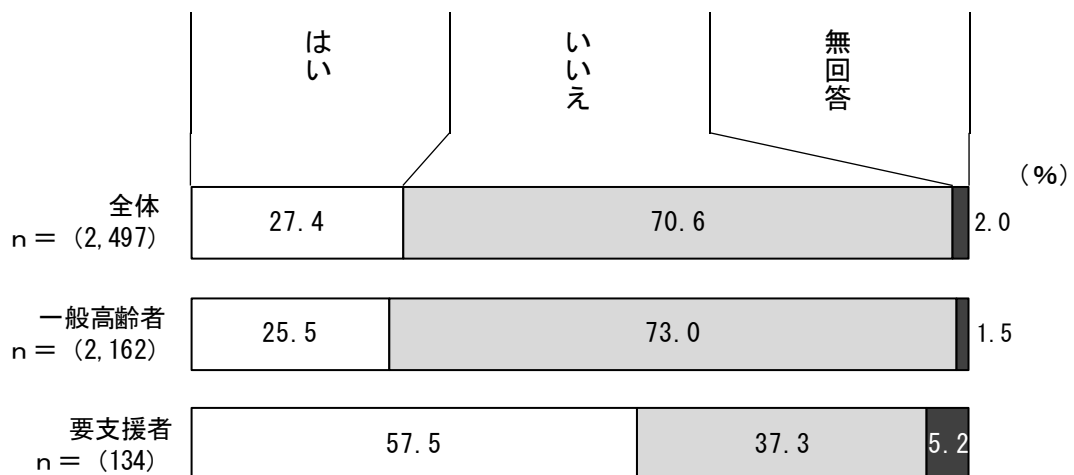
問2 (8) 外出を控えていますか

外出を控えているかについては、「はい」が27.4%、「いいえ」が70.6%となっています。

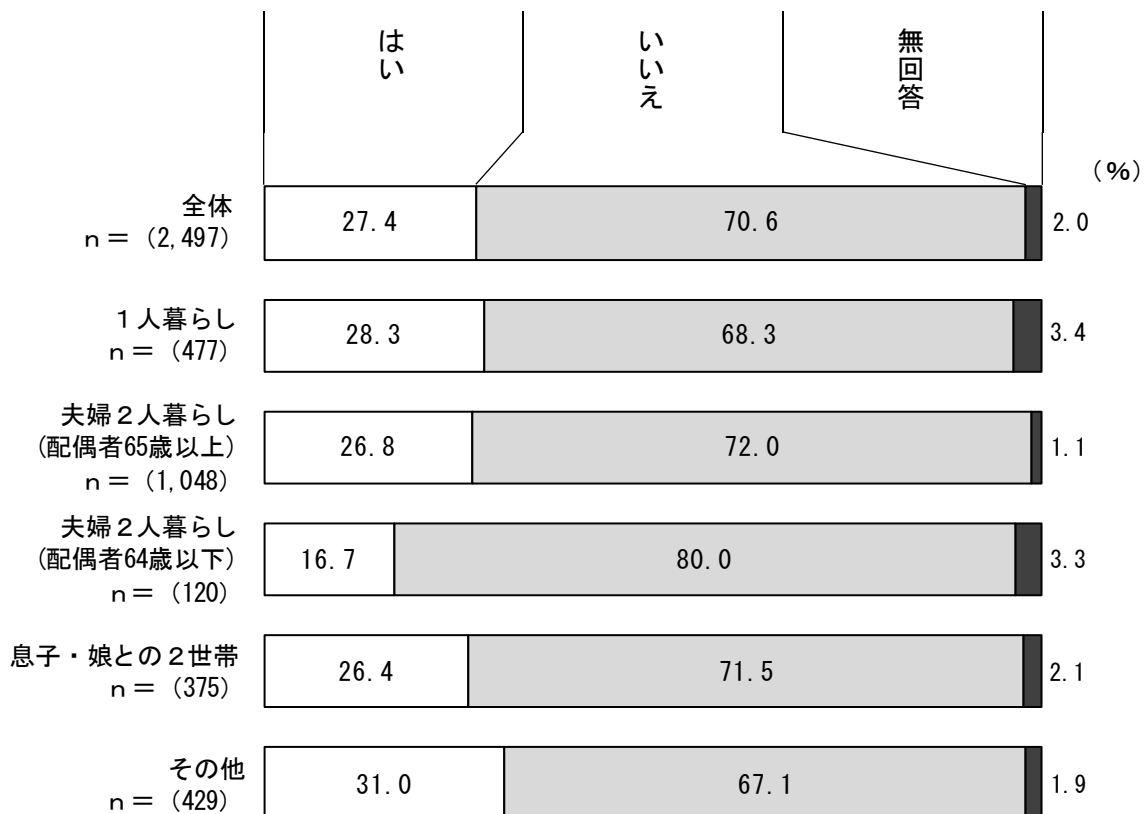
認定状況別にみると、「はい」の割合は、要支援者が57.5%、一般高齢者が25.5%となっています。

家族構成別にみると、「はい」の割合は、1人暮らしが28.3%で最も多く、次いで夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）（26.8%）等が続いています。

【外出を控えているか：認定状況別】



【外出を控えているか：家族構成別】



(12) 外出を控えている理由

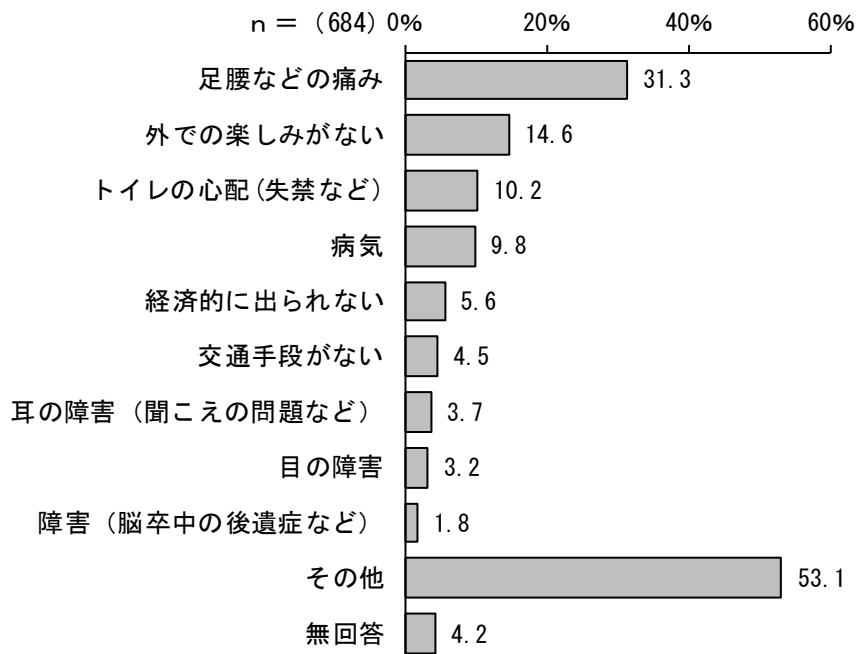
【問2（8）で「はい」を選択した方のみ】

問2（8）①外出を控えている理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

問2（8）で「はい」と回答した方にその理由について聞いたところ、「足腰などの痛み」が31.3%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」（14.6%）、「トイレの心配（失禁など）」（10.2%）、「病気」（9.8%）等が続いています。

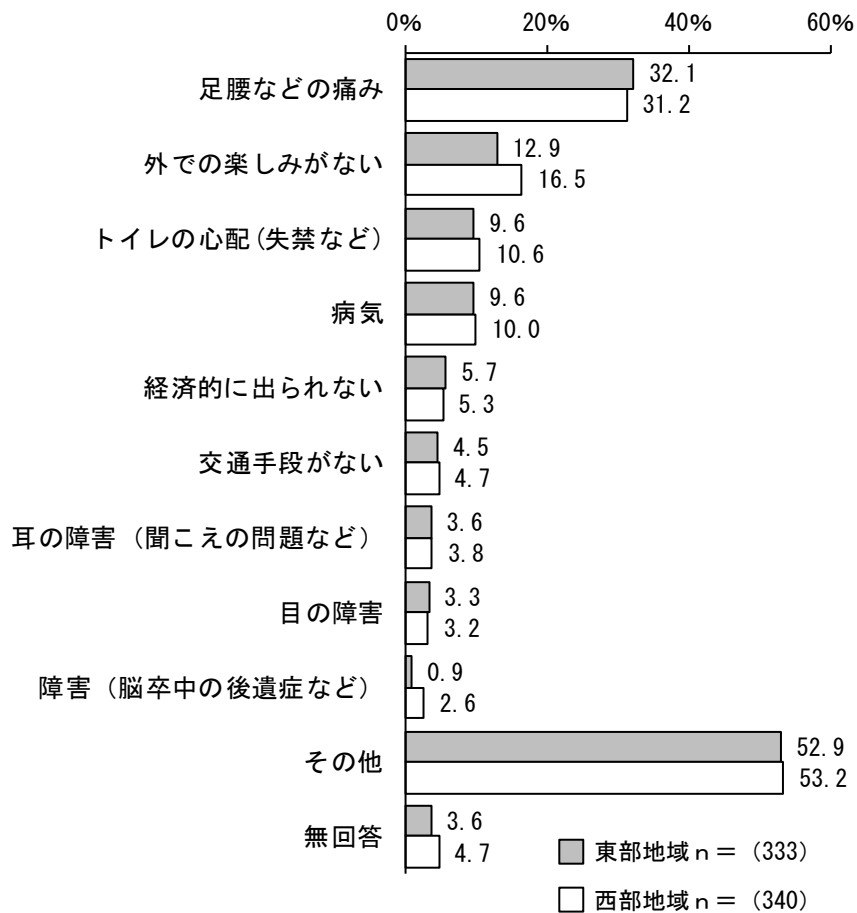
「その他」の主な回答としては、「新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症防止のため」、「外出に対して不安がある」、「家族の介護」、「仕事が忙しい」、「人混みが怖い」等となっています。

【外出を控えている理由】（複数回答）



市の東西地域別にみると、顕著な差は見られませんが、西部地域では「外での楽しみがない」の割合が東部地域と比べて3.6ポイント多くなっています。

【外出を控えている理由：東西地域別】（複数回答）



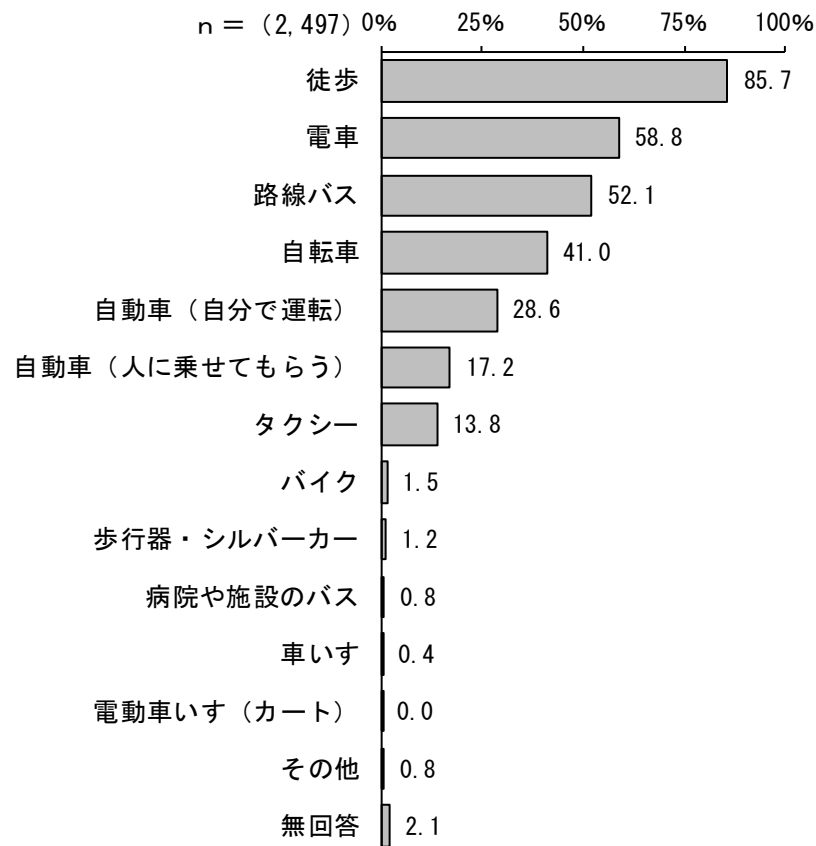
※ 東部地域：国分寺地域包括支援センターもとまち，こいがくぼ，ほんだ
西部地域：国分寺地域包括支援センターひよし，ひかり，なみき

(13) 外出する際の移動手段

問2（9）外出する際の移動手段を教えてください（あてはまるものすべてに○）

外出する際の移動手段については、「徒歩」が85.7%で最も多く、次いで「電車」（58.8%）「路線バス」（52.1%）、「自転車」（41.0%）等が続いています。

【外出する際の移動手段】（複数回答）



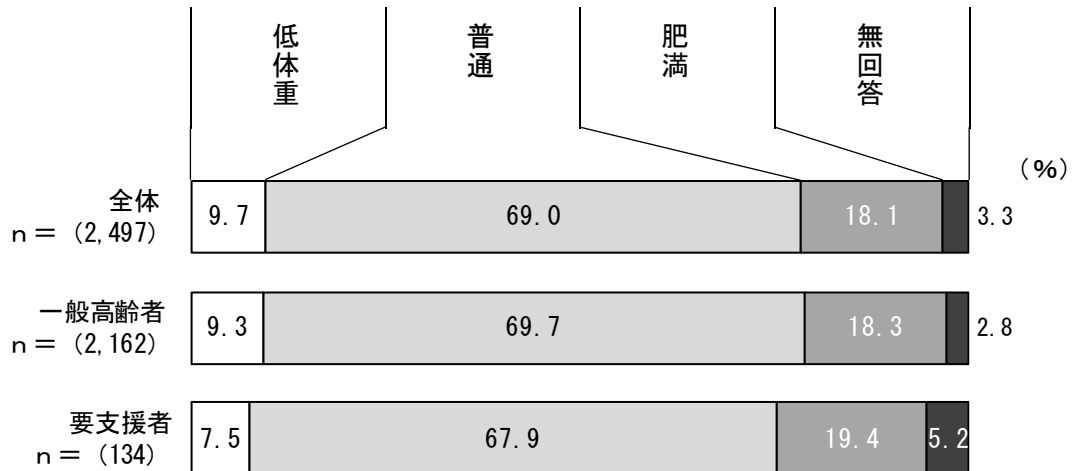
4 食べること

(1) 身長・体重から算出したBMI

問3 (1) 身長・体重

身長・体重から算出したBMIは、「低体重」(BMIが18.5未満)が9.7%、「肥満」(BMIが25以上)が18.1%となっています。

【身長・体重から算出したBMI：認定状況別】



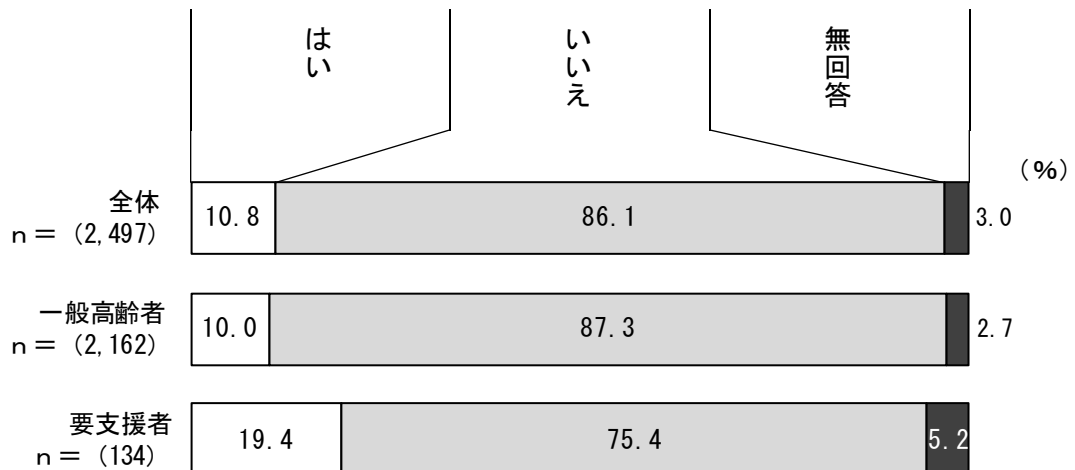
※ BMI (体格指数) : 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) によって求められる値

(2) 体重減少

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が10.8%、「いいえ」が86.1%となっています。

【体重減少：認定状況別】



（３）低栄養状態

今回の調査票の問３（１），（７）は，低栄養状態を確認する設問です。問３（１）から算出したBMIが18.5以下であり，かつ問３（７）で「はい」と回答した場合は，低栄養状態にある高齢者になります。

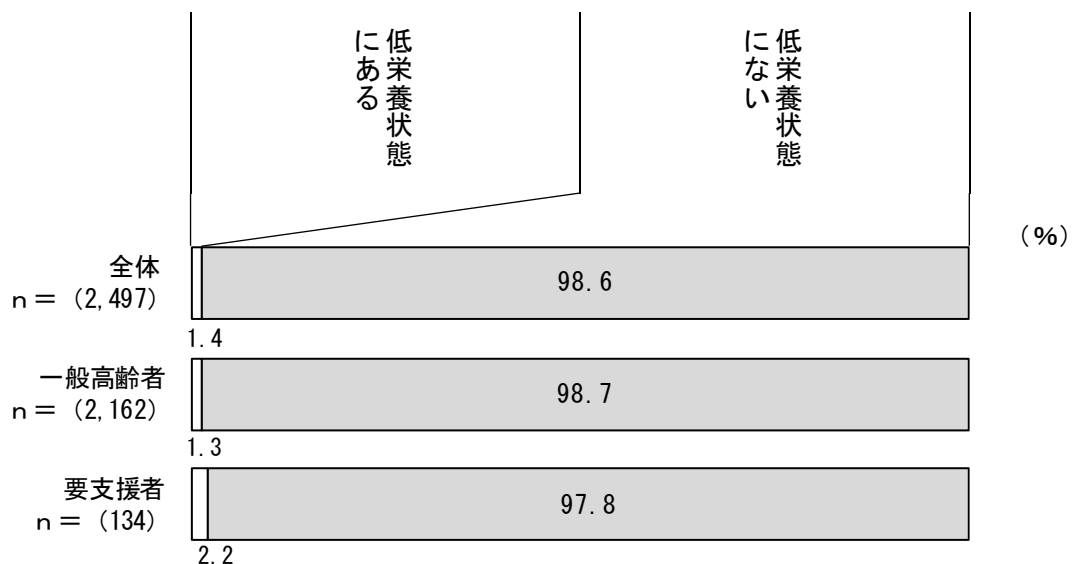
【低栄養状態に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問３（１）	身長・体重	算出したBMIが18.5以下
問３（７）	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

※ BMI（体格指数）：体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））によって求められる値

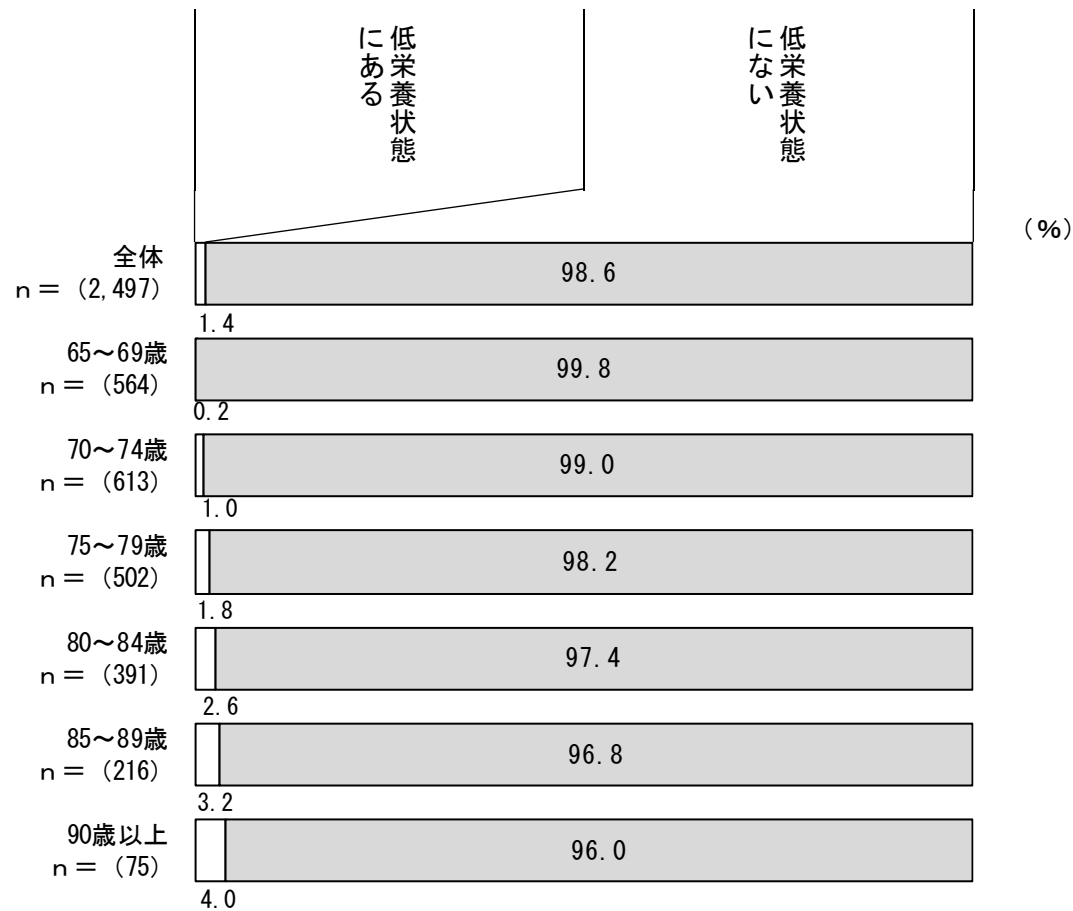
該当する選択肢の回答結果から，低栄養状態にある高齢者は1.4%となっています。
認定状況別にみると，要支援者が2.2%，一般高齢者が1.3%となっています。

【低栄養状態：認定状況別】



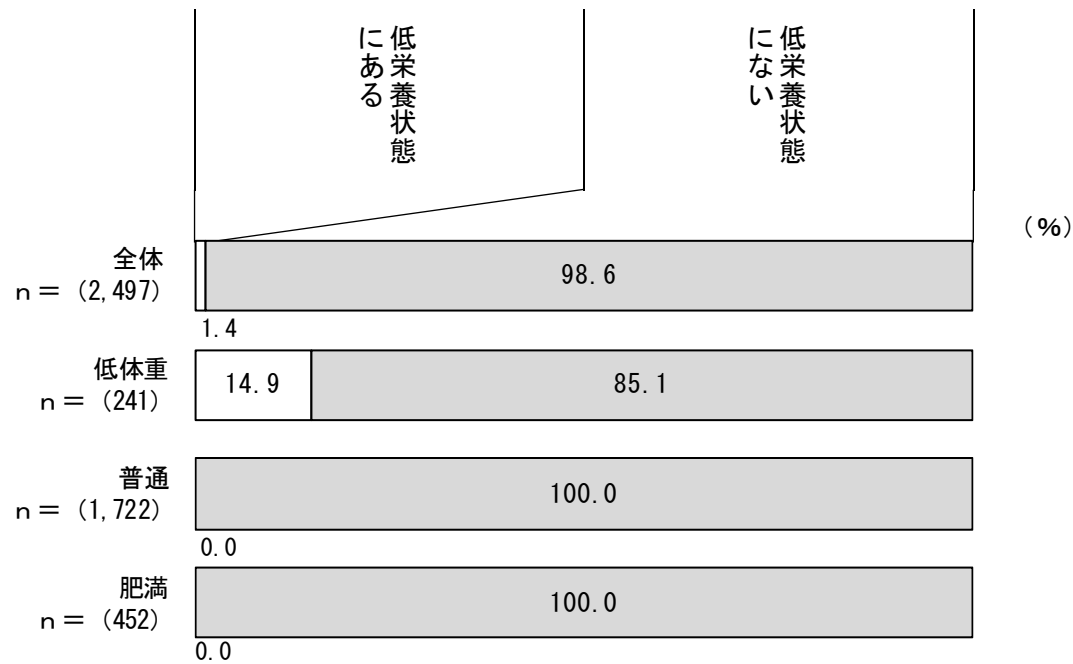
年齢別にみると、年齢が上がるとともに低栄養状態にある高齢者の割合が多くなっています。

【低栄養状態：年齢別】



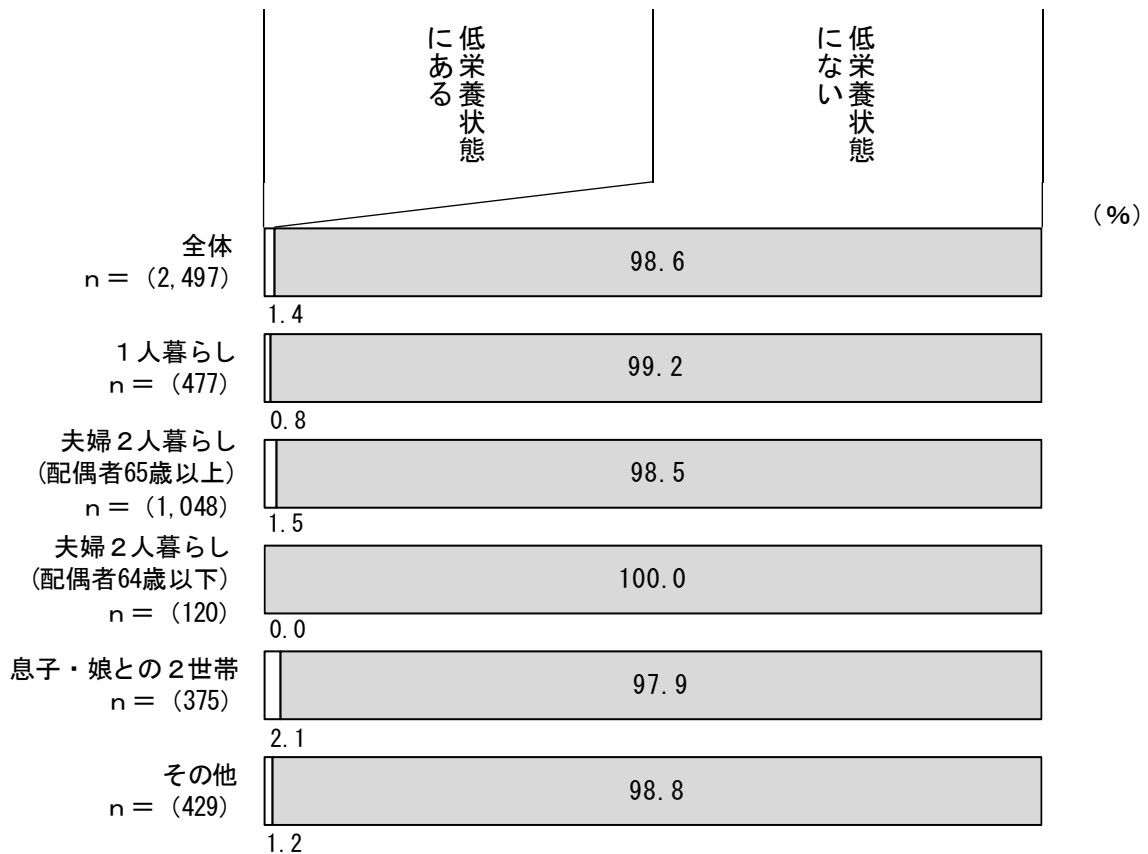
肥満度別にみると、低体重が 14.9%と最も多くなっています。

【低栄養状態：肥満度別】



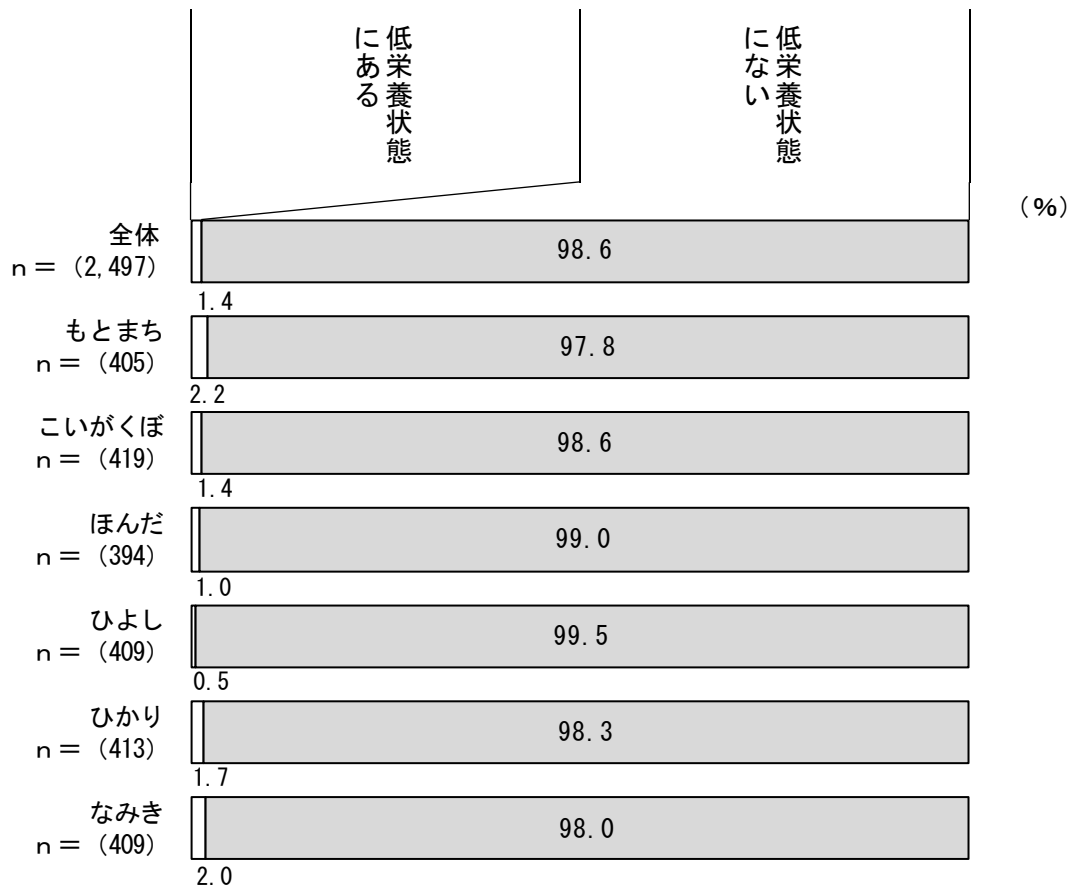
家族構成別にみると、あまり大きな差はありません。

【低栄養状態：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【低栄養状態：地域包括支援センター別】

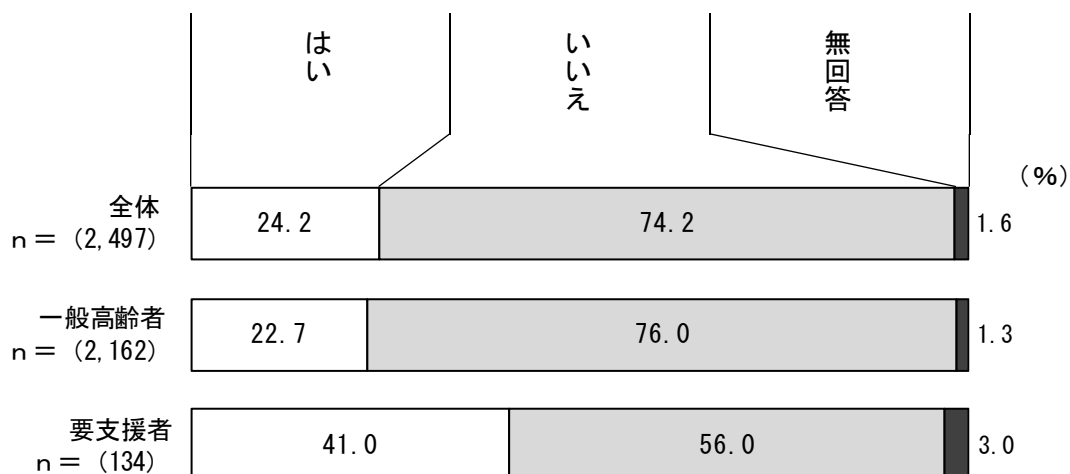


(4) 固いものの食べにくさ

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が 24.2%、「いいえ」が 74.2%となっています。

【固いものの食べにくさ：認定状況別】

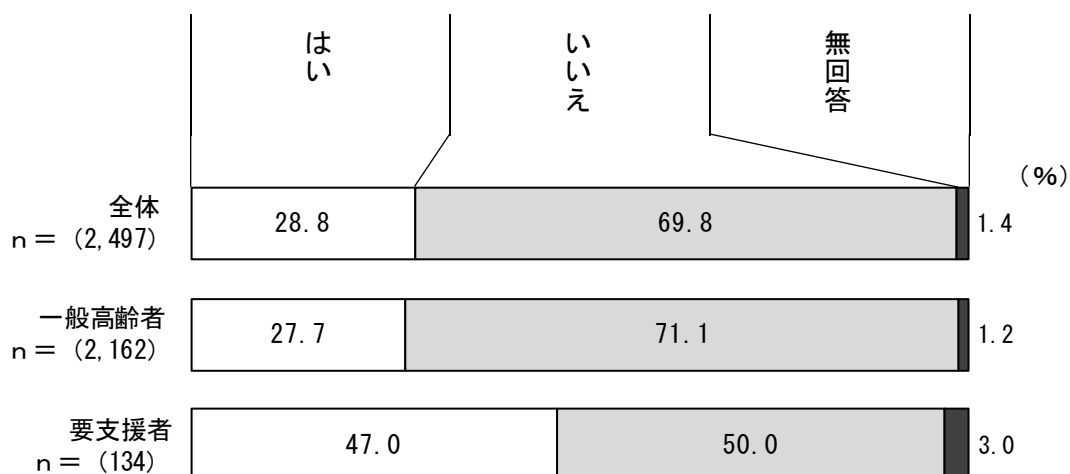


(5) お茶や汁物等でむせること

問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が 28.8%、「いいえ」が 69.8%となっています。

【お茶や汁物等でむせること：認定状況別】

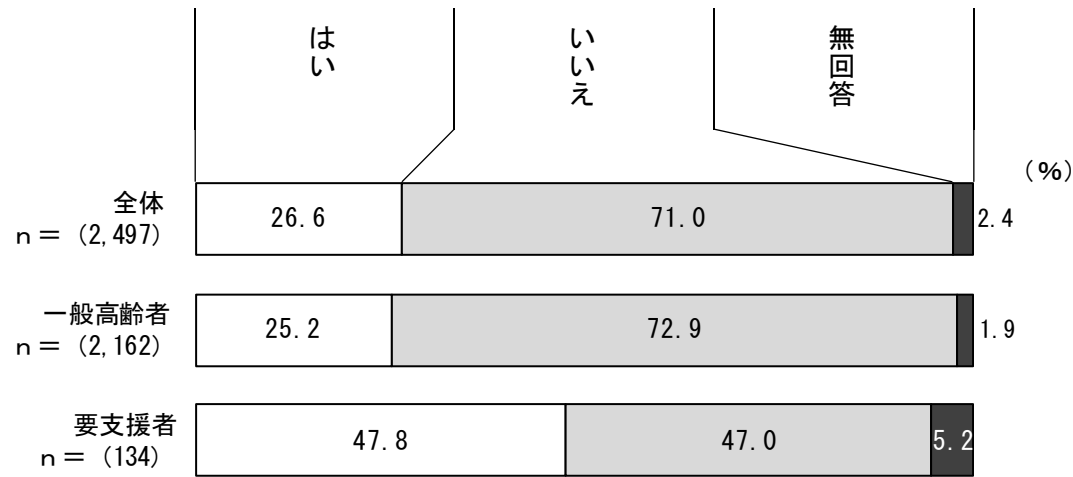


(6) 口の渇き

問3 (4) 口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になるかについては、「はい」が26.6%、「いいえ」が71.0%となっています。

【口の渇き：認定状況別】



(7) 口腔機能の低下

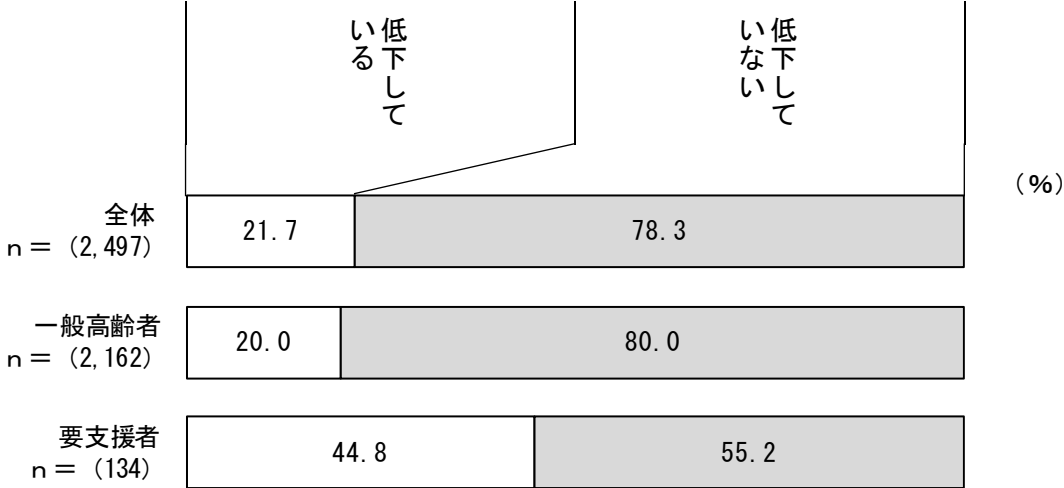
今回の調査票の問3 (2) ～ (4) は、口腔機能の低下を問う設問です。2問以上、該当する選択肢（下表のとおり）を回答した場合は、口腔機能が低下している高齢者になります。

【口腔機能の低下に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
問3 (4)	口の渇きが気になりますか	「はい」

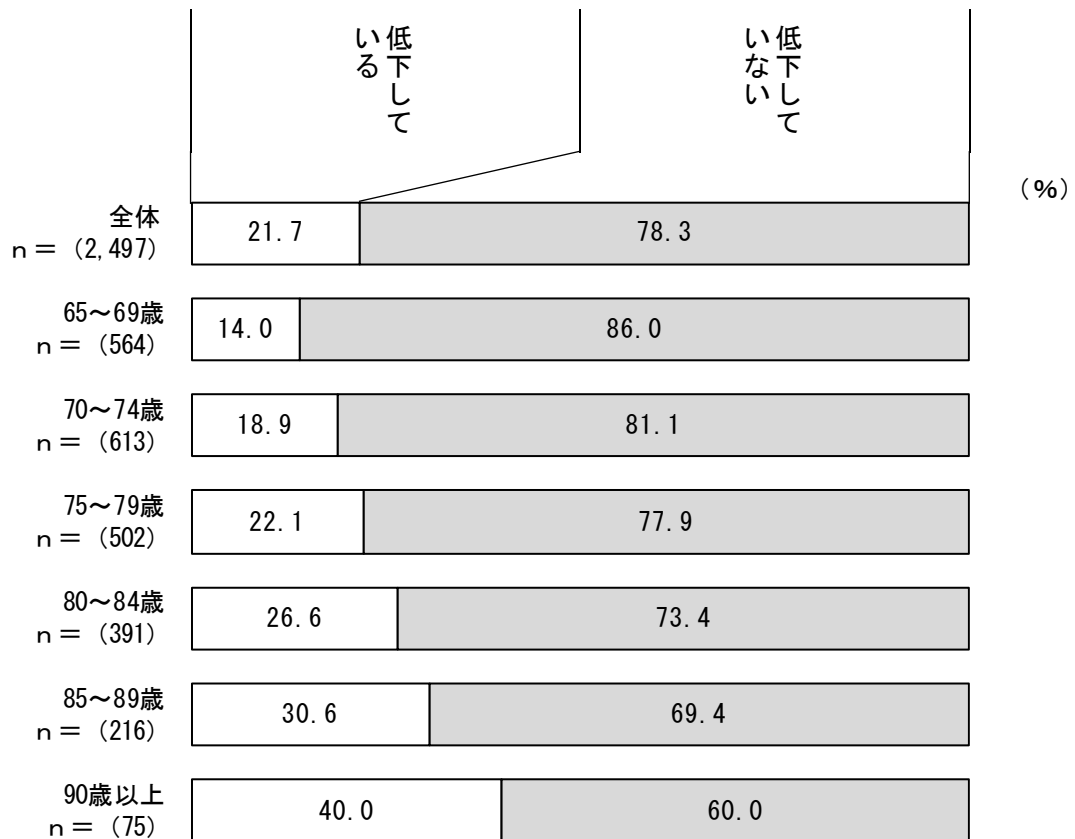
該当する選択肢の回答結果から、口腔機能が低下している高齢者は21.7%となっています。認定状況別にみると、要支援者が44.8%，一般高齢者が20.0%となっています。

【口腔機能の低下：認定状況別】



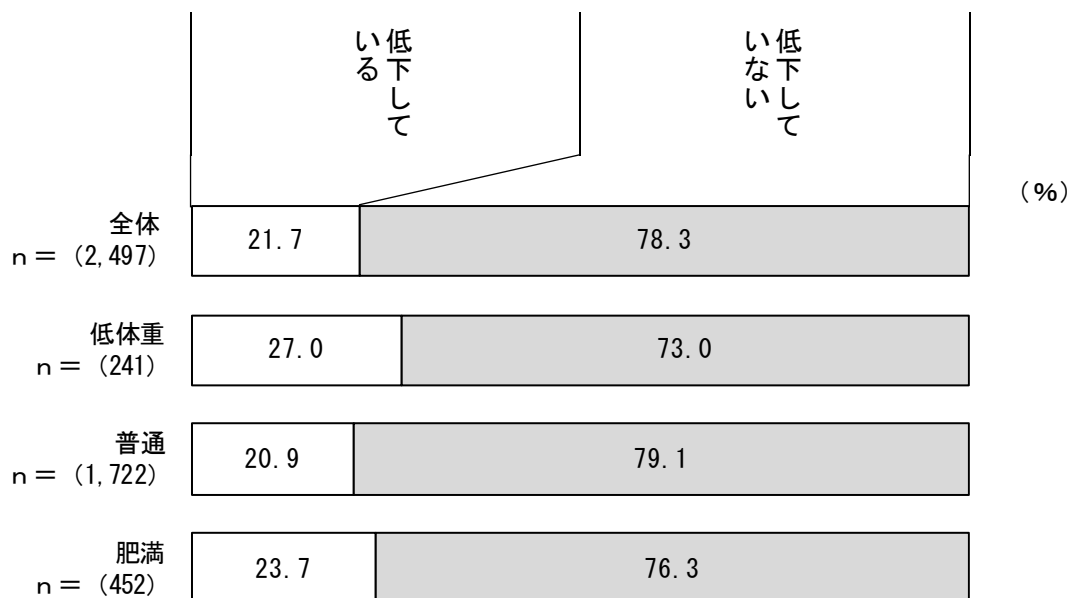
年齢別にみると、年齢が上がるとともに口腔機能の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【口腔機能の低下：年齢別】



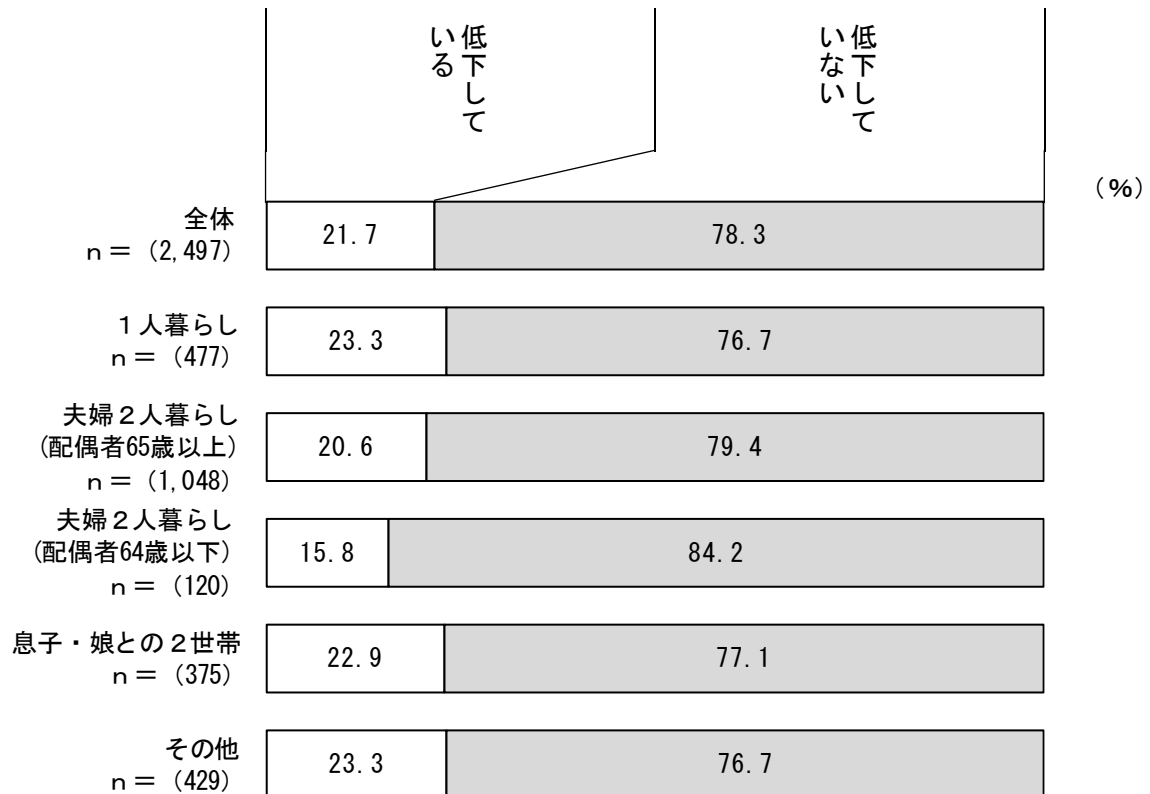
肥満度別にみると、低体重が27.0%と最も多くなっています。

【口腔機能の低下：肥満度別】



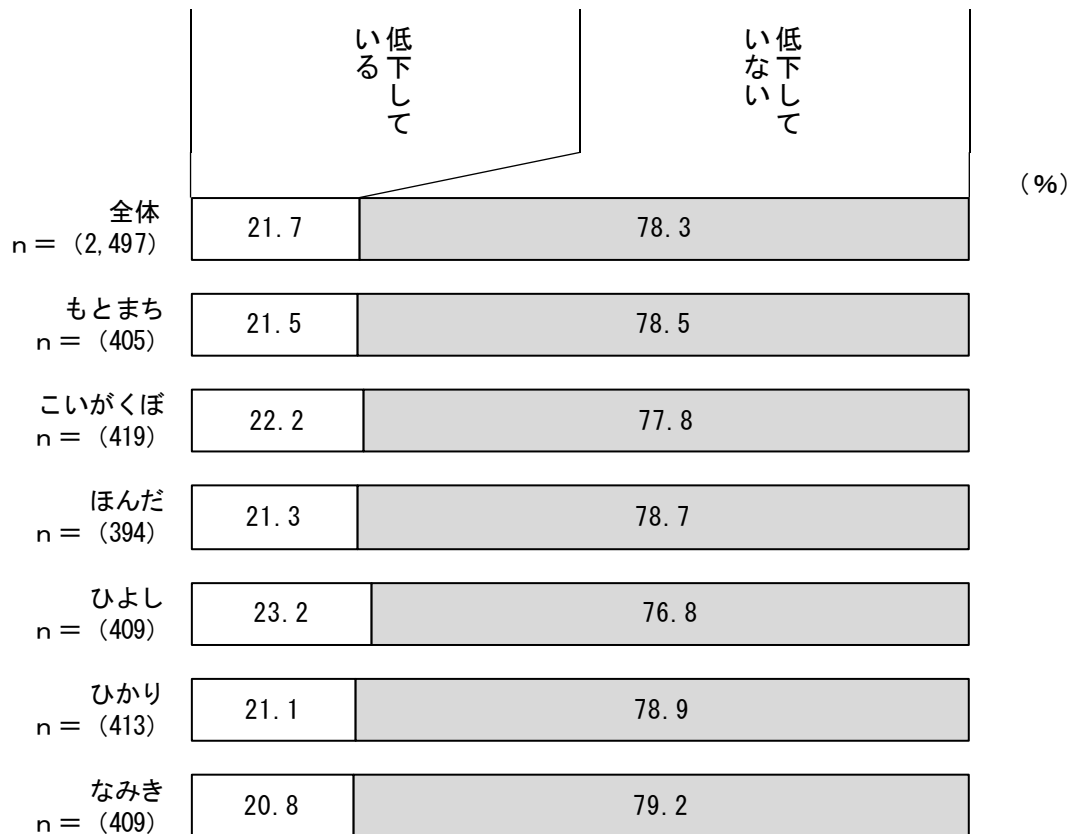
家族構成別にみると、1人暮らし、その他がそれぞれ23.3%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(22.9%)等が続いています。

【口腔機能の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【口腔機能の低下：地域包括支援センター別】

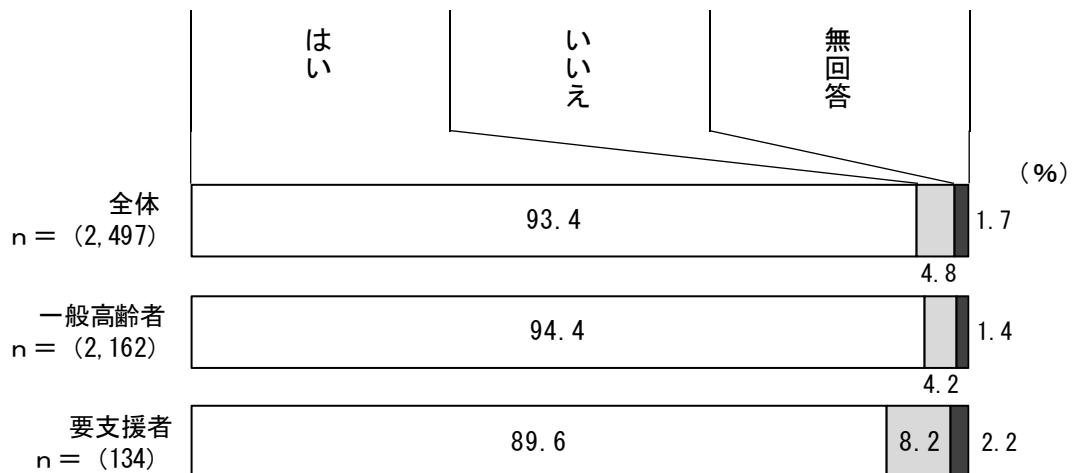


(8) 毎日の歯磨き

問3 (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

毎日の歯磨きをしているかについては、「はい」が 93.4%、「いいえ」が 4.8%となっています。

【毎日の歯磨き：認定状況別】



(9) 歯の数と入れ歯の利用状況

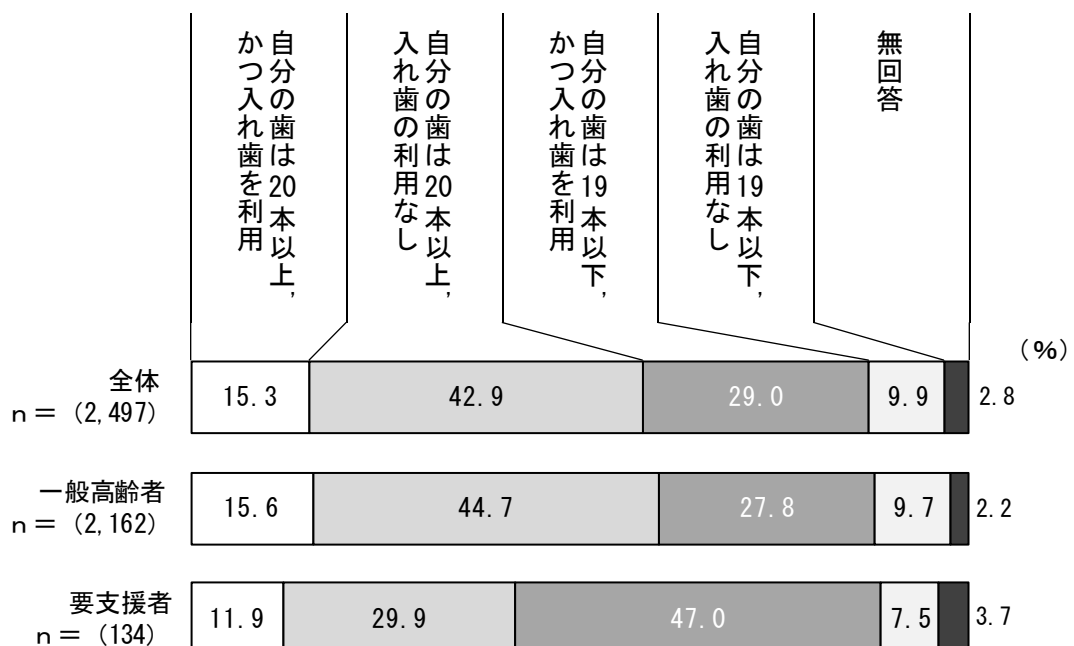
問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 42.9%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(29.0%) 等が続いています。

「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(15.3%) と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(29.0%) を合わせると、入れ歯を利用している方の割合は 44.3%となっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況：認定状況別】

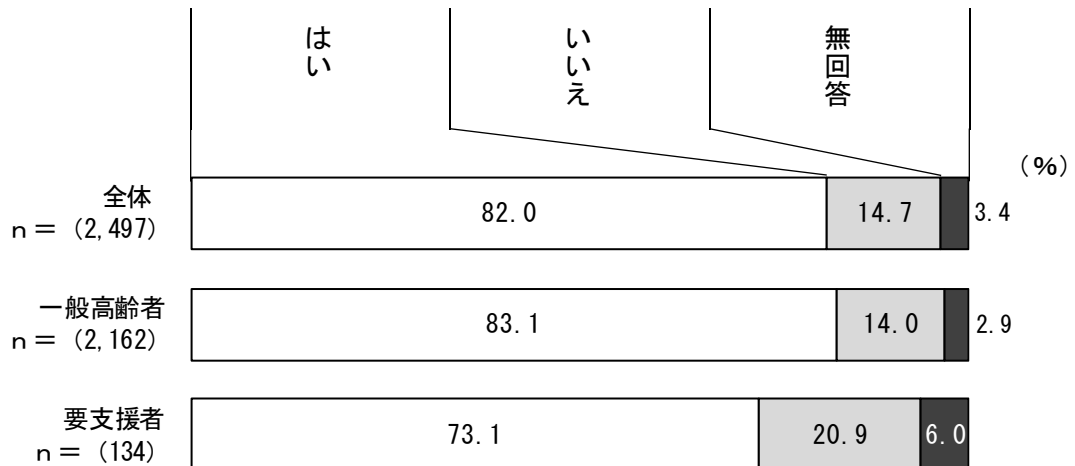


(10) 噛み合わせ

問3 (6) ①噛み合わせは良いですか

噛み合わせが良いかについては、「はい」が82.0%、「いいえ」が14.7%となっています。

【噛み合わせ：認定状況別】



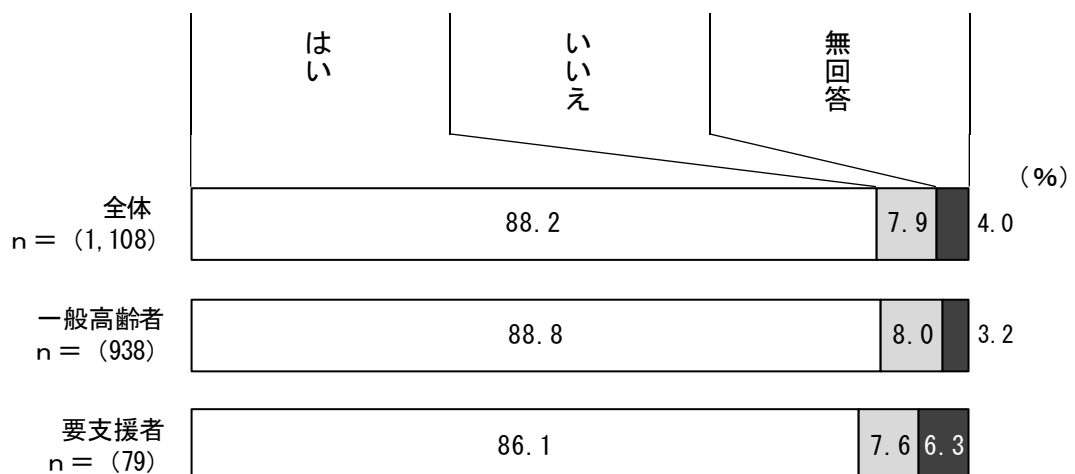
(11) 入れ歯の手入れ

【問3 (6) で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した方のみ】

問3 (6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか

問3 (6) で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に毎日入れ歯の手入れをしているかについて聞いたところ、「はい」が88.2%、「いいえ」が7.9%となっています。

【入れ歯の手入れ：認定状況別】



(12) 食事をとる機会

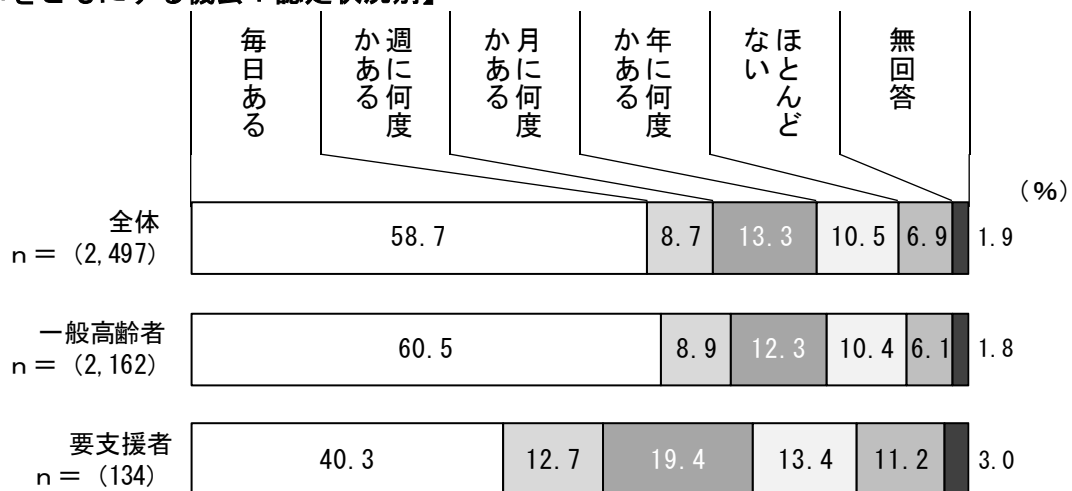
問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか

食事をとる機会があるかについては、「毎日ある」が 58.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」(13.3%)、「年に何度かある」(10.5%) 等が続いています。

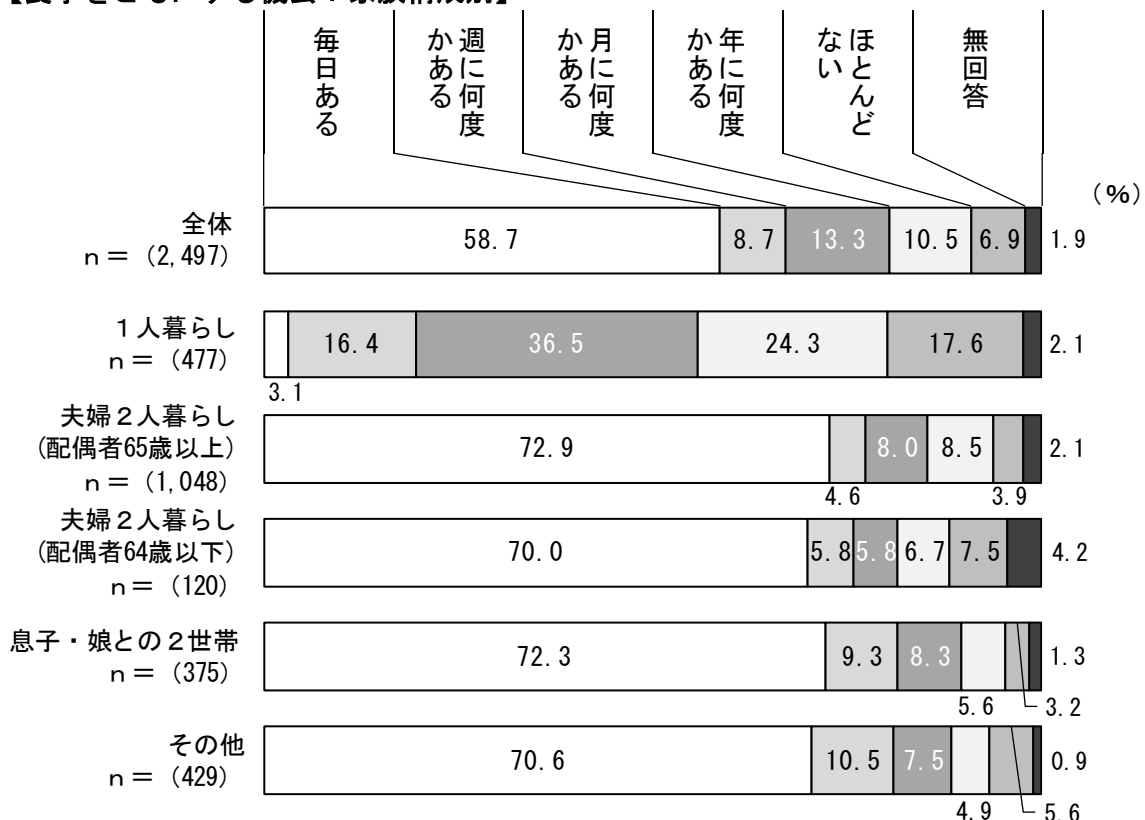
家族構成別にみると、1人暮らしでは、「月に何度かある」が 36.5%で最も多く、次いで「年に何度かある」(24.3%)、「ほとんどない」(17.6%) 等が続いています。

「年に何度かある」、「ほとんどない」を合わせた割合は、1人暮らしでは 41.9%、夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)では 12.4%、夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)では 14.2%、息子・娘との2世帯では 8.8%となっています。

【食事をとる機会：認定状況別】



【食事をとる機会：家族構成別】



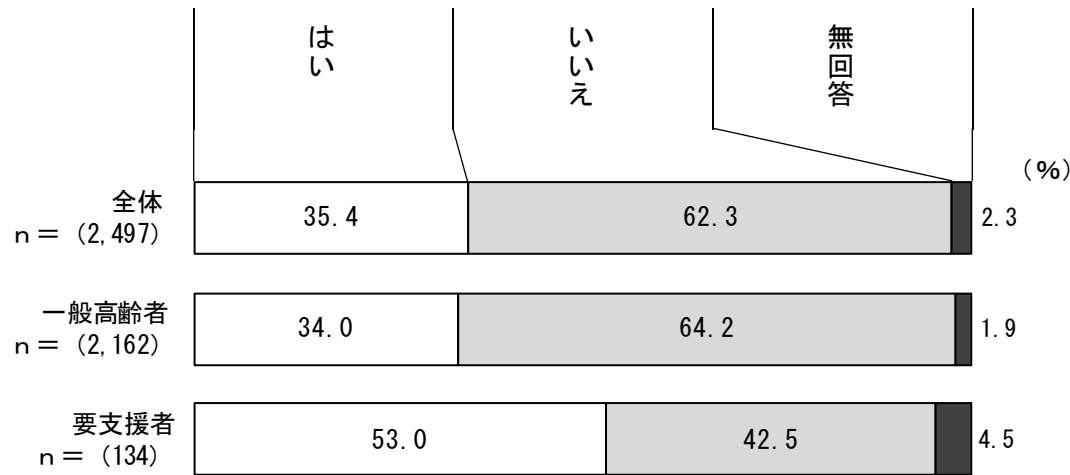
5 毎日の生活

(1) 物忘れ

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が 35.4%、「いいえ」が 62.3%となっています。

【物忘れ：認定状況別】



(2) 認知機能の低下

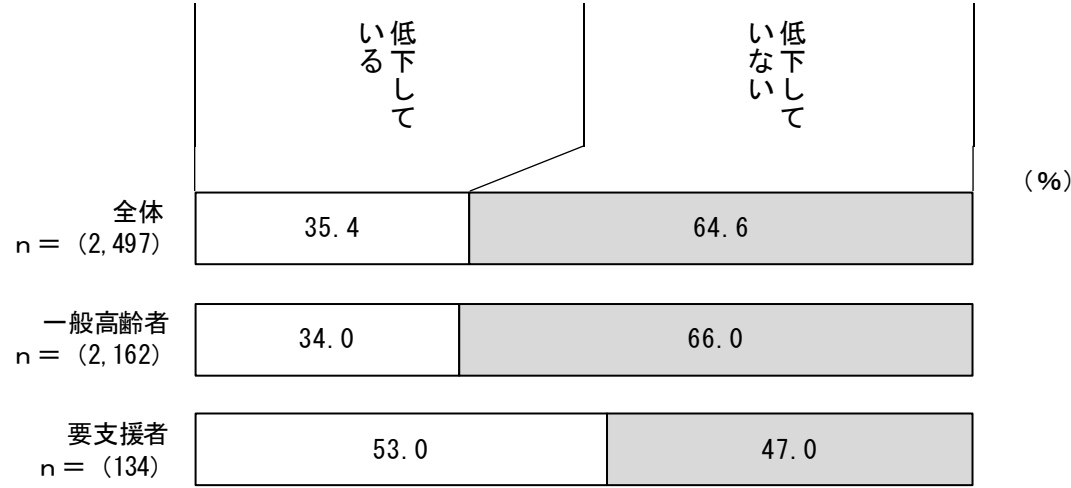
今回の調査票の問4（1）は、認知機能の低下を問う設問です。「はい」と回答した場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

【認知機能の低下に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（1）	物忘れが多いと感じますか	「はい」

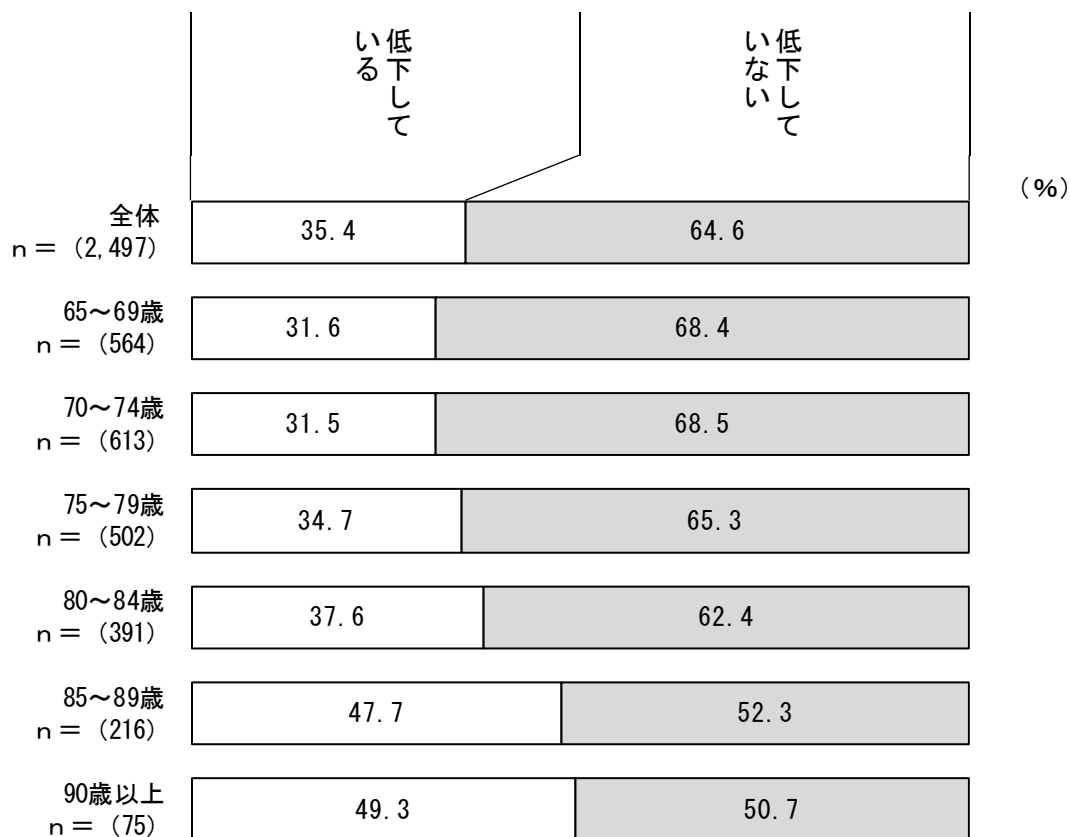
該当する選択肢の回答結果から、認知機能が低下している高齢者は35.4%となっています。認定状況別にみると、要支援者が53.0%、一般高齢者が34.0%となっています。

【認知機能の低下：認定状況別】



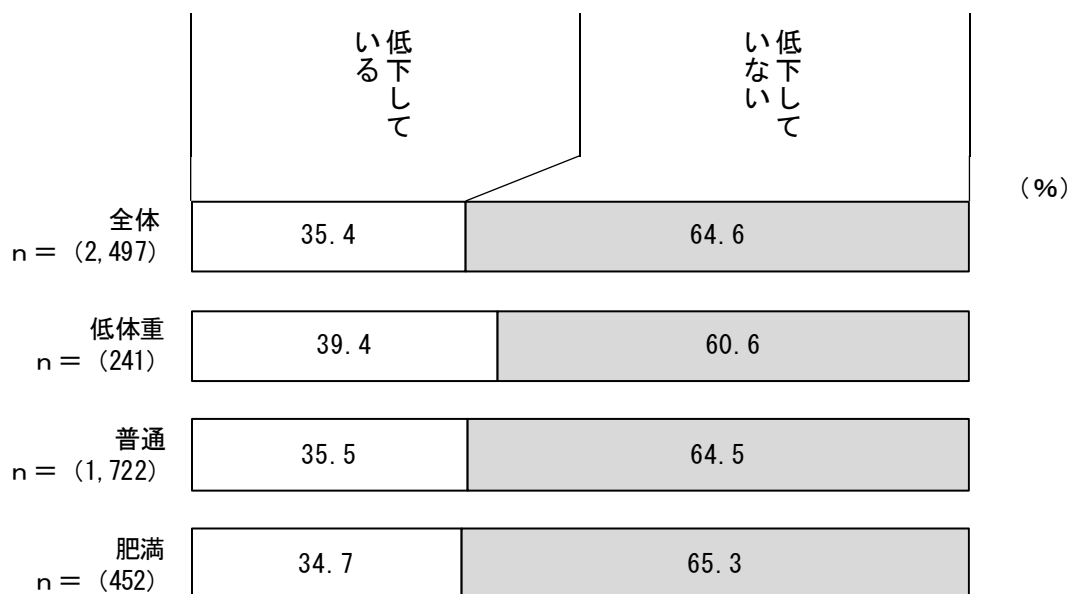
年齢別にみると、75歳以上については年齢が上がるとともに認知機能の低下がみられる高齢者の割合が多くなっています。

【認知機能の低下：年齢別】



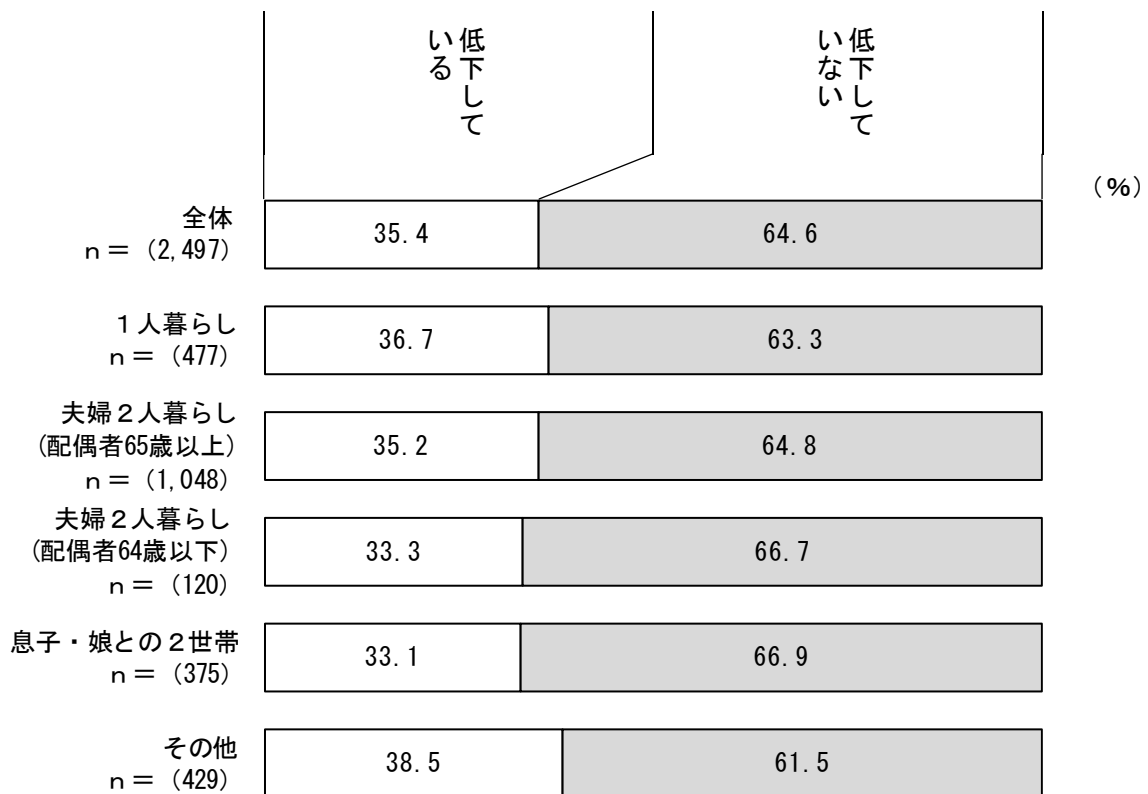
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【認知機能の低下：肥満度別】



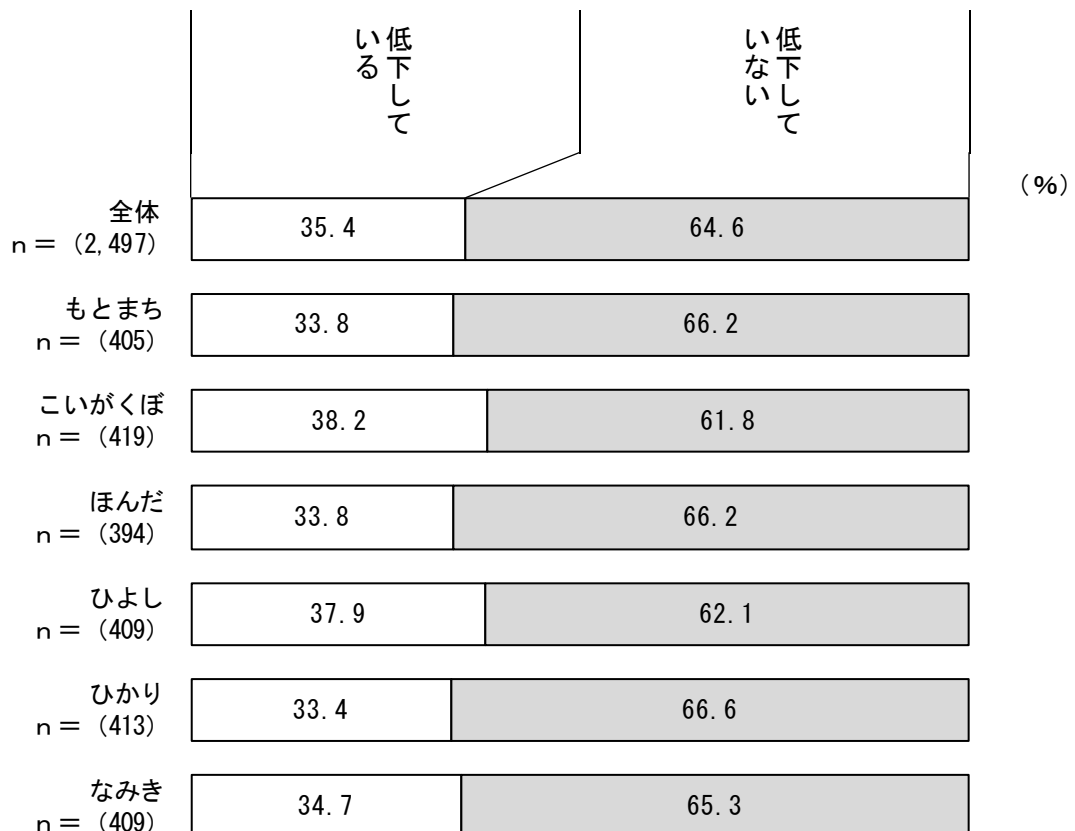
家族構成別にみると、あまり大きな差はありません。

【認知機能の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【認知機能の低下：地域包括支援センター別】

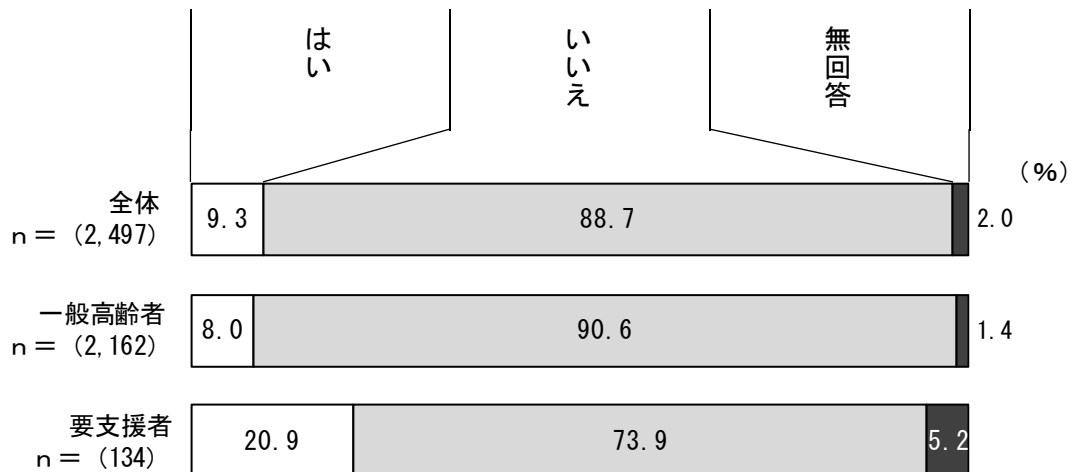


(3) 物忘れの指摘

問4 (2) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」等の物忘れがあると言われますか

周りの人から物忘れがあると言われるかについては、「はい」が9.3%、「いいえ」が88.7%となっています。

【物忘れの指摘：認定状況別】

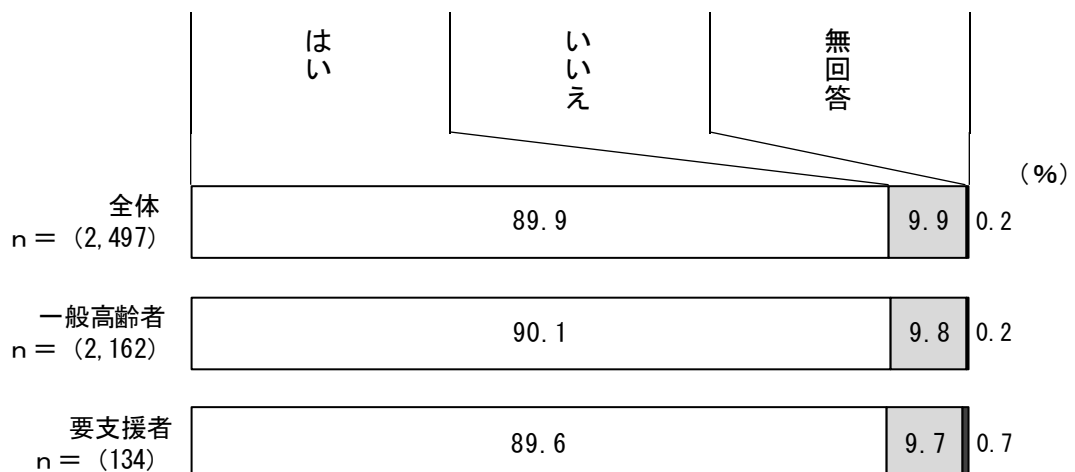


(4) 電話をかけること

問4 (3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて電話をかけているかについては、「はい」が89.9%、「いいえ」が9.9%となっています。

【電話をかけること：認定状況別】



(5) 携帯電話やスマートフォンの利用

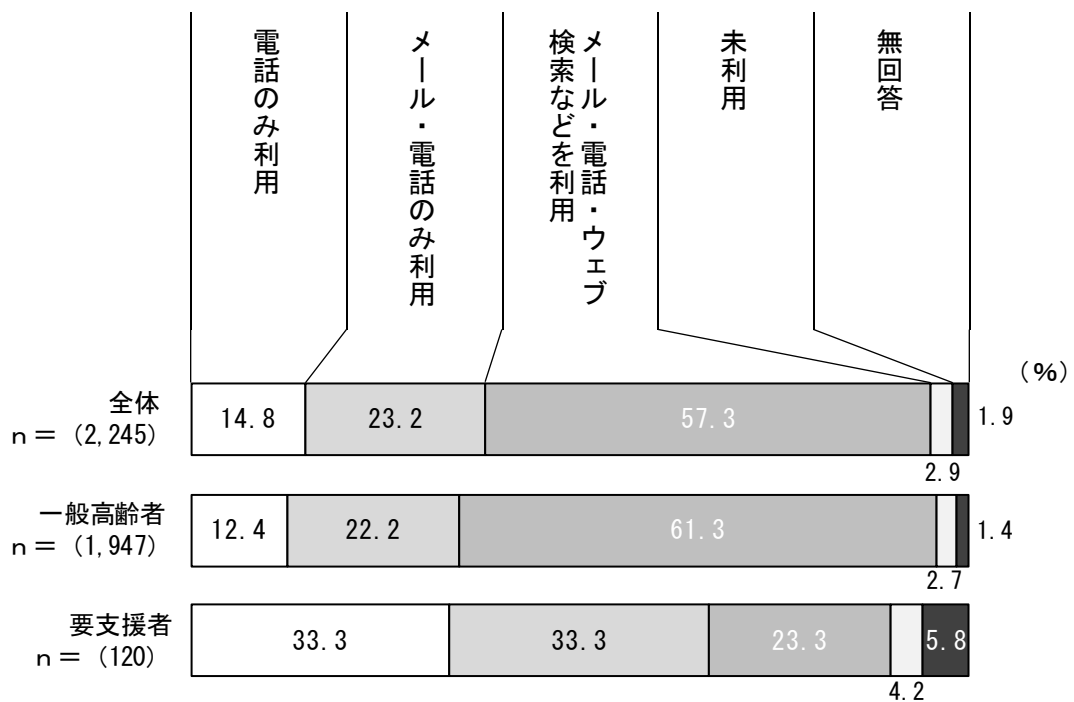
【問4(3)で「はい」を選択した方のみ】

問4(3)①携帯電話やスマートフォンを利用していますか

問4(3)で「はい」と回答した方に携帯電話やスマートフォンを利用しているかについて聞いたところ、「メール・電話・ウェブ検索などを利用」が57.3%で最も多く、「メール・電話のみ利用」(23.2%)、「電話のみ利用」(14.8%)等が続いています。

認定状況別にみると、一般高齢者は要支援者に比べて「メール・電話・ウェブ検索などを利用」の割合が多くなっています。

【携帯電話やスマートフォンの利用：認定状況別】



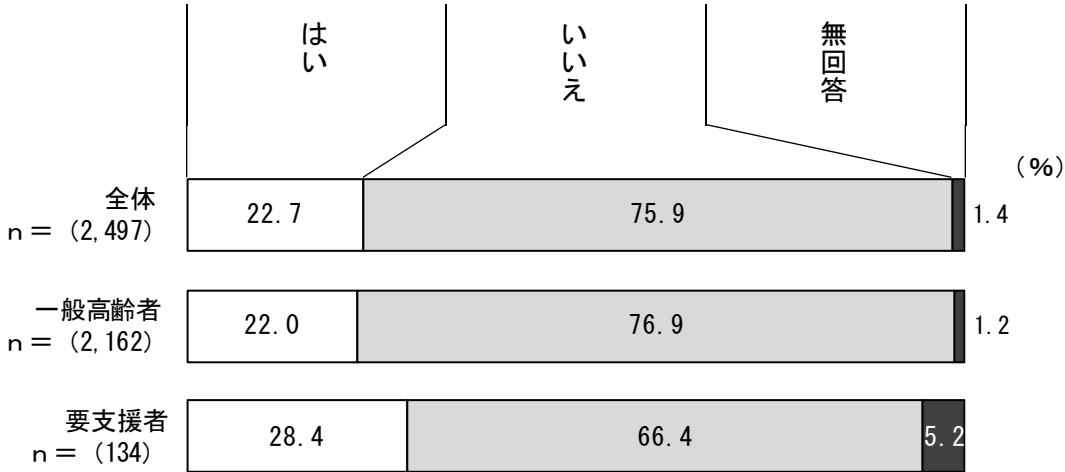
※ 「メール・電話・ウェブ検索などを利用」は前回調査では「メール・電話・ウェブ検索のみ利用」という選択肢

(6) 今日の日付

問4 (4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日の日付がわからない時があるかについては、「はい」が 22.7%、「いいえ」が 75.9%となっています。

【今日の日付：認定状況別】

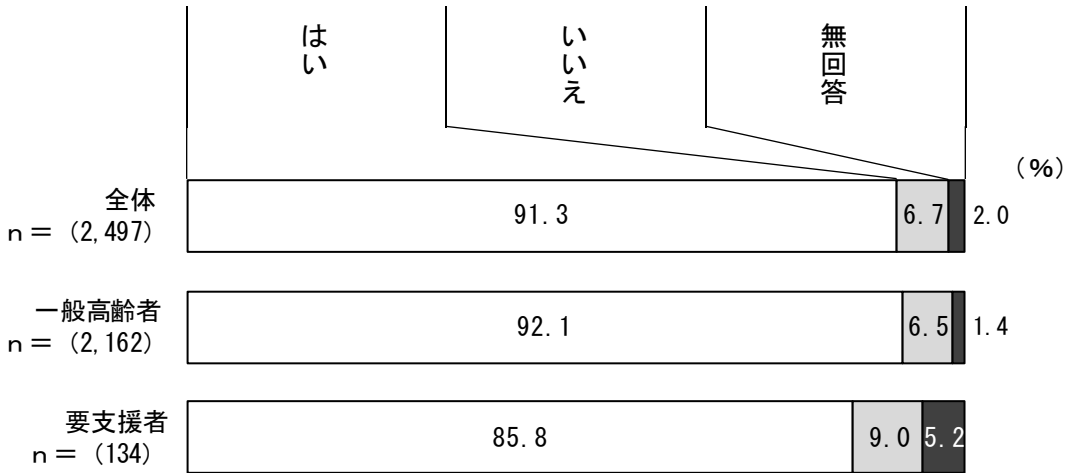


(7) 短期記憶

問4 (5) 5分前のことが思い出せますか

5分前のことが思い出せるかについては、「はい」が 91.3%、「いいえ」が 6.7%となっています。

【短期記憶：認定状況別】

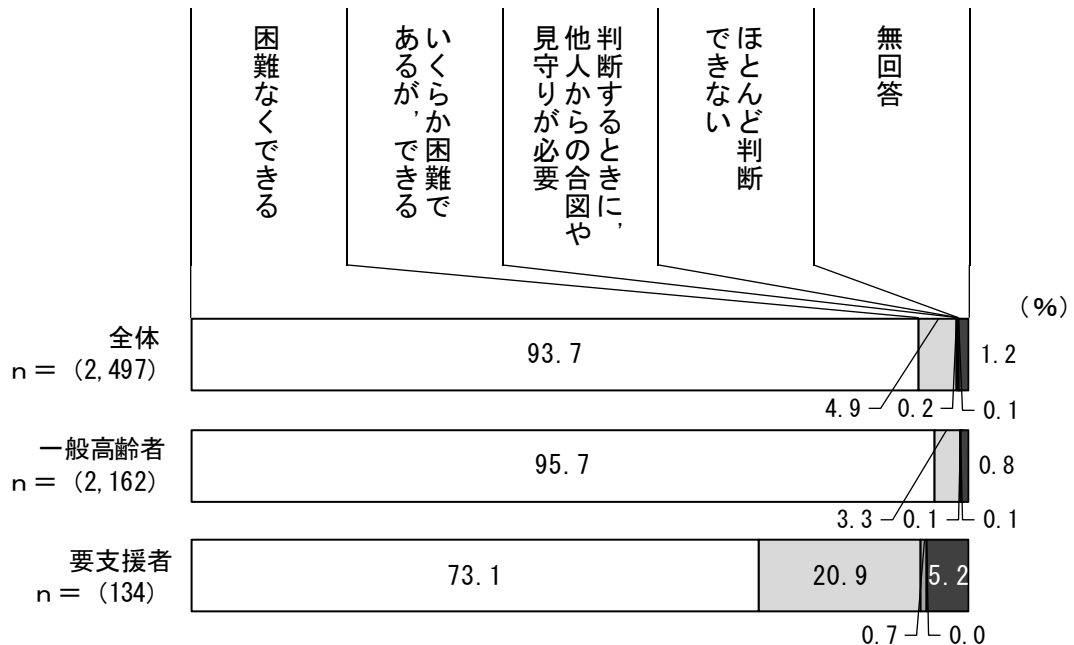


(8) その日の活動の判断

問4 (6) その日の活動(食事をする, 衣服を選ぶ等)を自分で判断できますか

その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が 93.7%で最も多く、次いで「いくらか困難であるが、できる」(4.9%)等が続いています。

【その日の活動の判断：認定状況別】

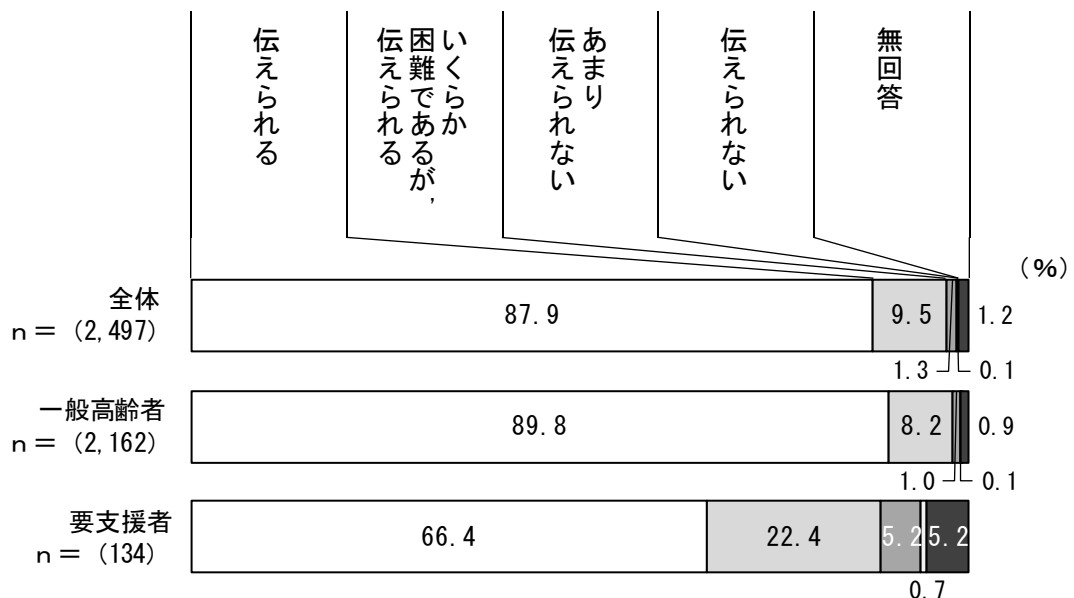


(9) 自分の考えの伝達

問4 (7) 人に自分の考えをうまく伝えられますか

人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」が 87.9%で最も多く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」(9.5%)等が続いています。

【自分の考えの伝達：認定状況別】

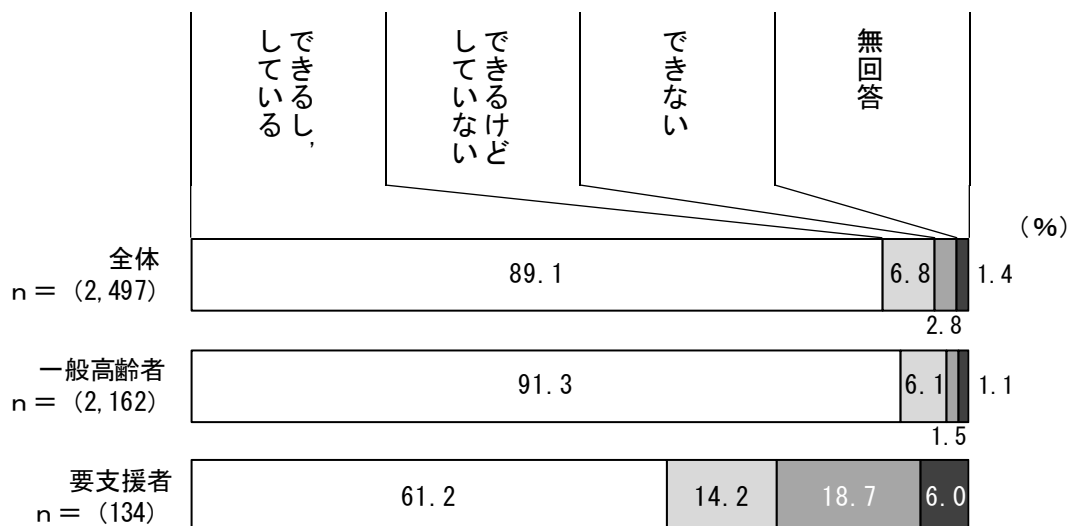


(10) 1人での外出

問4（8）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車を使った1人での外出については、「できるし、している」が89.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」(6.8%)等が続いています。

【1人での外出：認定状況別】

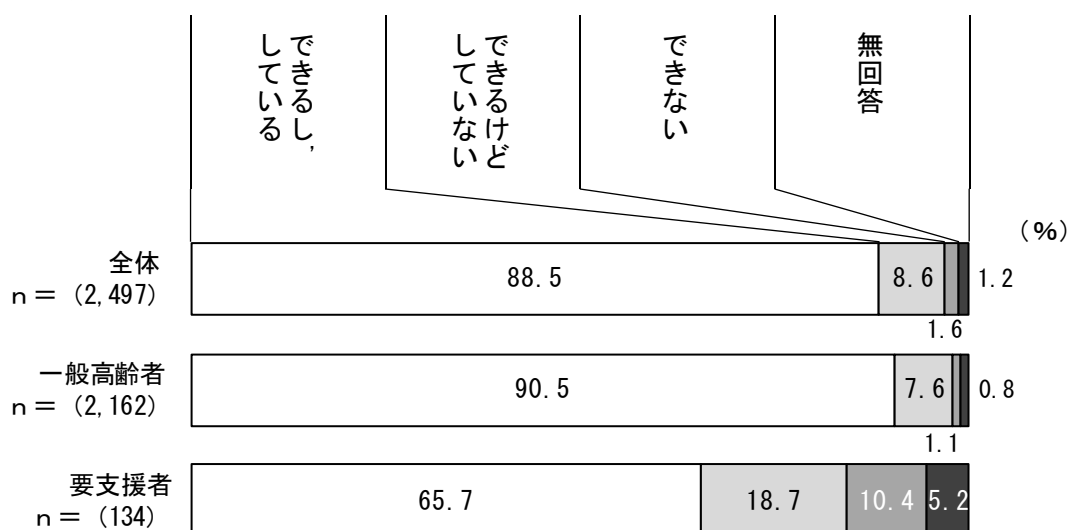


(11) 買物

問4（9）自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が88.5%で最も多く、「できるけどしていない」(8.6%)等が続いています。

【買物：認定状況別】

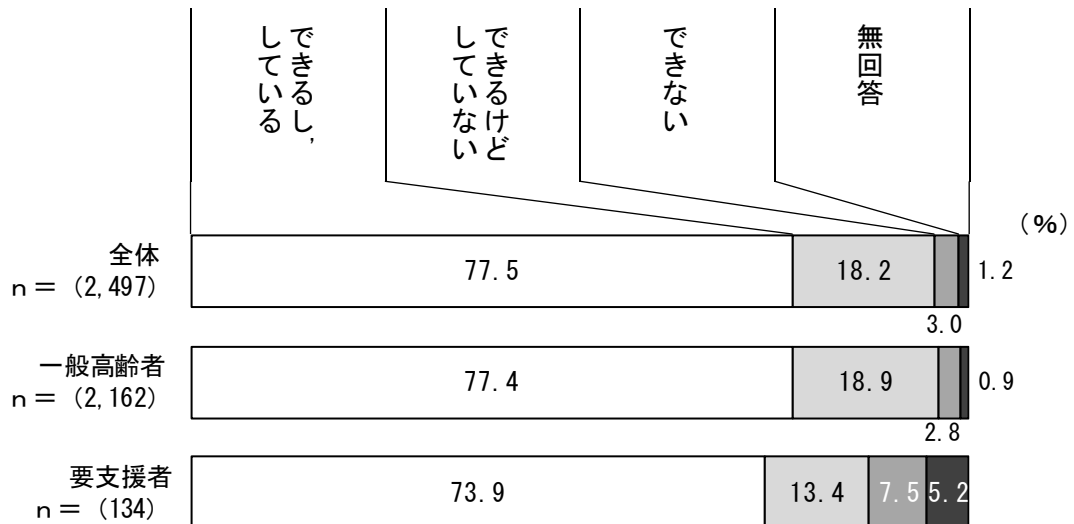


(12) 食事の用意

問4 (10) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が77.5%で最も多く、「できるけどしていない」(18.2%)等が続いています。

【食事の用意：認定状況別】

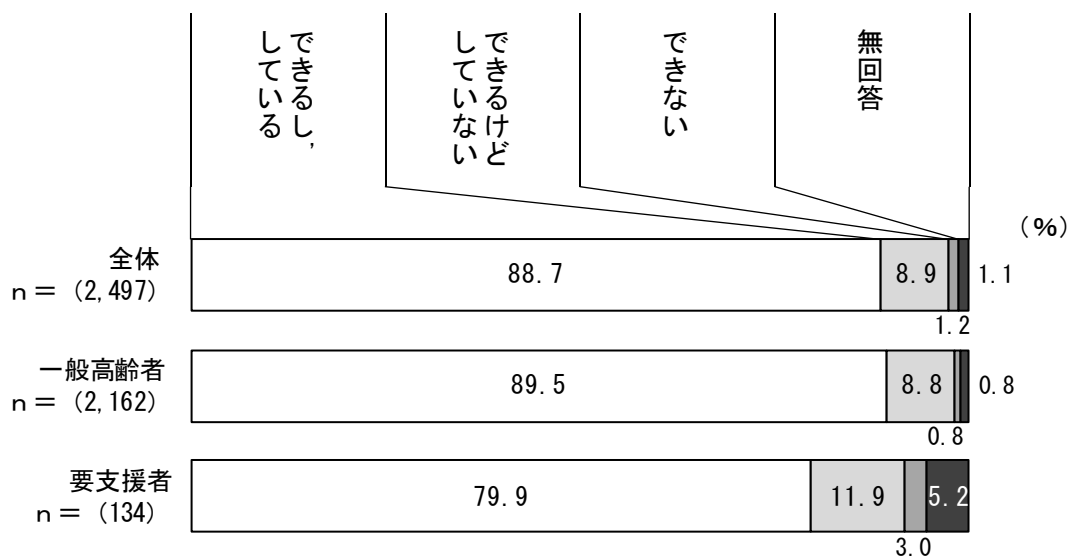


(13) 請求書の支払い

問4 (11) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が88.7%で最も多く、「できるけどしていない」(8.9%)等が続いています。

【請求書の支払い：認定状況別】

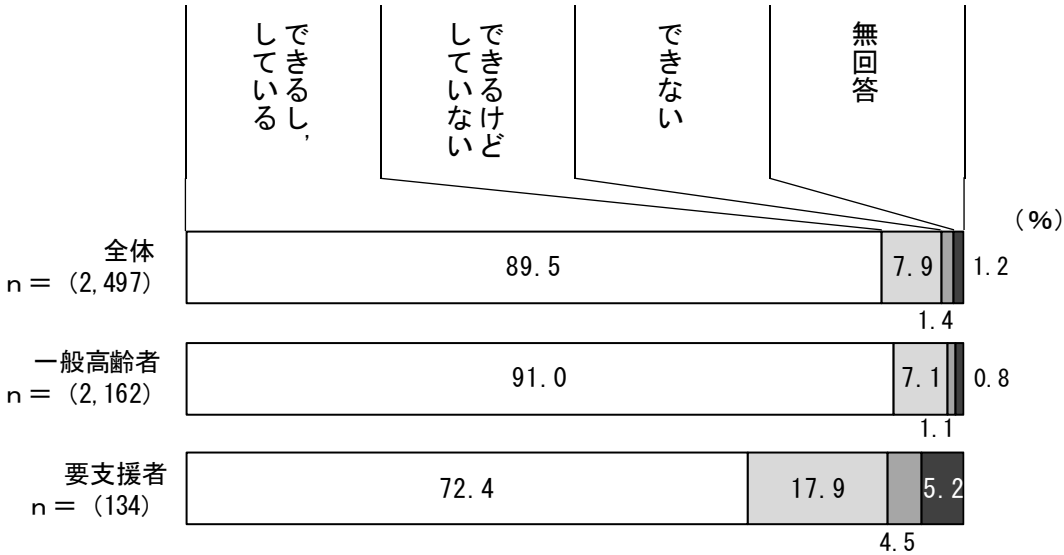


(14) 預貯金の出し入れ

問4 (12) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 89.5%で最も多く、「できるけどしていない」(7.9%) 等が続いています。

【預貯金の出し入れ：認定状況別】



(15) IADL（手段的日常生活動作）の低下

今回の調査票の問4（8）～（12）は、比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問です。各設問に「できるし、している」又は「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、合計で3点以下の場合は、IADL（手段的日常生活動作）が低下している高齢者になります。

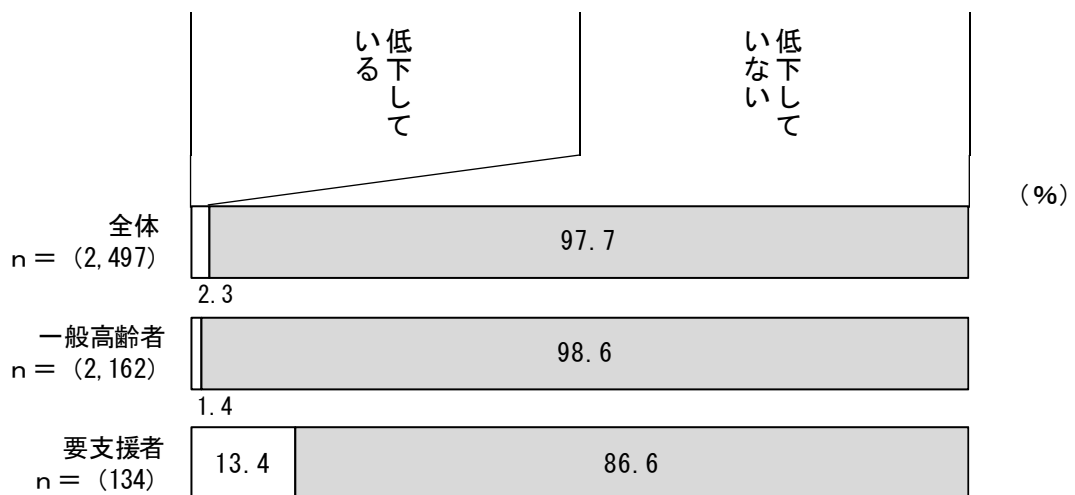
【IADL（手段的日常生活動作）の低下に関する設問（老研式活動能力指標）】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（8）	バスや電車を使って1人で外出していますか （自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（9）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（10）	自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（11）	自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（12）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」

該当する選択肢の回答結果から、IADL（手段的日常生活動作）が低下している高齢者は2.3%となっています。

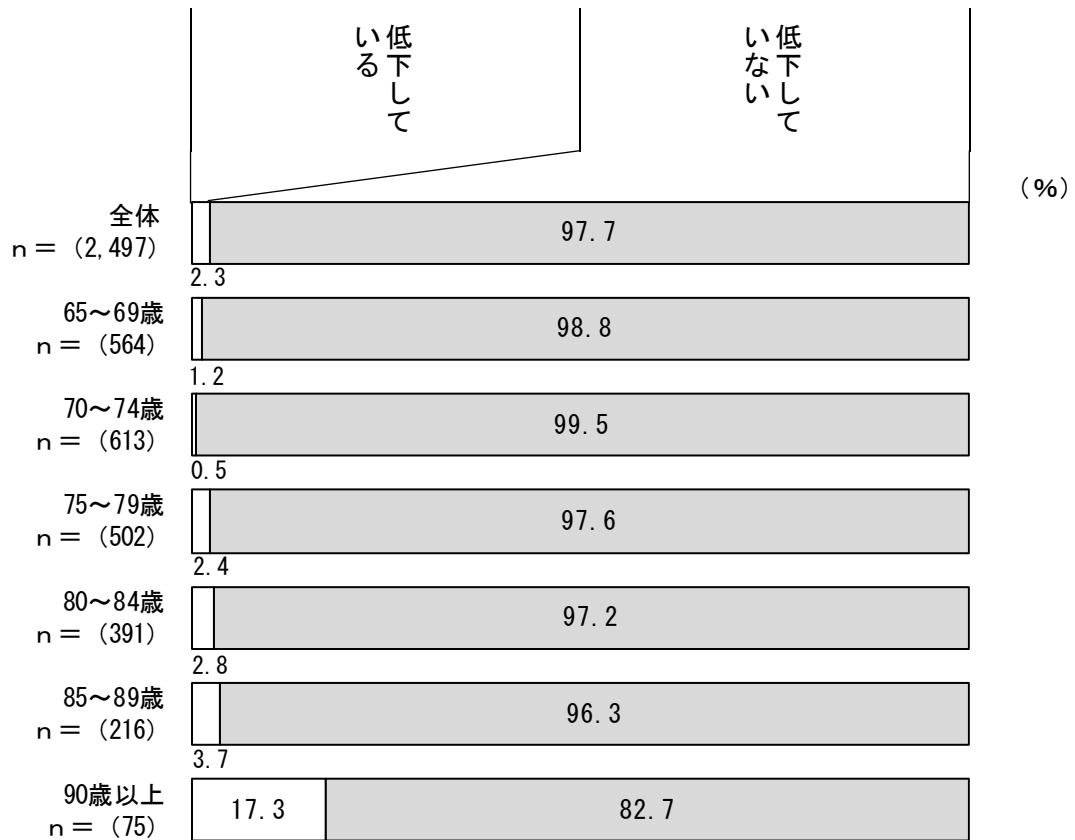
認定状況別にみると、要支援者が13.4%、一般高齢者が1.4%となっています。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：認定状況別】



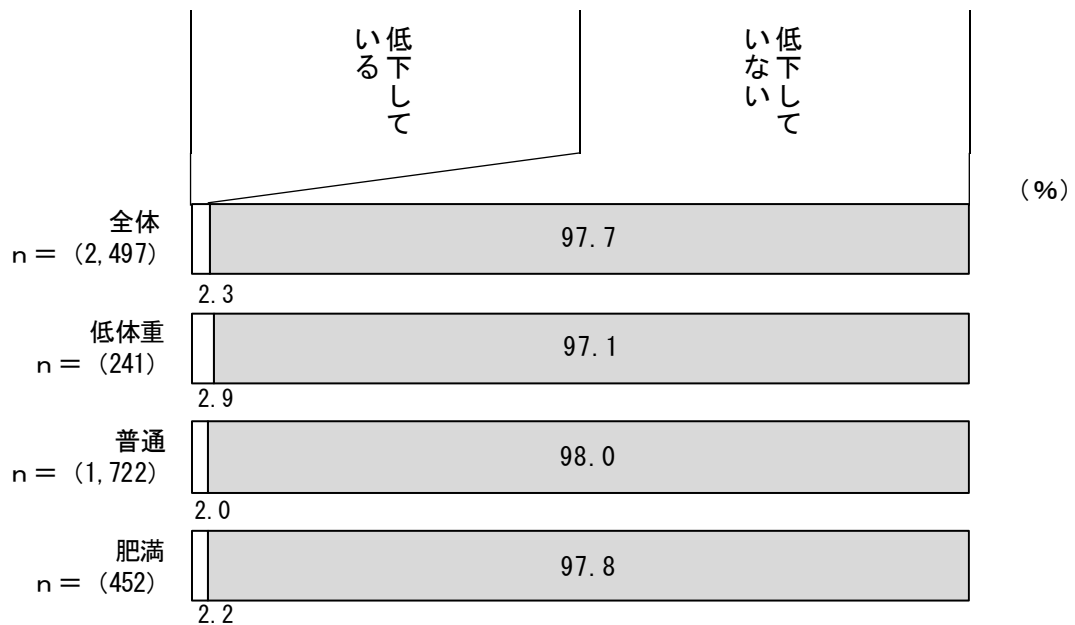
年齢別にみると、75歳以上については年齢が上がるとともにIADL（手段的日常生活動作）の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：年齢別】



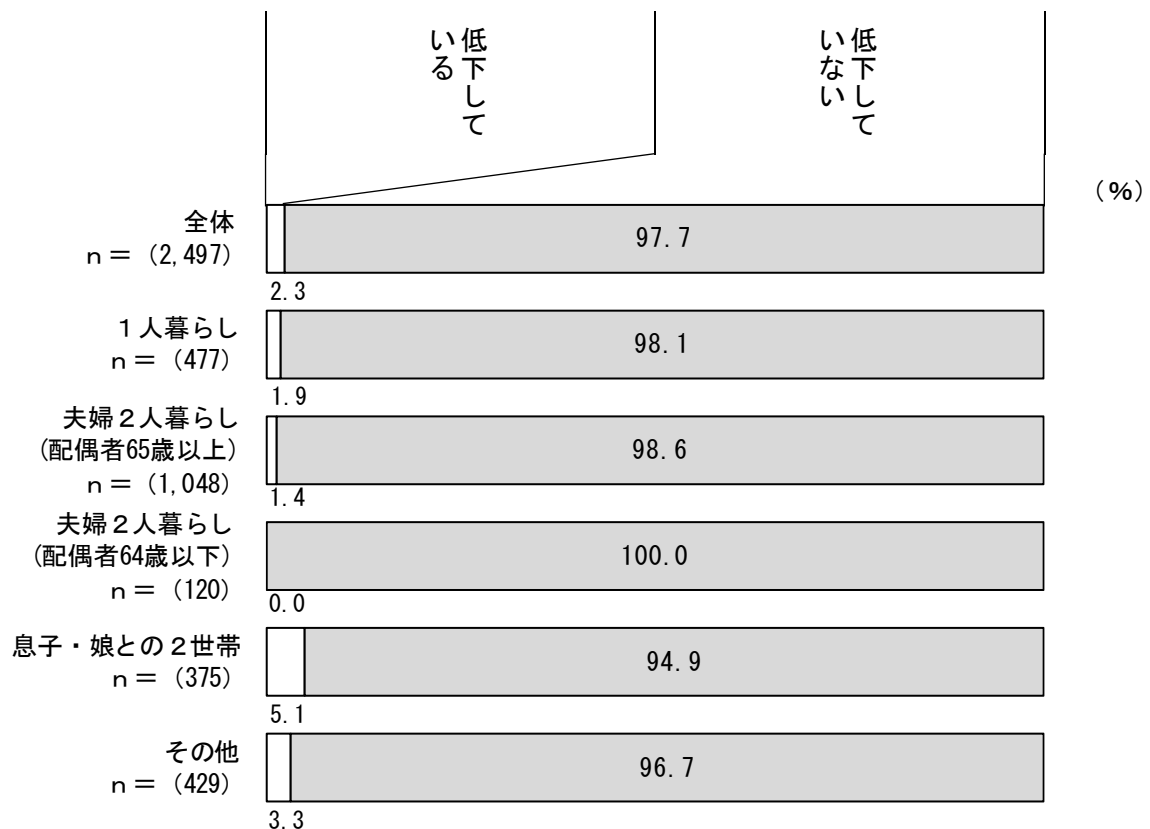
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：肥満度別】



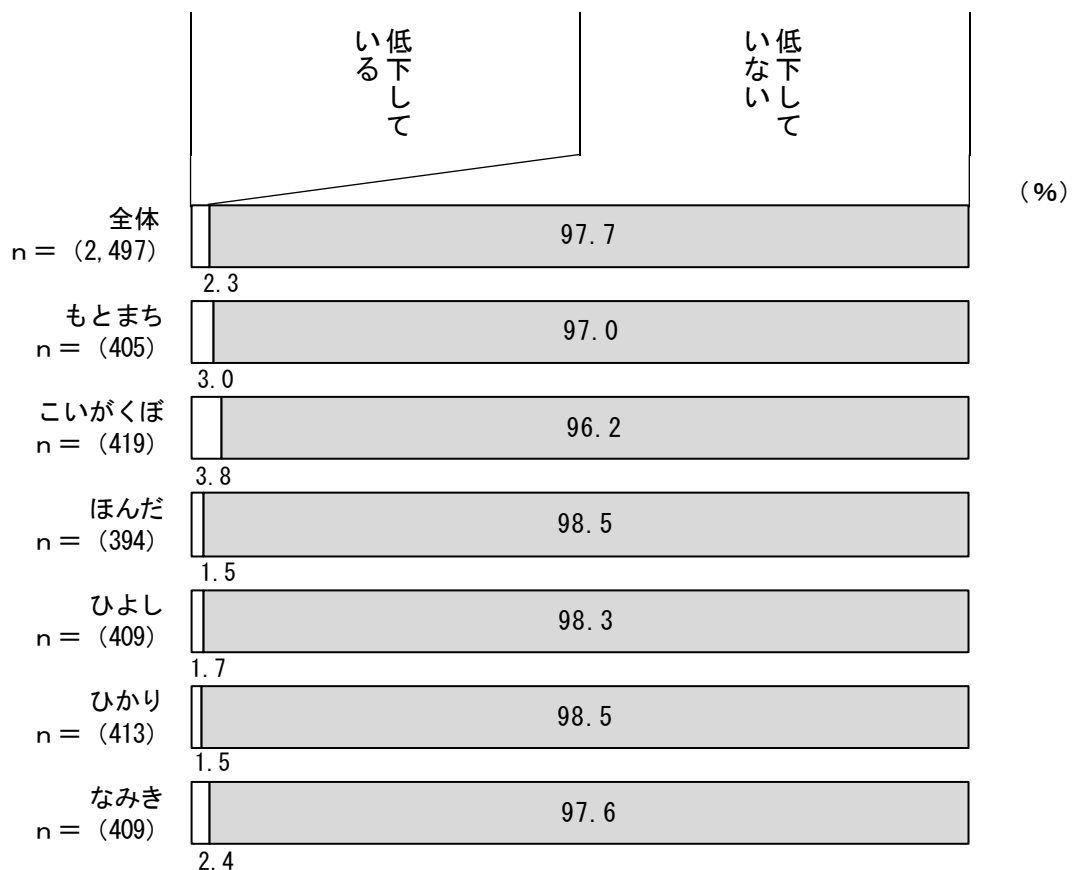
家族構成別にみると、あまり大きな差はありません。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：地域包括支援センター別】

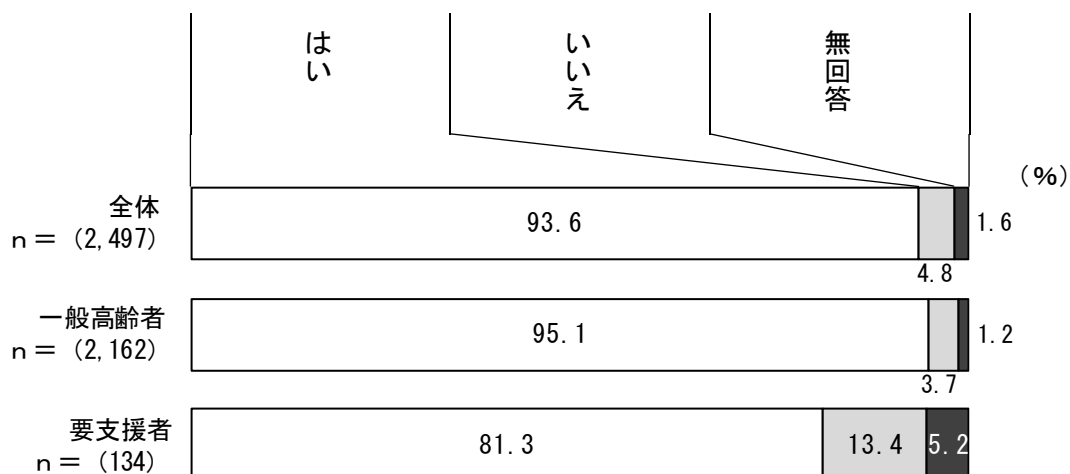


(16) 書類作成

問4 (13) 年金などの書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が93.6%、「いいえ」が4.8%となっています。
認定状況別にみると、要支援者は「はい」が81.3%となっています。

【書類作成：認定状況別】

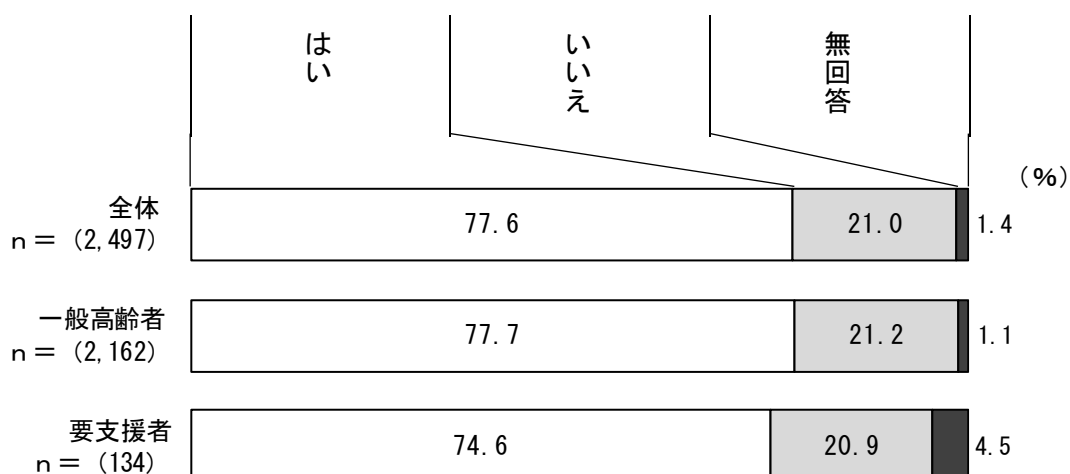


(17) 新聞を読むこと

問4 (14) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるかについては、「はい」が77.6%、「いいえ」が21.0%となっています。

【新聞を読むこと：認定状況別】

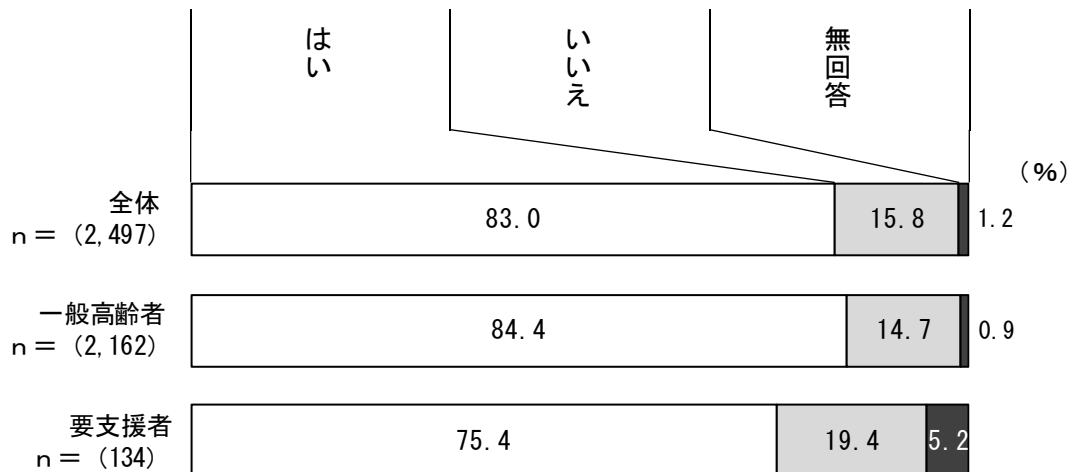


(18) 読書

問4 (15) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が 83.0%、「いいえ」が 15.8%となっています。
認定状況別にみると、要支援者は「はい」が 75.4%となっています。

【読書：認定状況別】

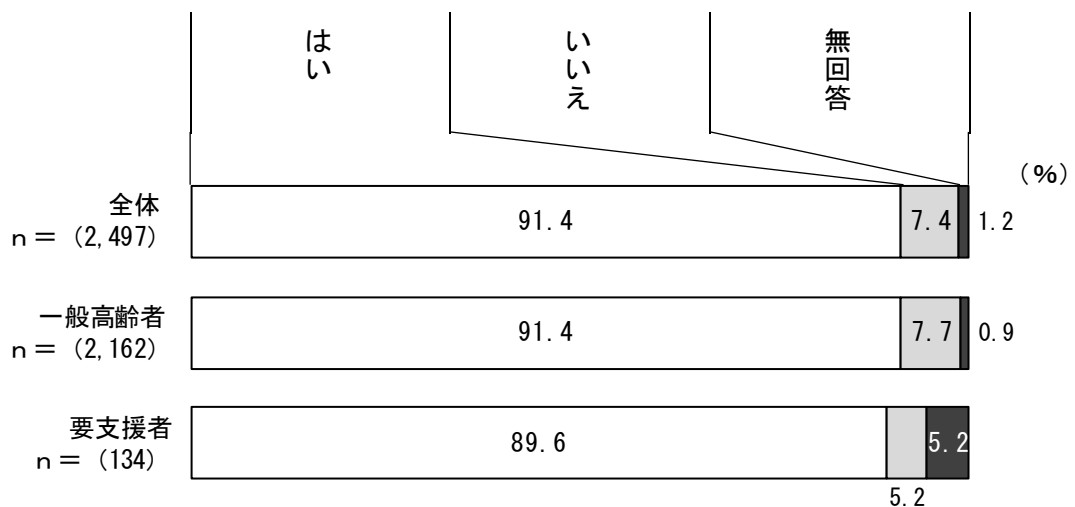


(19) 健康についての関心

問4 (16) 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が 91.4%、「いいえ」が 7.4%となっています。

【健康についての関心：認定状況別】



(20) 知的能動性の低下

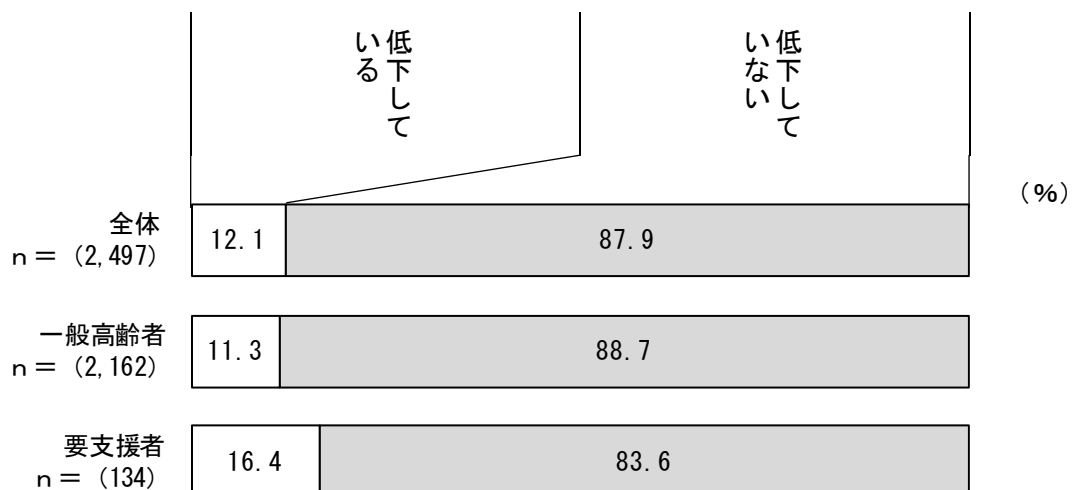
今回の調査票の問4（13）～（16）は、知的活動を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問です。各設問に「はい」と回答した場合を1点として、合計で2点以下の場合は、知的能動性が低下している高齢者になります。

【知的能動性の低下に関する設問（老研式活動能力指標）】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（13）	年金等の書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか	「はい」
問4（14）	新聞を読んでいますか	「はい」
問4（15）	本や雑誌を読んでいますか	「はい」
問4（16）	健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」

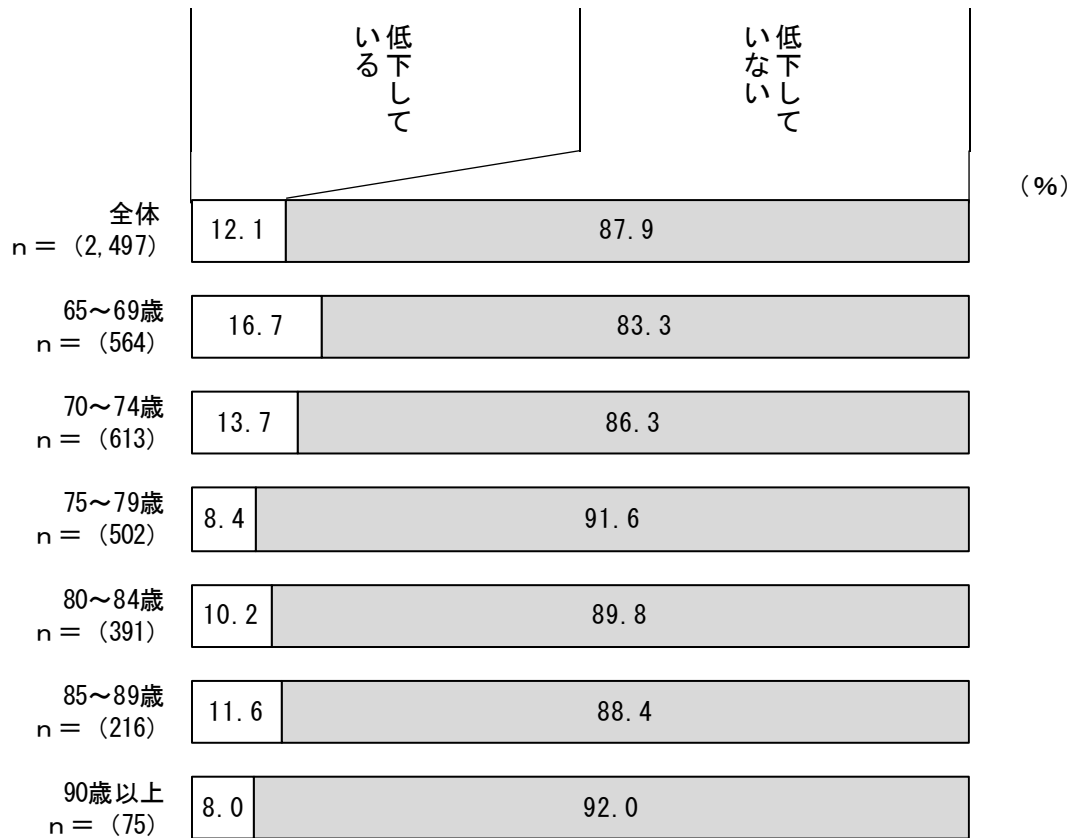
該当する選択肢の回答結果から、知的能動性が低下している高齢者は12.1%となっています。認定状況別にみると、要支援者が16.4%、一般高齢者が11.3%となっています。

【知的能動性の低下：認定状況別】



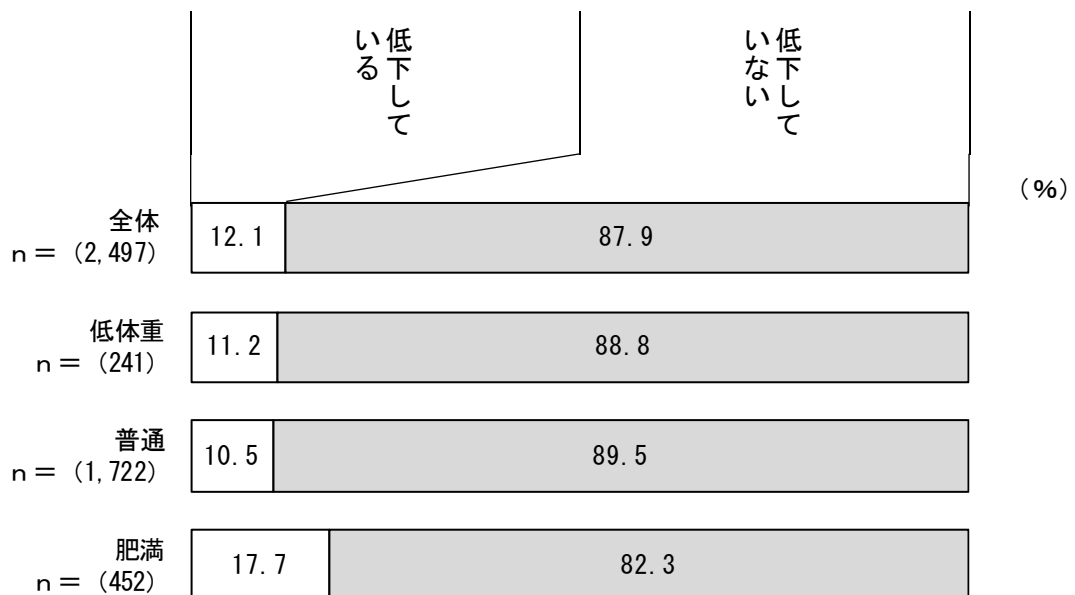
年齢別にみると、65～69歳が16.7%で最も多く、次いで70～74歳（13.7%）等が続いています。

【知的能動性の低下：年齢別】



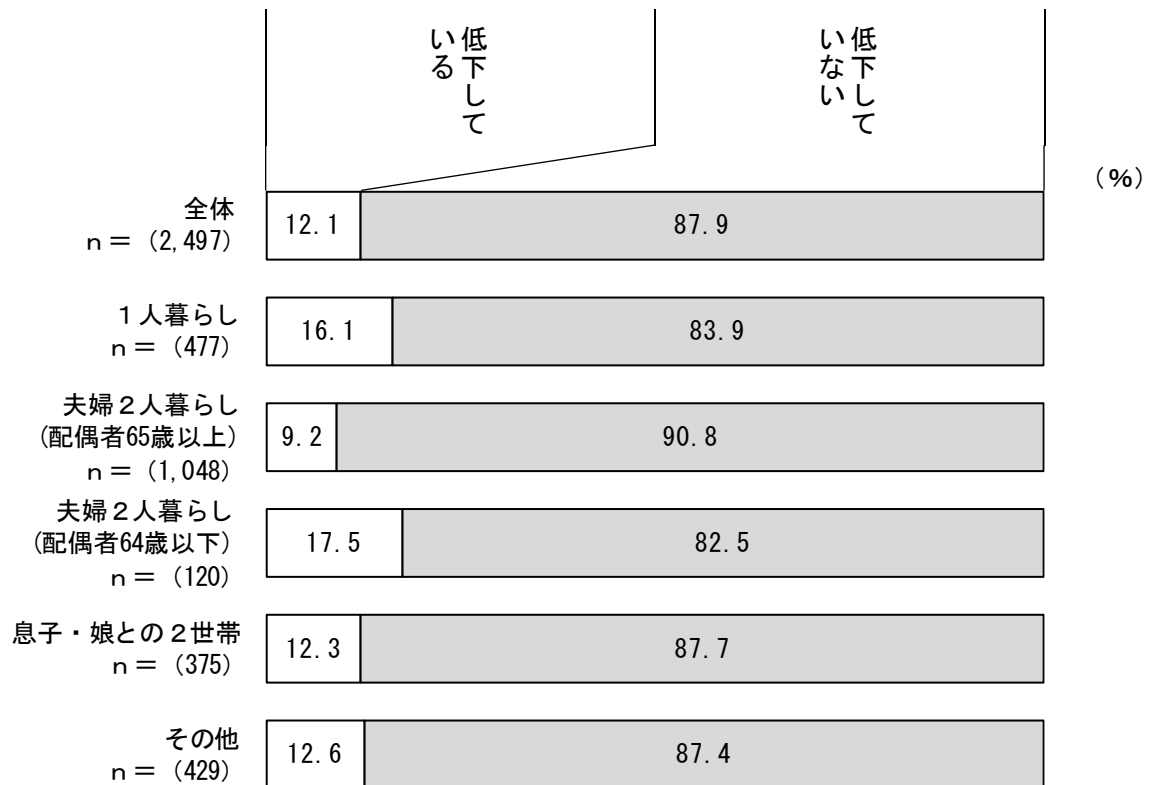
肥満度別にみると、肥満が17.7%と最も多くなっています。

【知的能動性の低下：肥満度別】



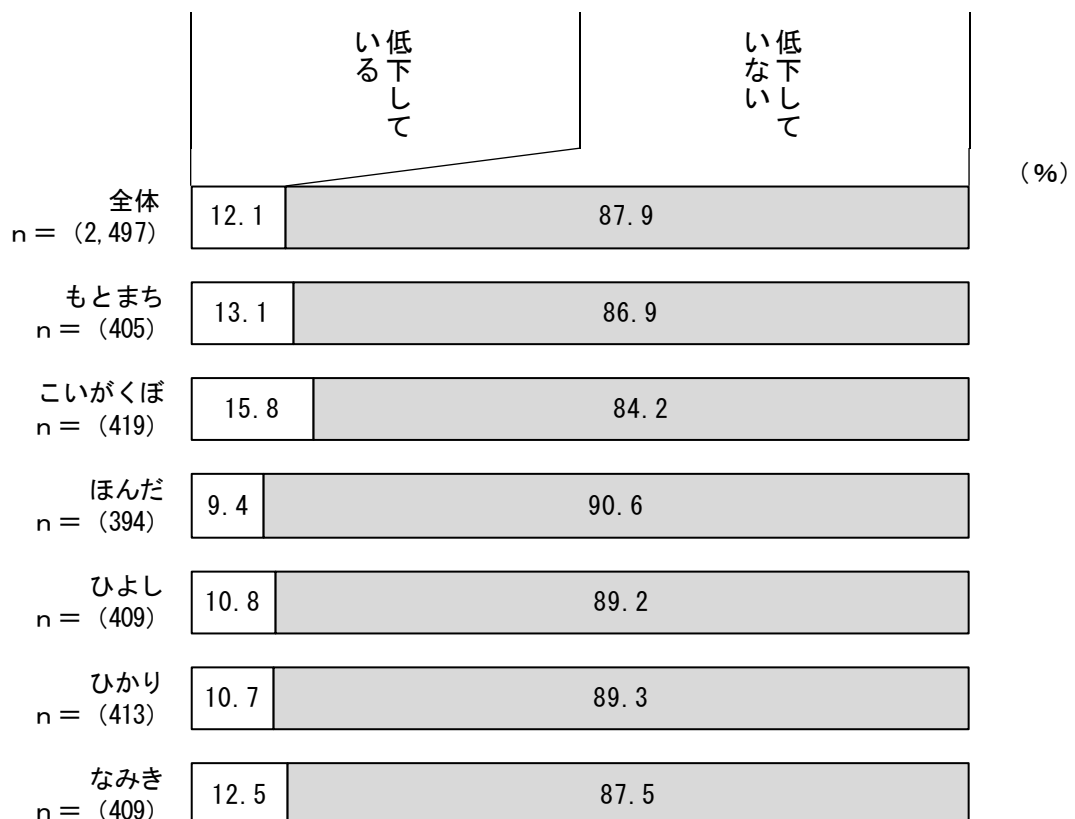
家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)が17.5%で最も多く、次いで1人暮らし(16.1%)等が続いています。

【知的能動性の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、こいがくぼが15.8%で最も多く、次いでもとまち(13.1%)等が続いています。

【知的能動性の低下：地域包括支援センター別】

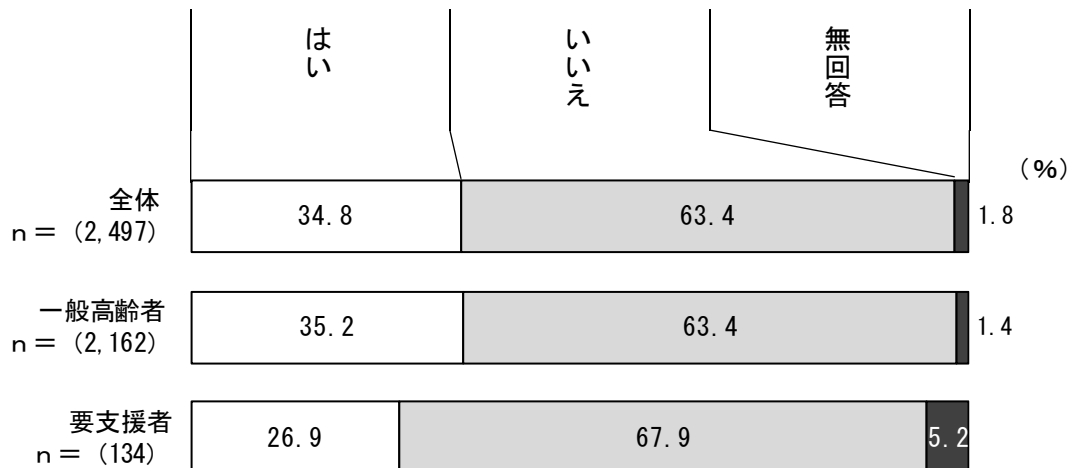


(21) 友人宅の訪問

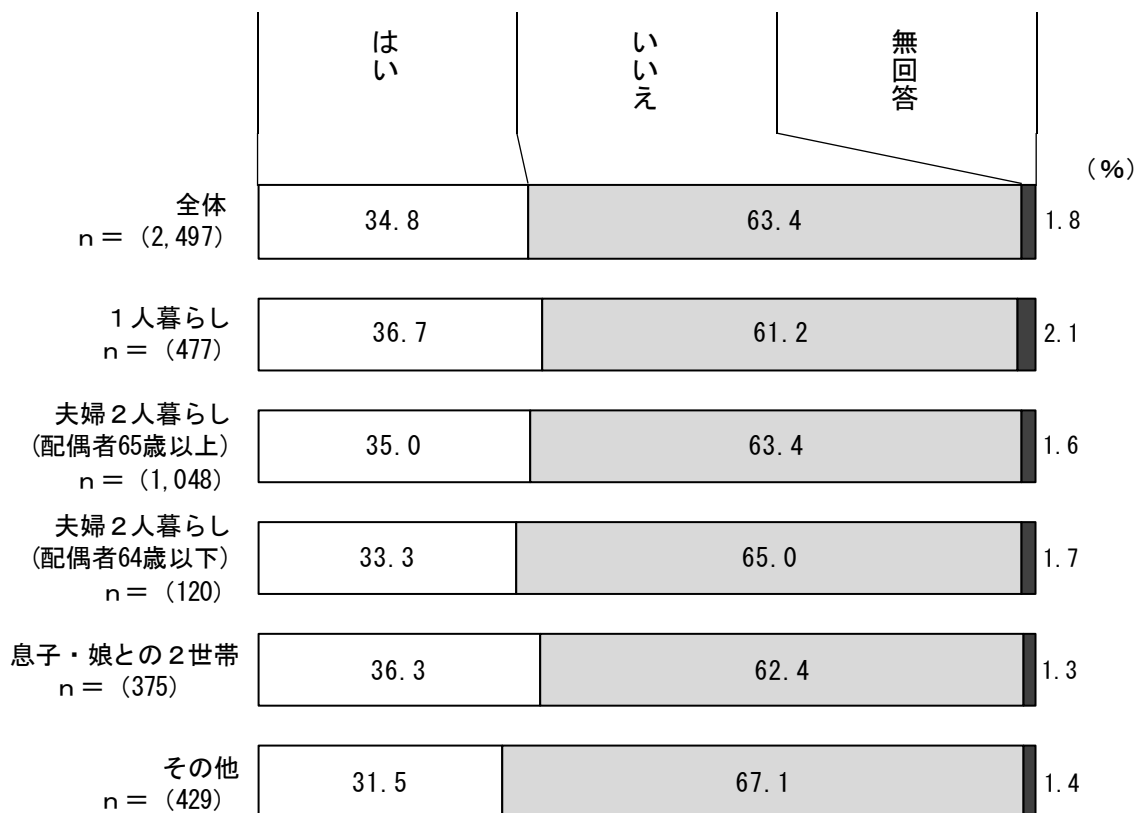
問4 (17) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が 34.8%、「いいえ」が 63.4%となっています。
家族構成別にみると、「はい」の割合に大きな差はありません。

【友人宅の訪問：認定状況別】



【友人宅の訪問：家族構成別】

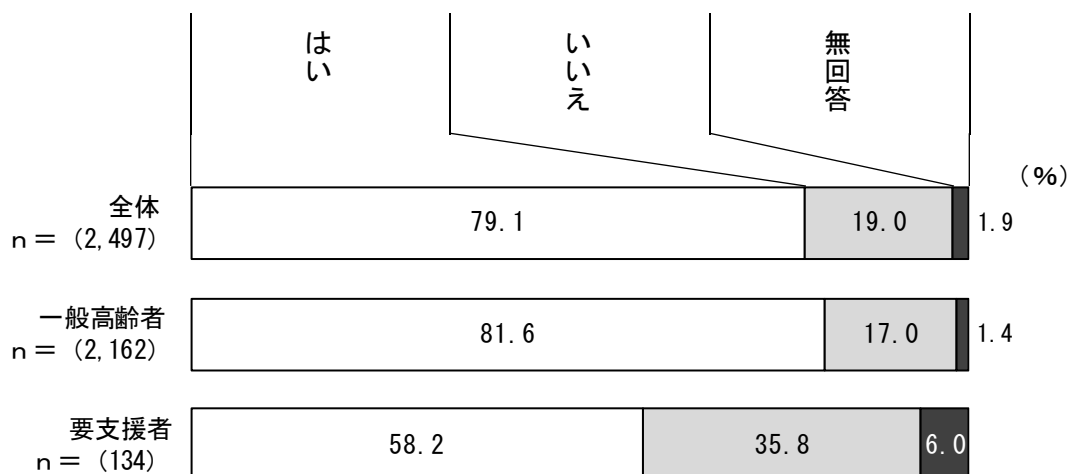


(22) 家族や友人からの相談

問4 (18) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が 79.1%、「いいえ」が 19.0%となっています。

【家族や友人からの相談：認定状況別】

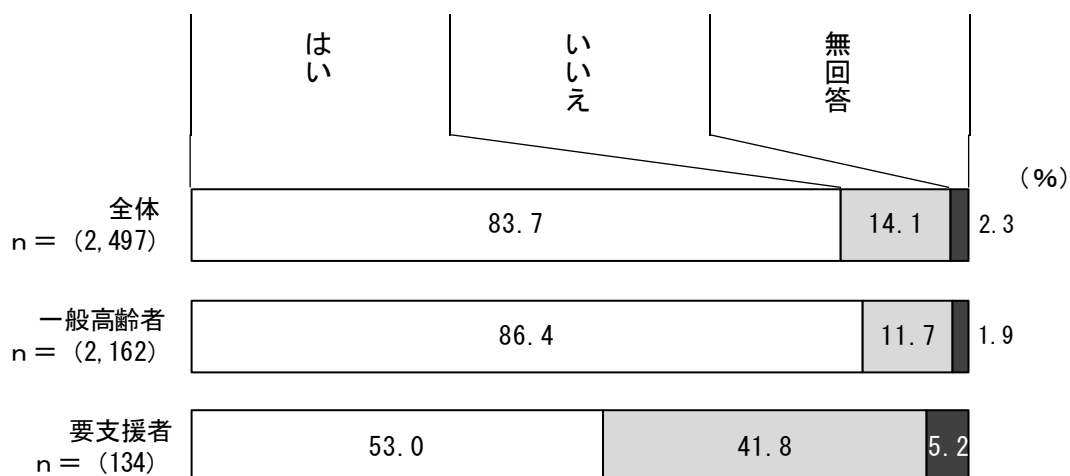


(23) 見舞い

問4 (19) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が 83.7%、「いいえ」が 14.1%となっています。

【見舞い：認定状況別】

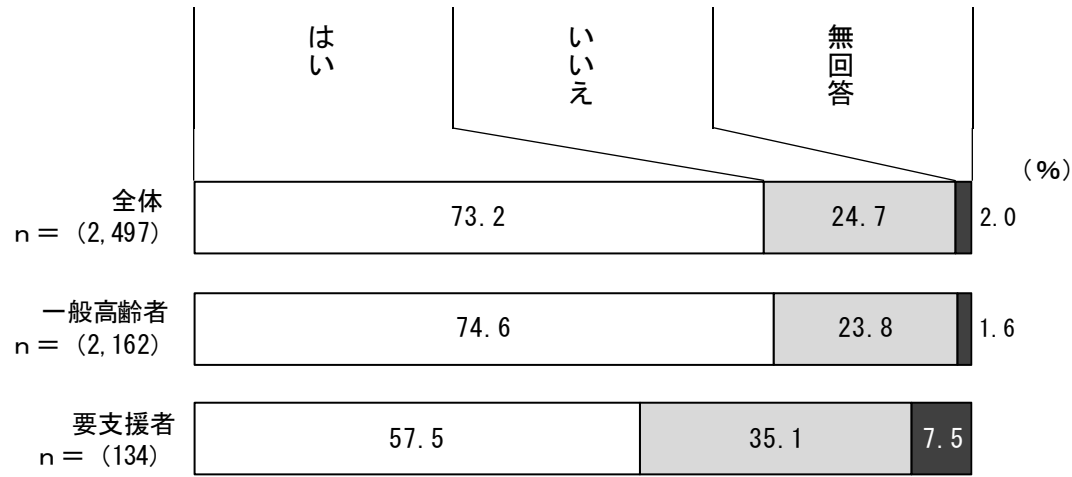


(24) 若い人への話しかけ

問4 (20) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が 73.2%、「いいえ」が 24.7%となっています。

【若い人への話しかけ：認定状況別】



(25) 他者との関わり

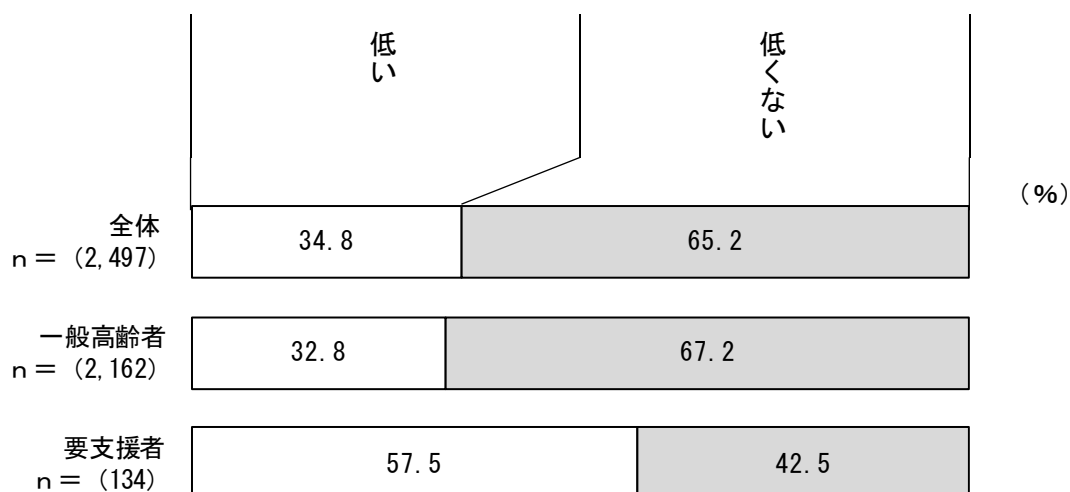
今回の調査票の問4（17）～（20）は、他者との関わりを評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問です。各設問に「はい」と回答した場合を1点として、合計で2点以下の場合、他者との関わりが低い高齢者になります。

【他者との関わりに関する設問（老研式活動能力指標）】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（17）	友人の家を訪ねていますか	「はい」
問4（18）	家族や友人の相談にのっていますか	「はい」
問4（19）	病人を見舞うことができますか	「はい」
問4（20）	若い人に自分から話しかけることがありますか	「はい」

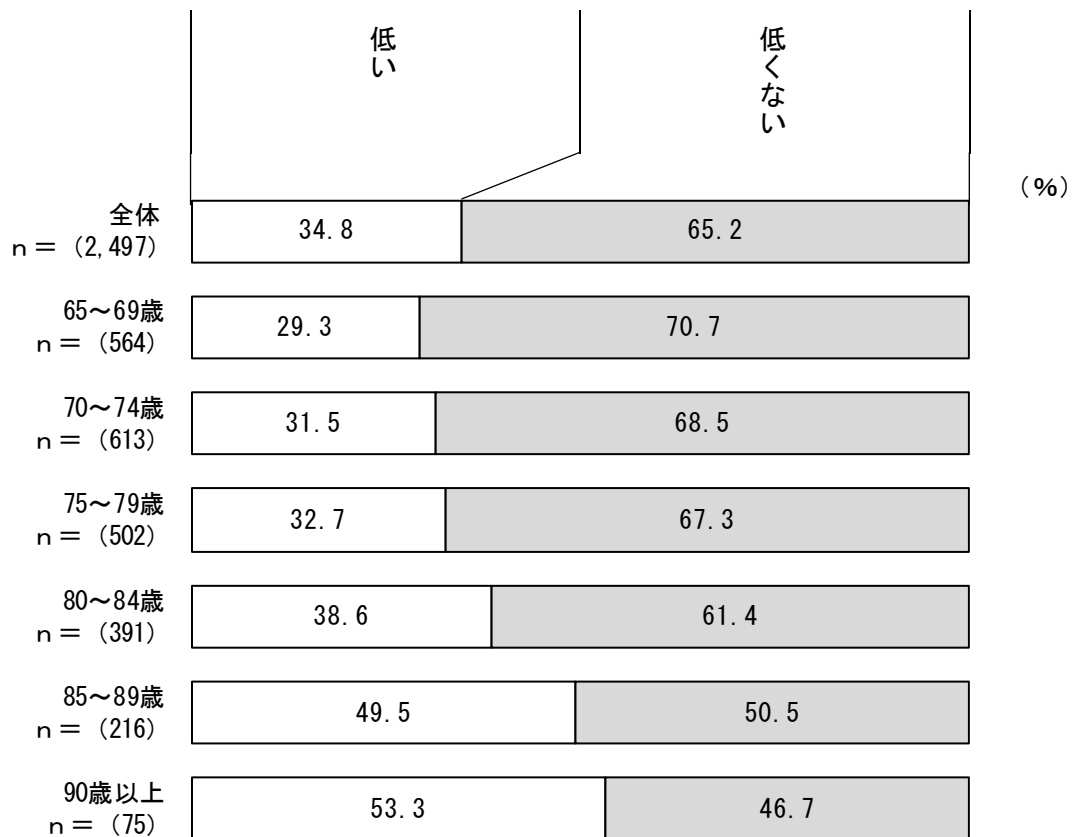
該当する選択肢の回答結果から、他者との関わりが低い高齢者は34.8%となっています。認定状況別にみると、要支援者が57.5%、一般高齢者が32.8%となっています。

【他者との関わり：認定状況別】



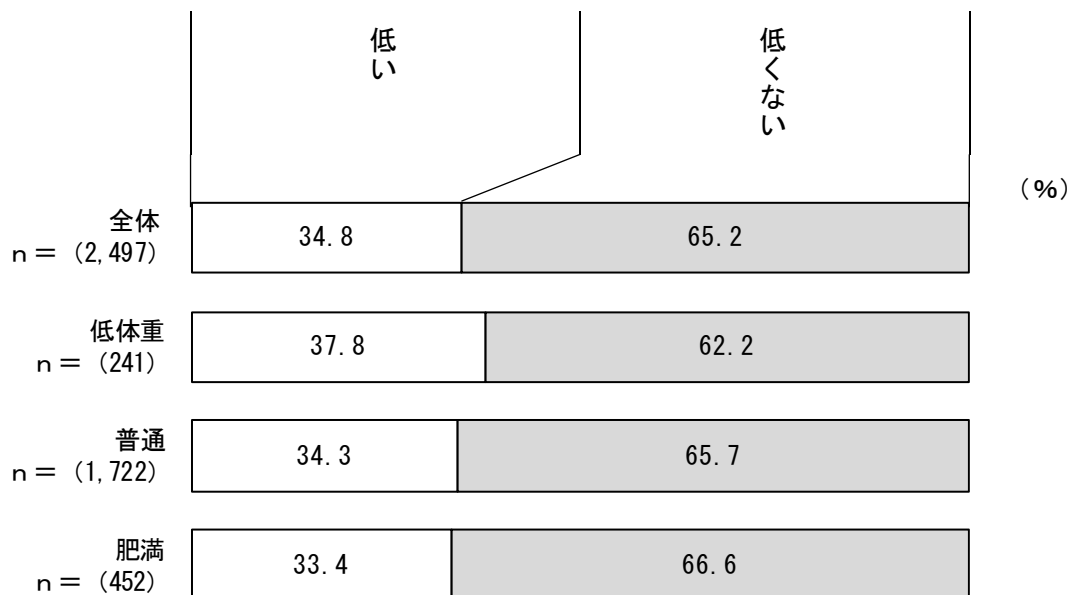
年齢別にみると、年齢が上がるとともに他者との関わりが低い高齢者の割合が多くなっており、90歳以上では53.3%となっています。

【他者との関わり：年齢別】



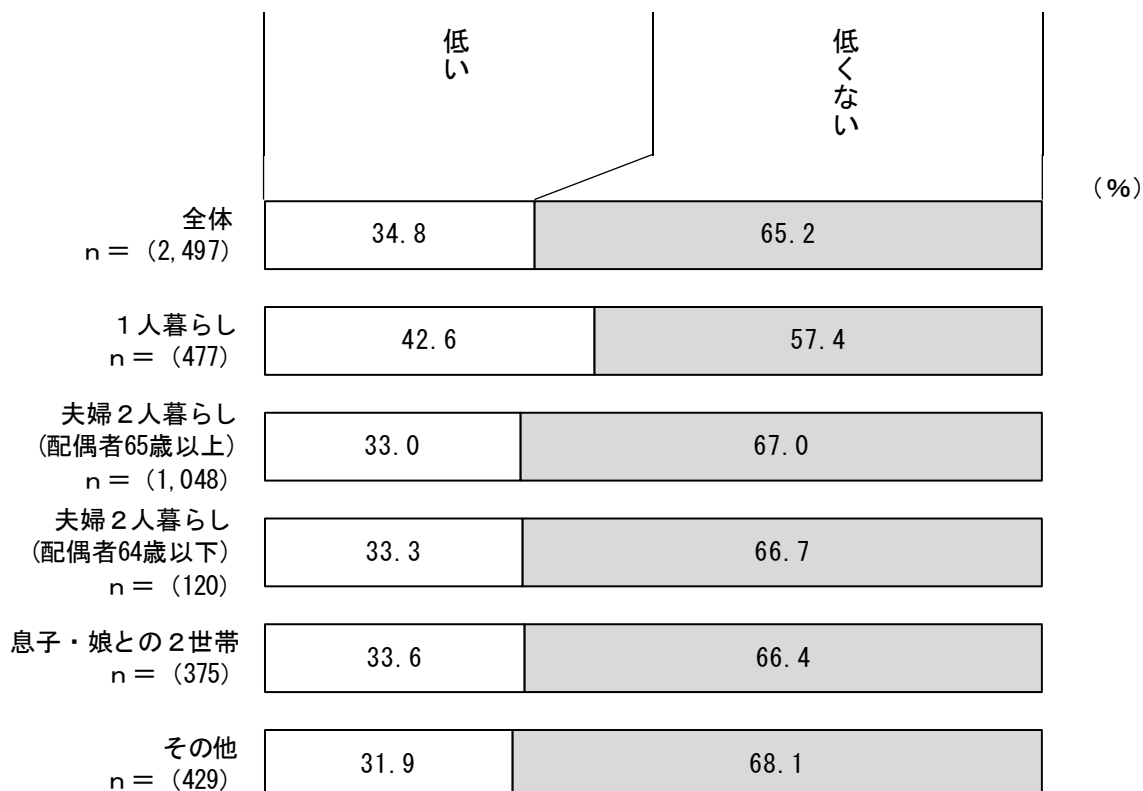
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【他者との関わり：肥満度別】



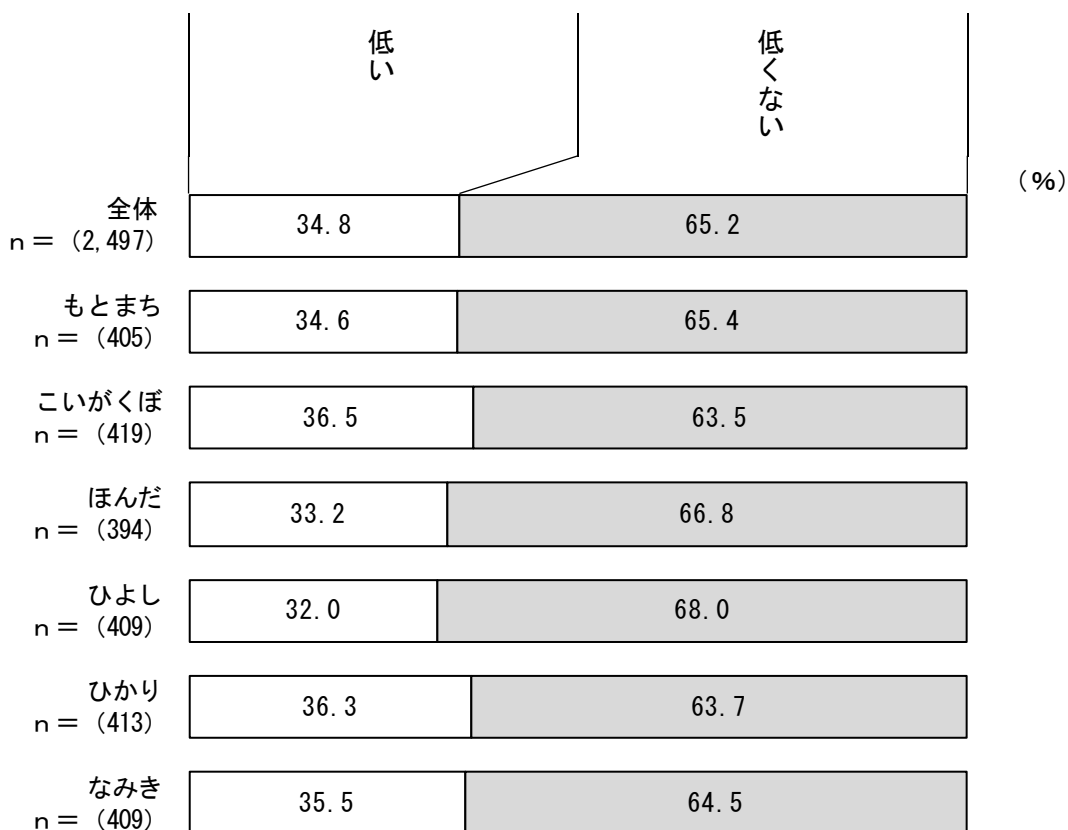
家族構成別にみると1人暮らしが42.6%で最も多く、次いで、息子・娘との2世帯(33.6%)、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(33.3%)等が続いています。

【他者との関わり：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【他者との関わり：地域包括支援センター別】



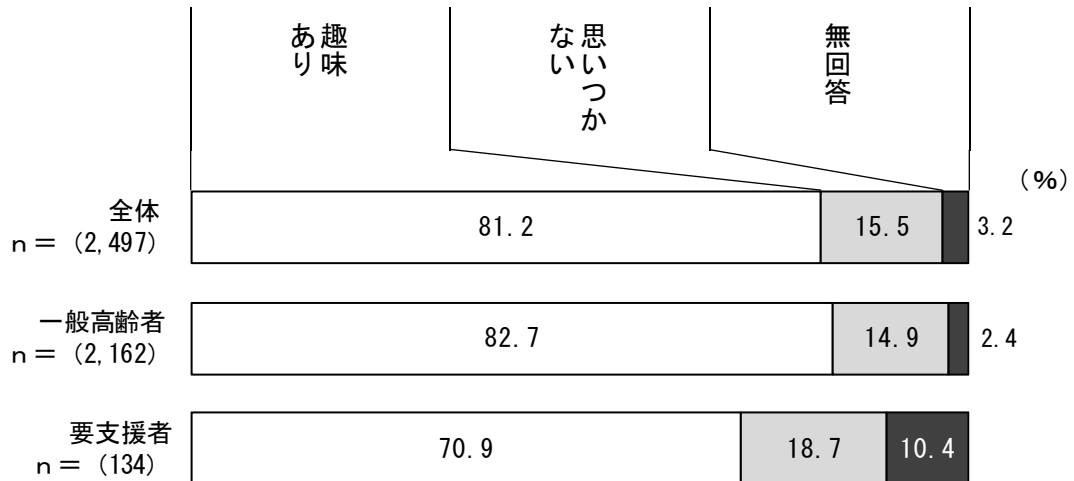
(26) 趣味

問4 (21) 趣味はありますか

趣味については、「趣味あり」が81.2%、「思いつかない」が15.5%となっています。

「趣味あり」と回答した方に趣味について聞いたところ、「音楽」、「旅行」、「園芸・ガーデニング」、「ウォーキング・散歩」、「読書」、「映画鑑賞」、「絵画」、「スポーツ」、「洋裁・手芸」等となっています。

【趣味：認定状況別】



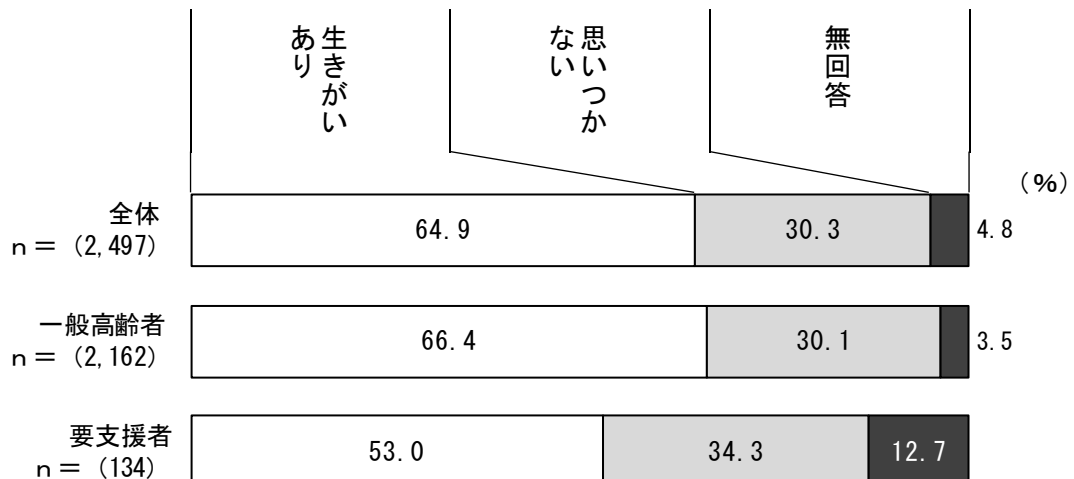
(27) 生きがい

問4 (22) 生きがいはありますか

生きがいについては、「生きがいあり」が64.9%、「思いつかない」が30.3%となっています。

「生きがいあり」と回答した方に生きがいについて聞いたところ、「子ども・孫」、「趣味」、「家族」、「健康」、「仕事」、「旅行」、「交流」、「友人」、「ペット」、「食事」、「ボランティア」等となっています。

【生きがい：認定状況別】



6 地域での活動

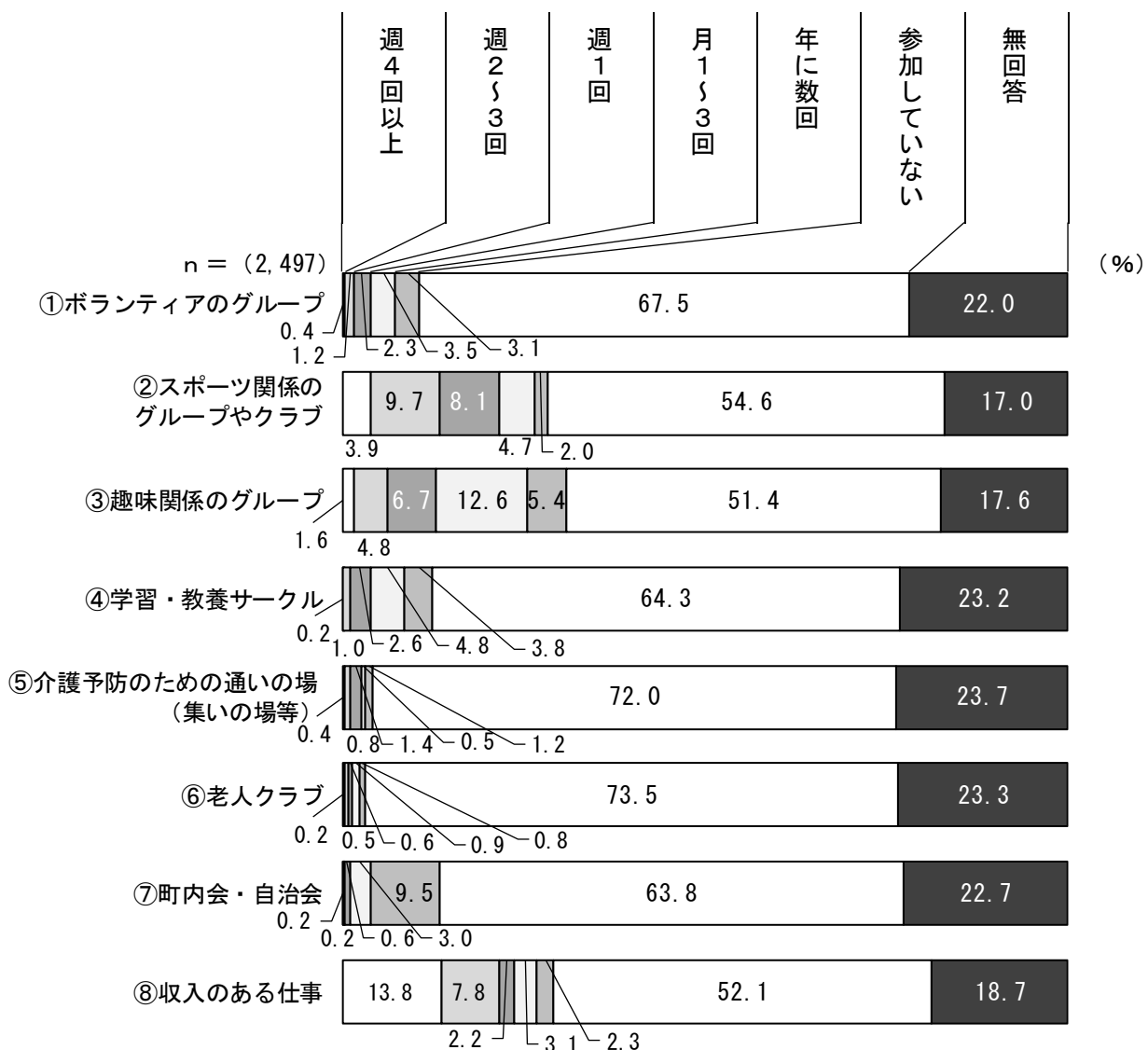
(1) 会・グループ等への参加

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

会・グループ等への参加についてみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計が多いのは⑧収入のある仕事（26.9%）、②スポーツ関係のグループやクラブ（26.4%）、③趣味関係のグループ（25.7%）となっています。

⑧収入のある仕事については、「週4回以上」が13.8%となっています。

【会・グループ等への参加】



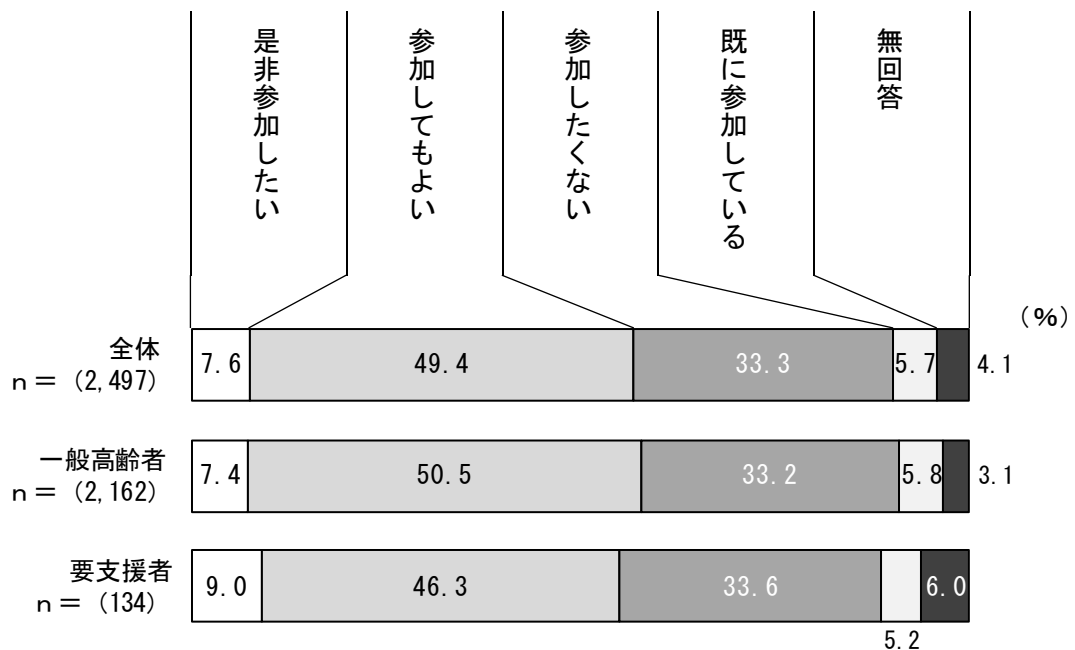
(2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向

① 参加者として参加

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

今後、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいかについては、「参加してもよい」が49.4%で最も多く、次いで「参加したくない」(33.3%)、「是非参加したい」(7.6%)、「既に参加している」(5.7%)が続いています。

【参加者として参加：認定状況別】

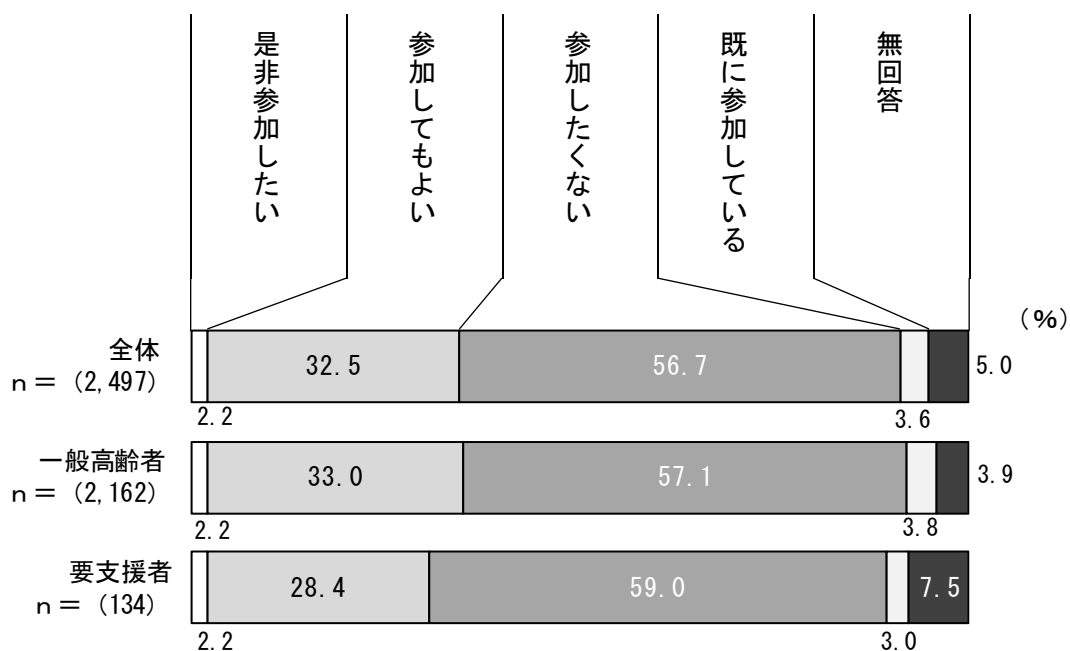


② 企画・運営として参加

問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

企画・運営として参加してみたいかについては、「是非参加したい」が2.2%、「参加してもよい」が32.5%となっています。「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた参加に前向きな方の割合は34.7%となっています。

【企画・運営として参加：認定状況別】



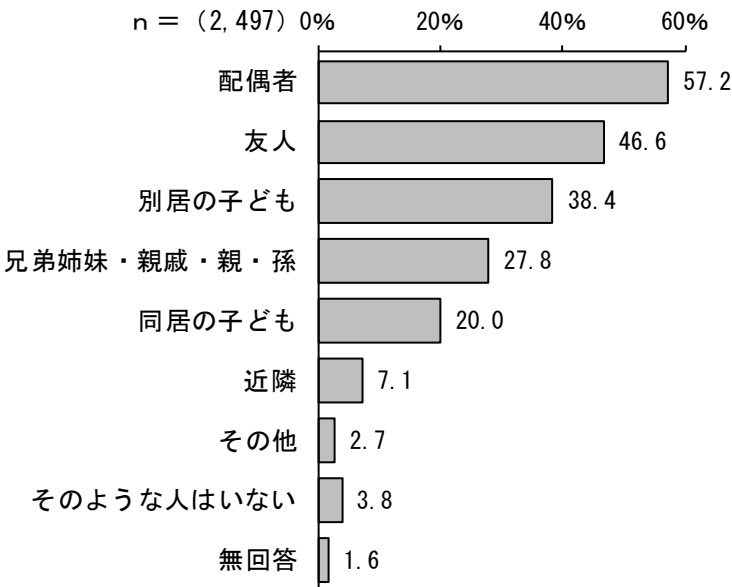
7 たすけあい

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか
(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてくれる人としては、「配偶者」が 57.2%で最も多く、次いで「友人」(46.6%)、「別居の子ども」(38.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.8%)等が続いています。家族構成別にみると、1人暮らしでは「友人」が 60.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」(45.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(38.4%)等が続いています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が 82.7%で最も多く、次いで「友人」(44.6%)、「別居の子ども」(43.8%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が 61.9%で最も多く、次いで「配偶者」(53.1%)、「友人」(41.9%)等が続いています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】(複数回答)



【心配事や愚痴を聞いてくれる人：家族構成別】(複数回答)

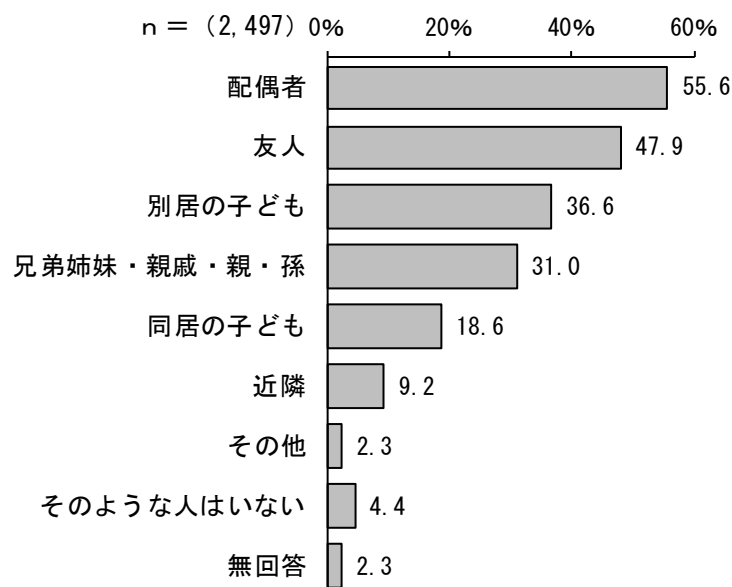
	配偶者	友人	別居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	57.2%	46.6%	38.4%	27.8%	20.0%	7.1%	2.7%	3.8%	1.6%
1人暮らし n = (477)	1.9%	60.0%	45.9%	38.4%	0.8%	10.7%	3.6%	9.9%	2.1%
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） n = (1,048)	82.7%	44.6%	43.8%	23.9%	2.6%	6.5%	1.6%	2.0%	1.3%
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） n = (120)	85.8%	36.7%	26.7%	19.2%	4.2%	3.3%	2.5%	2.5%	2.5%
息子・娘との2世帯 n = (375)	53.1%	41.9%	28.5%	27.2%	61.9%	6.7%	2.7%	2.9%	1.1%
その他 n = (429)	52.0%	44.8%	29.8%	29.8%	51.5%	6.5%	4.2%	3.3%	1.2%

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか
(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてあげる人としては、「配偶者」が 55.6%で最も多く、次いで「友人」(47.9%)、「別居の子ども」(36.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.0%)等が続いています。家族構成別にみると、1人暮らしでは「友人」が 59.5%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.7%)、「別居の子ども」(35.4%)等が続いています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が 80.3%で最も多く、次いで「友人」(46.5%)、「別居の子ども」(43.8%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が 55.2%で最も多く、次いで「配偶者」(51.2%)、「友人」(45.1%)等が続いています。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人】(複数回答)



【心配事や愚痴を聞いてあげる人：家族構成別】(複数回答)

	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	55.6%	47.9%	36.6%	31.0%	18.6%	9.2%	2.3%	4.4%	2.3%
1人暮らし n = (477)	2.1%	59.5%	35.4%	37.7%	0.8%	13.4%	3.4%	11.7%	2.9%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) n = (1,048)	80.3%	46.5%	43.8%	26.9%	2.8%	8.2%	1.8%	2.7%	1.7%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) n = (120)	83.3%	37.5%	33.3%	24.2%	5.0%	5.8%	3.3%	0.8%	2.5%
息子・娘との2世帯 n = (375)	51.2%	45.1%	27.5%	30.4%	55.2%	7.7%	1.6%	2.9%	1.9%
その他 n = (429)	50.6%	45.2%	30.1%	36.1%	48.7%	9.6%	3.0%	3.3%	2.3%

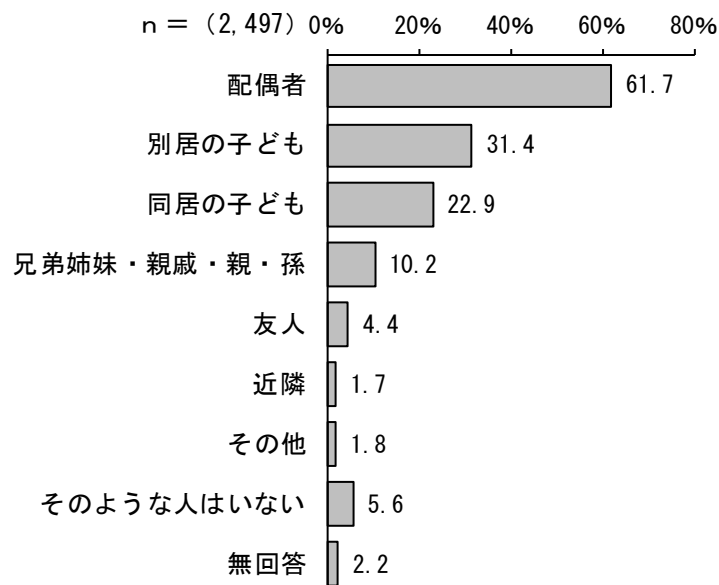
(3) 看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか（あてはまるものすべてに○）

看病や世話をしてくれる人としては、「配偶者」が61.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」(31.4%)、「同居の子ども」(22.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(10.2%)等が続いています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」が49.1%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.4%)等が続いています。一方で、「そのような人はいない」が21.0%になっています。夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では「配偶者」が89.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」(36.5%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が73.9%で最も多く、次いで「配偶者」(57.1%)等が続いています。

【看病や世話をしてくれる人】（複数回答）



【看病や世話をしてくれる人：家族構成別】（複数回答）

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	61.7%	31.4%	22.9%	10.2%	4.4%	1.7%	1.8%	5.6%	2.2%
1人暮らし n = (477)	1.0%	49.1%	1.3%	22.4%	13.6%	4.8%	4.8%	21.0%	3.4%
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） n = (1,048)	89.6%	36.5%	2.4%	5.1%	2.5%	1.1%	0.7%	2.3%	1.6%
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） n = (120)	94.2%	15.8%	5.0%	4.2%	3.3%	1.7%	0.0%	0.0%	4.2%
息子・娘との2世帯 n = (375)	57.1%	16.3%	73.9%	6.1%	2.1%	1.1%	0.3%	1.3%	1.1%
その他 n = (429)	55.0%	18.4%	56.2%	14.7%	1.6%	0.2%	2.6%	2.1%	2.3%

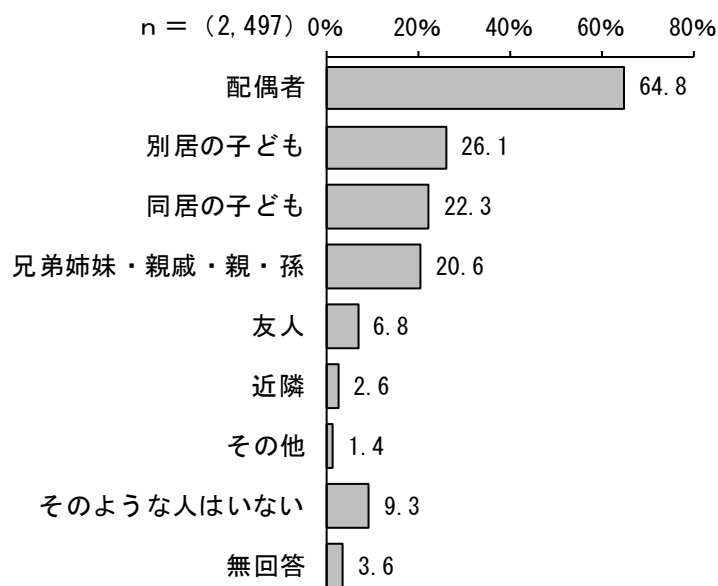
(4) 看病や世話をしてあげる人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか
(あてはまるものすべてに○)

看病や世話をしてあげる人も、「配偶者」が64.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」(26.1%)、「同居の子ども」(22.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.6%)等が続いています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」が32.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.0%)等が続いています。一方で、「そのような人はいない」が32.3%になっています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が94.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」(30.7%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が65.9%で最も多く、次いで「配偶者」(60.0%)等が続いています。

【看病や世話をしてあげる人】(複数回答)



【看病や世話をしてあげる人：家族構成別】(複数回答)

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	64.8%	26.1%	22.3%	20.6%	6.8%	2.6%	1.4%	9.3%	3.6%
1人暮らし n = (477)	2.1%	32.9%	1.0%	30.0%	17.0%	5.9%	2.1%	32.3%	6.1%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) n = (1,048)	94.0%	30.7%	2.3%	15.9%	5.1%	1.6%	0.6%	2.6%	1.9%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) n = (120)	86.7%	18.3%	5.8%	18.3%	6.7%	3.3%	0.8%	4.2%	6.7%
息子・娘との2世帯 n = (375)	60.0%	15.2%	65.9%	17.1%	4.5%	1.9%	1.1%	6.4%	3.2%
その他 n = (429)	60.8%	19.3%	59.4%	25.6%	2.6%	2.1%	3.5%	4.7%	3.7%

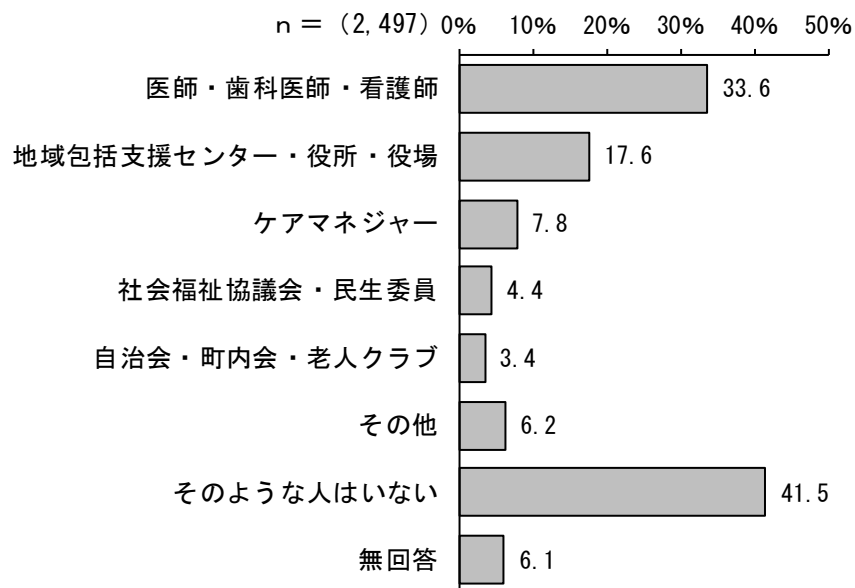
（５）何かあったときの相談相手

問６（５）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（あてはまるものすべてに○）

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が 33.6%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」（17.6%）,「ケアマネジャー」（7.8%）等が続いています。

一方で、「そのような人はいない」が 41.5%になっています。

【何かあったときの相談相手】（複数回答）

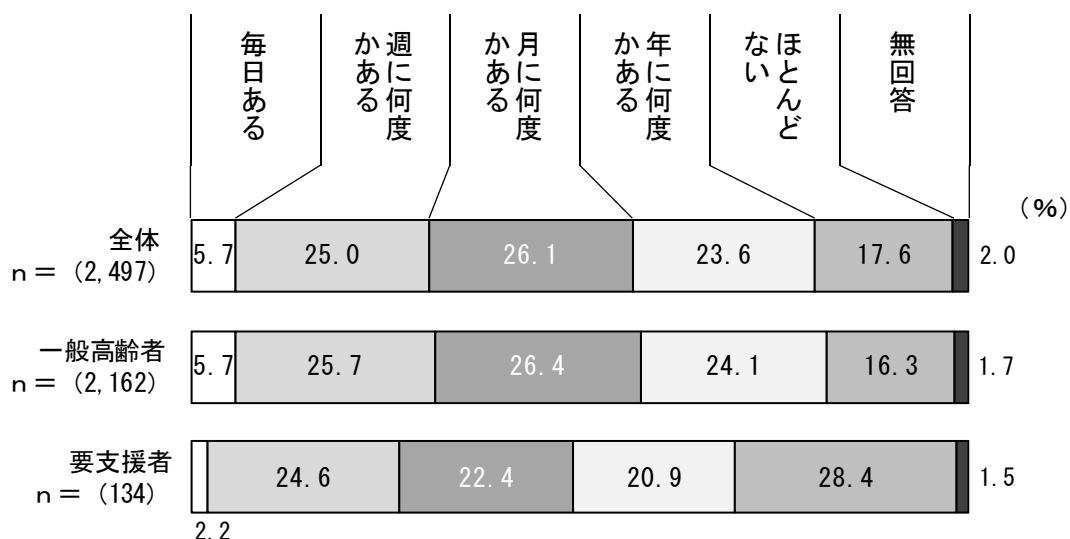


(6) 友人・知人と会う頻度

問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

友人・知人に会う頻度については、「月に何度かある」が26.1%で最も多く、次いで「週に何度かある」(25.0%)、「年に何度かある」(23.6%)、「ほとんどない」(17.6%)等が続いています。

【友人・知人と会う頻度：認定状況別】

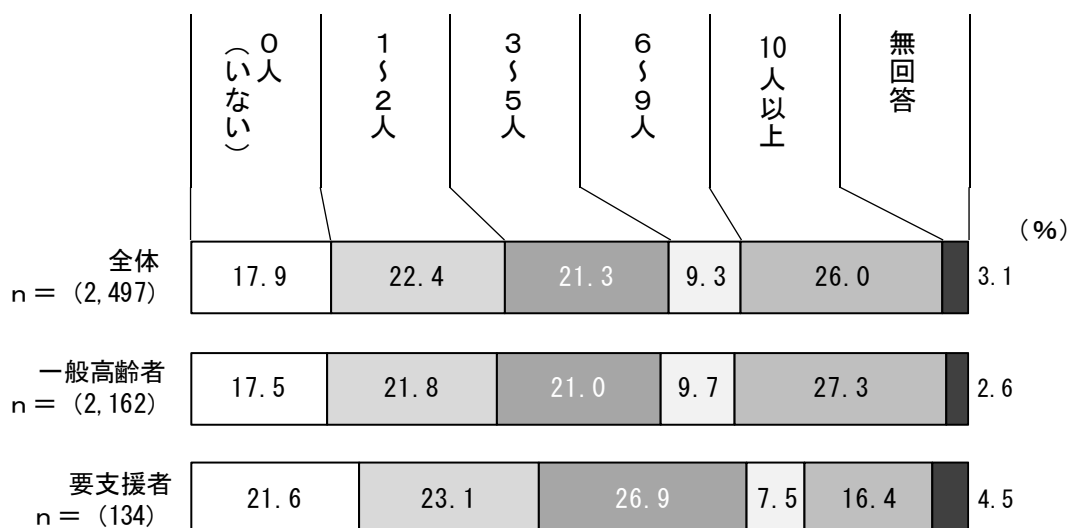


(7) 1か月間に会う人数

問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

1か月間に会う友人・知人の人数については、「10人以上」が26.0%で最も多く、次いで「1～2人」(22.4%)、「3～5人」(21.3%)等が続いています。「0人(いない)」は17.9%となっています。

【1か月間に会う人数：認定状況別】

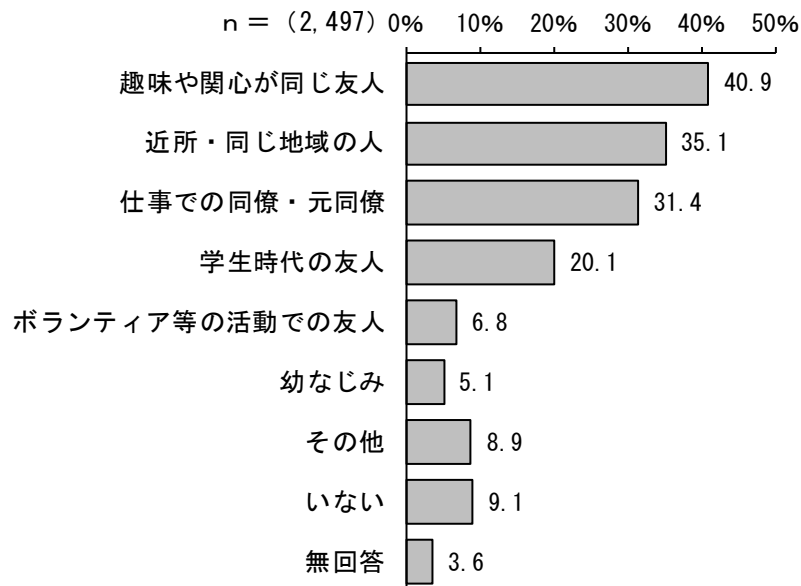


（8）友人・知人との関係

問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに○）

よく会う友人・知人との関係は、「趣味や関心が同じ友人」が 40.9%で最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」（35.1%）,「仕事での同僚・元同僚」（31.4%）,「学生時代の友人」（20.1%）等が続いています。

【友人・知人との関係】（複数回答）

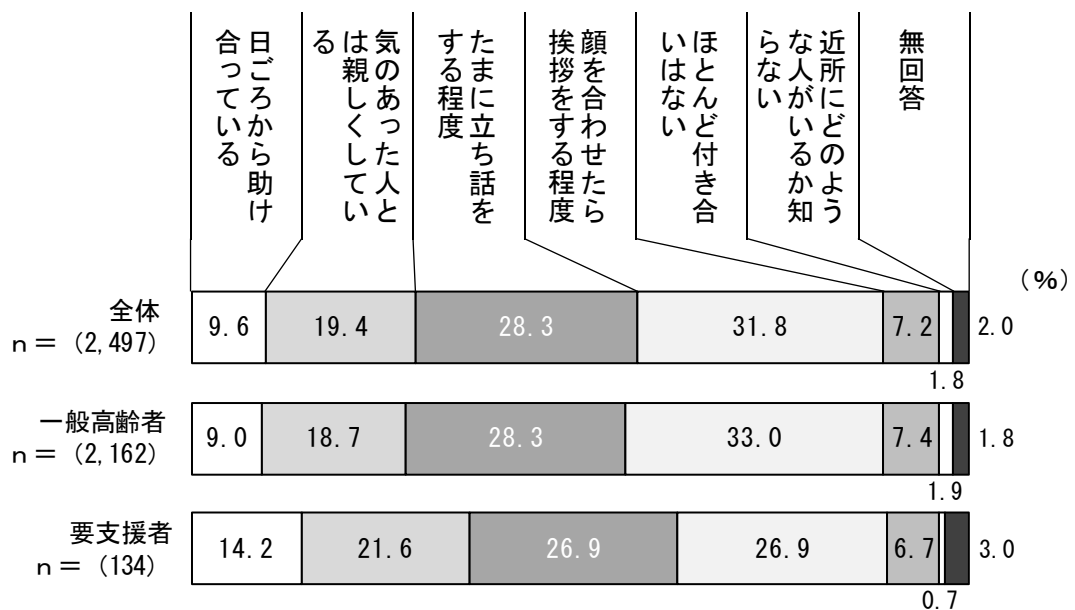


(9) 近所付き合いの状況

問6 (9) あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか

ご近所の方との付き合いについては、「顔を合わせたら挨拶をする程度」が 31.8%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」(28.3%)、「気のあった人とは親しくしている」(19.4%) 等が続いています。

【近所付き合いの状況：認定状況別】

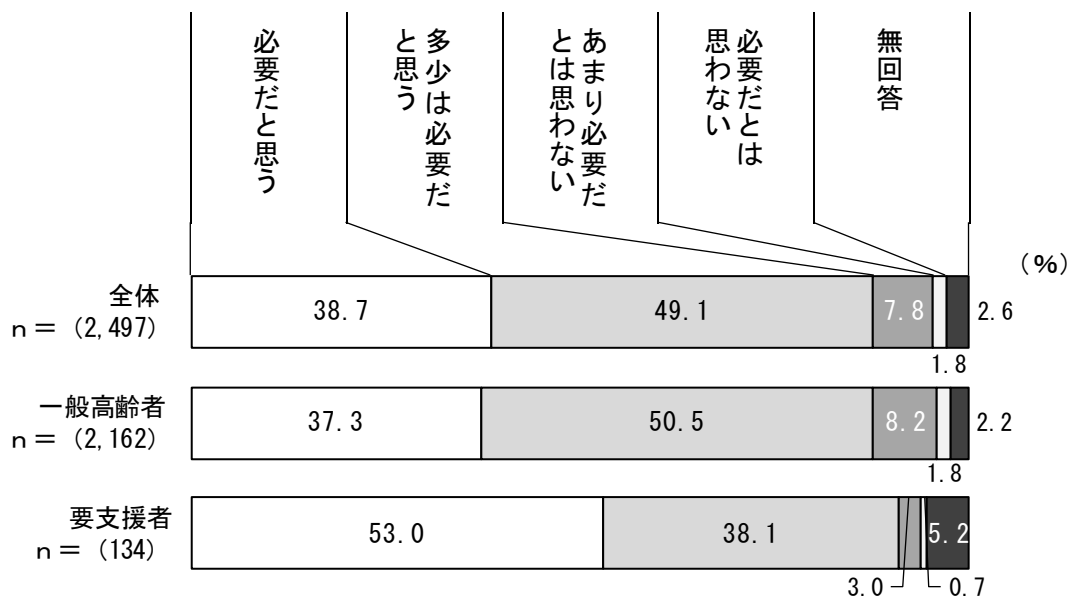


(10) 近所付き合いの必要性

問6 (10) あなたは、ご近所の方とのお付き合いは必要だと思いますか

ご近所の方との付き合いの必要性については、「多少は必要だと思う」が 49.1%で最も多く、次いで「必要だと思う」(38.7%) 等が続いています。

【近所付き合いの必要性：認定状況別】



8 健康等

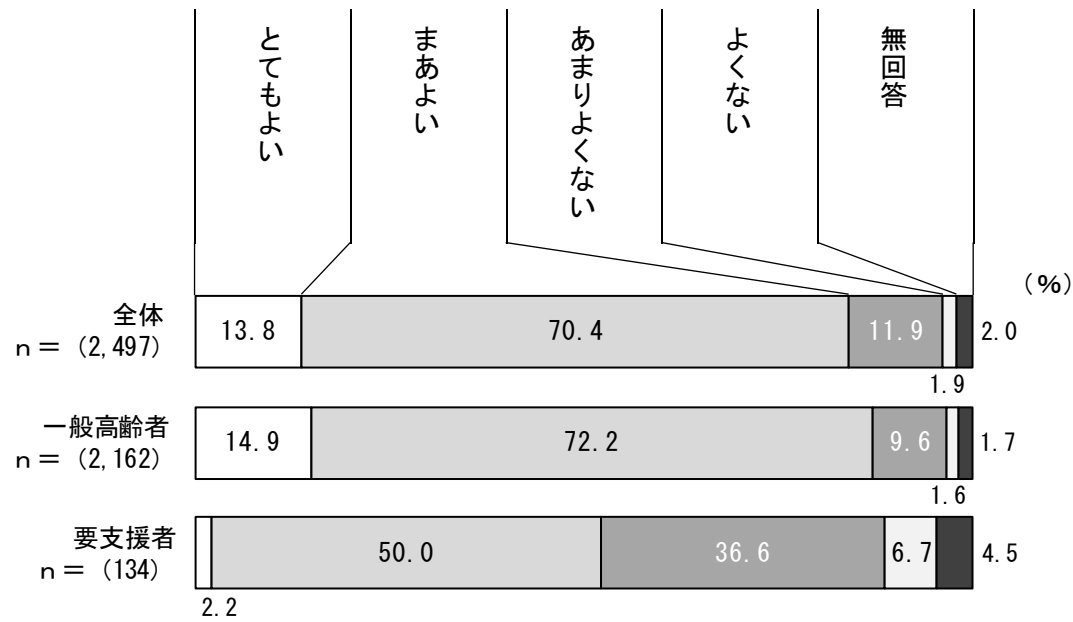
(1) 主観的健康感

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

主観的健康感についてみると、「(とても・まあ) よい」を合わせた回答は 84.2%、「あまりよくない」、「よくない」を合わせた回答は 13.8%となっています。

認定状況別にみると、「(とても・まあ) よい」を合わせた回答は、一般高齢者が 87.1%、要支援者が 52.2%となっています。

【主観的健康感：認定状況別】



(2) 主観的幸福感

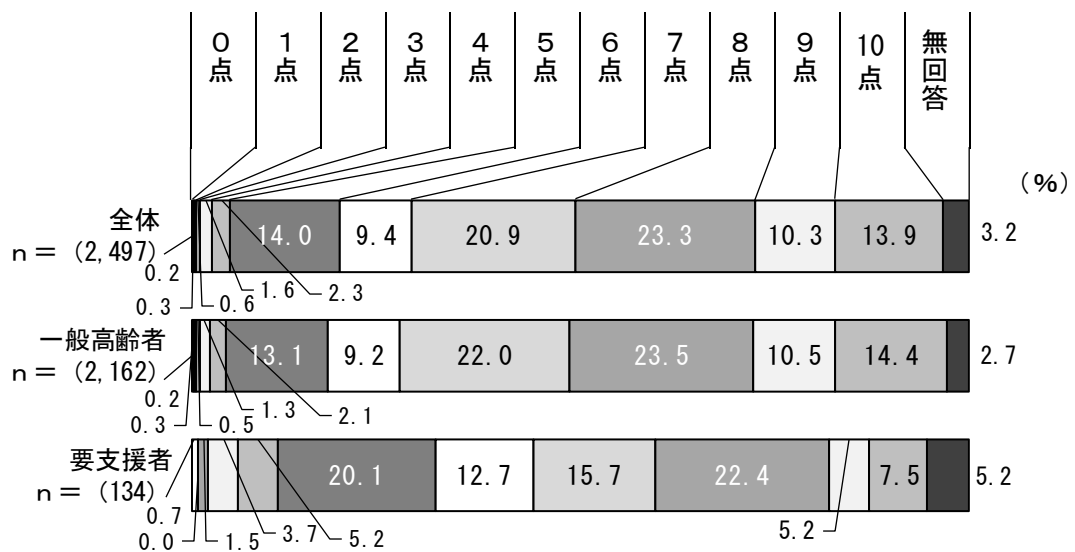
問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数を○で囲んでください)

主観的幸福感についてみると、11段階に点数化した回答で、「8点」が23.3%で最も多く、次いで「7点」(20.9%)、「5点」(14.0%)、「10点」(13.9%)、「9点」(10.3%)等が続いています。

認定状況別に5点以下の割合を合計してみると、一般高齢者が17.5%、要支援者が31.2%と、要支援者の割合が多くなっています。

【主観的幸福感：認定状況別】



(3) うつ傾向

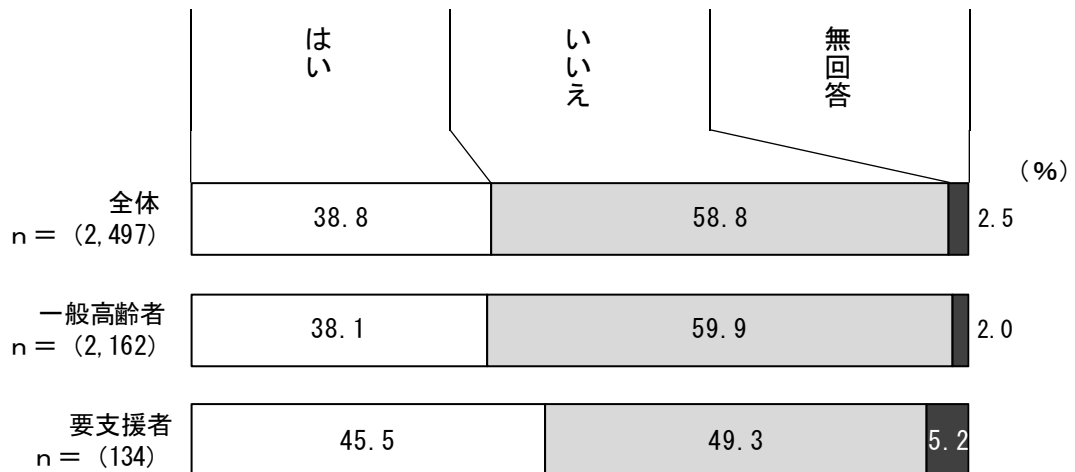
① ゆううつ感

問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この設問は、「はい」と回答した場合にうつ傾向のある高齢者とされます。

「はい」が38.8%、「いいえ」が58.8%となっています。

【ゆううつ感：認定状況別】



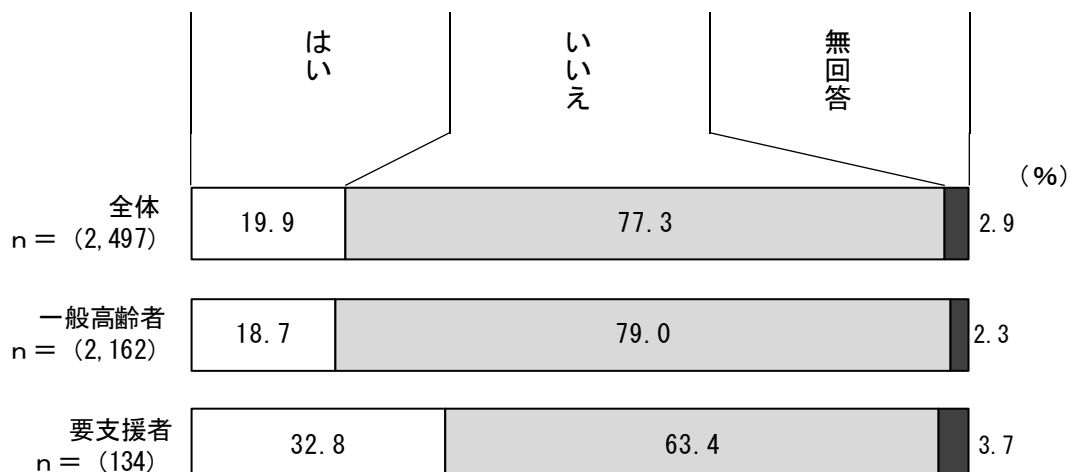
② 物事に対する興味等

問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

①と同様にうつ傾向を問うもので、「はい」と回答した場合にうつ傾向のある高齢者とされます。

「はい」が19.9%、「いいえ」が77.3%となっています。

【物事に対する興味等：認定状況別】

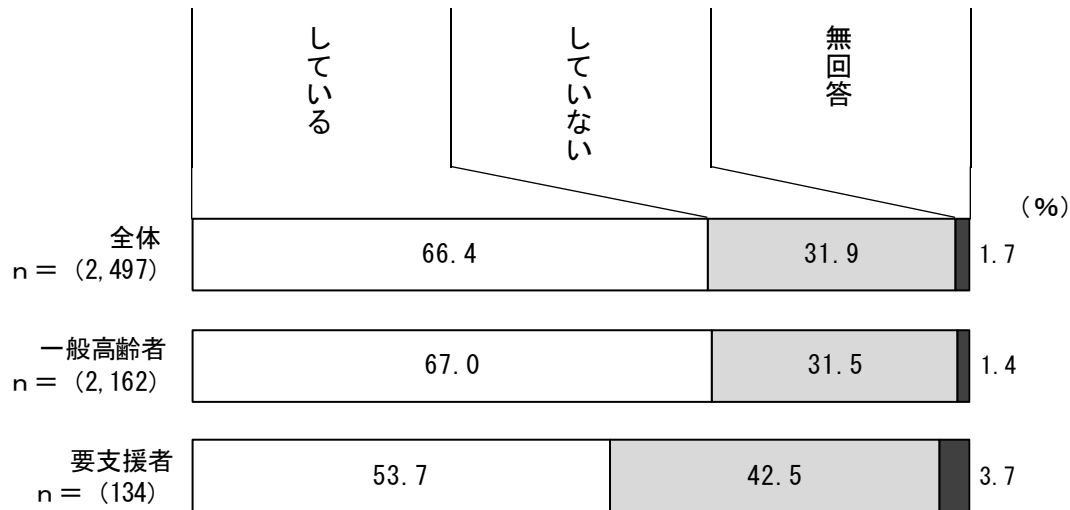


(4) 運動習慣

問7 (5) 習慣として運動（散歩，体操等を含む）をしていますか
※ 運動習慣のある人とは，「1回 30 分以上の運動を週2回以上1年以上続けている人」とされています

習慣として運動をしているかについては，「している」が 66.4%，「していない」が 31.9%となっています。

【運動習慣：認定状況別】



（５）運動していない主な理由

【問7（５）において「していない」を選択した方のみ】

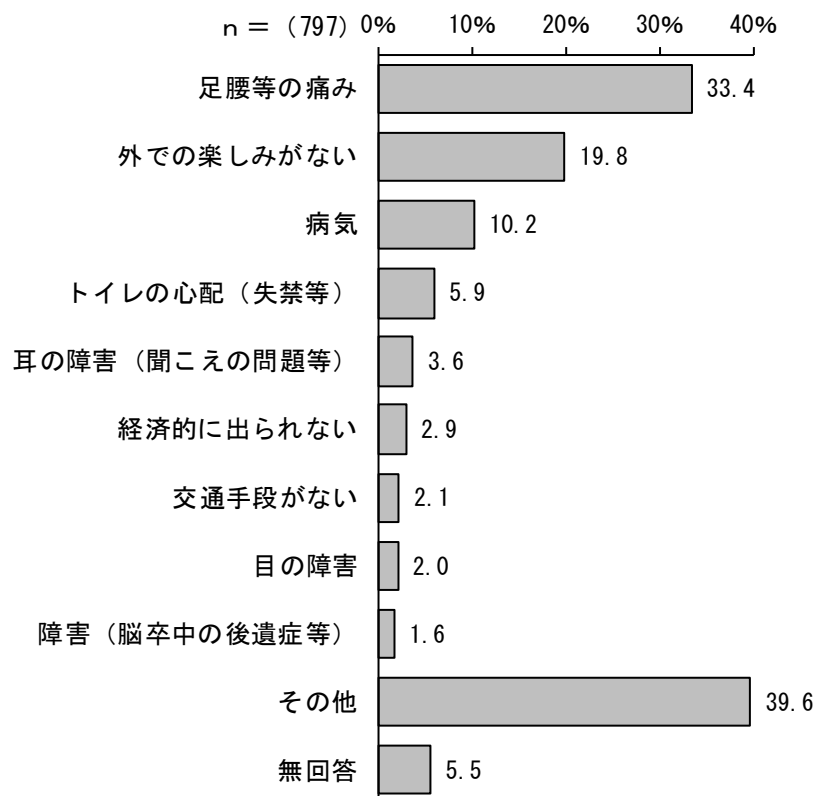
問7（５）①習慣として運動していない主な理由を教えてください

（あてはまるものすべてに○）

問7（５）において「していない」と回答した方にその理由について聞いたところ、「足腰等の痛み」が33.4%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」（19.8%）,「病気」（10.2%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては,「忙しい」,「運動が苦手」,「あまり興味がない」,「時間がとりにくい」,「新型コロナウイルスの感染が心配だから」等となっています。

【運動をしていない主な理由】（複数回答）



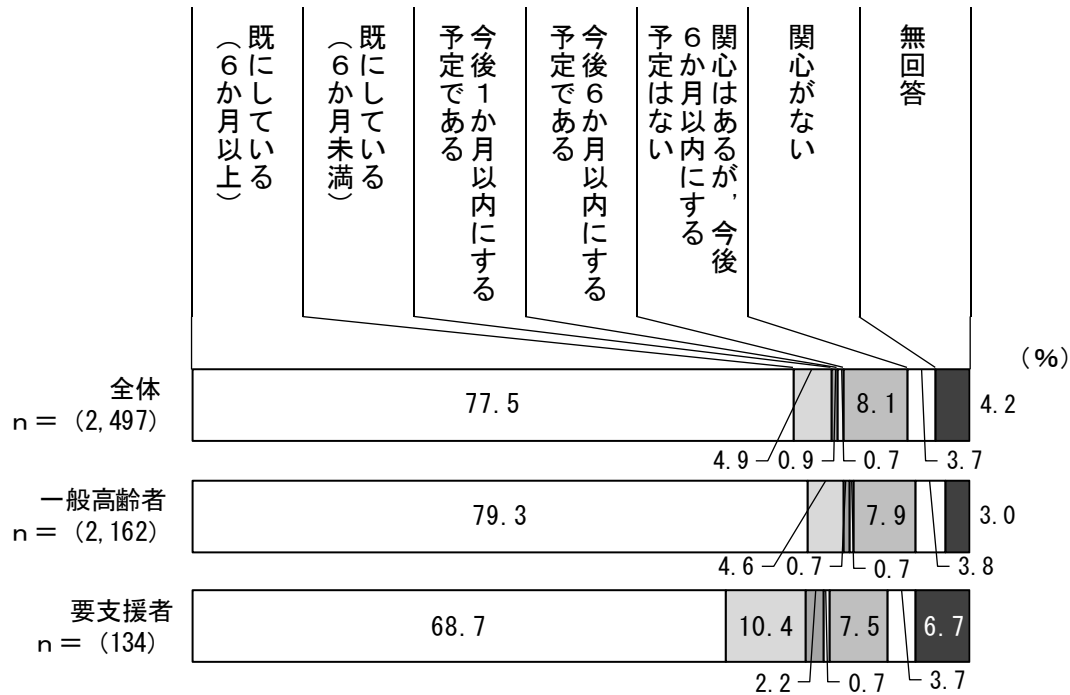
(6) 栄養バランスの取れた食事

問7 (6) あなたは、栄養バランスの取れた食事をとっていますか
(又はどのくらい関心がありますか)

栄養バランスの取れた食事をとっているか聞いたところ、「既になっている（6か月以上）」が77.5%で最も多く、次いで「関心はあるが、今後6か月以内にする予定はない」（8.1%）、「既になっている（6か月未満）」（4.9%）等が続いています。

「既になっている（6か月以上）」、「既になっている（6か月未満）」を合わせると82.4%の方が既に取り組んでいるという結果となっています。

【栄養バランスの取れた食事：認定状況別】

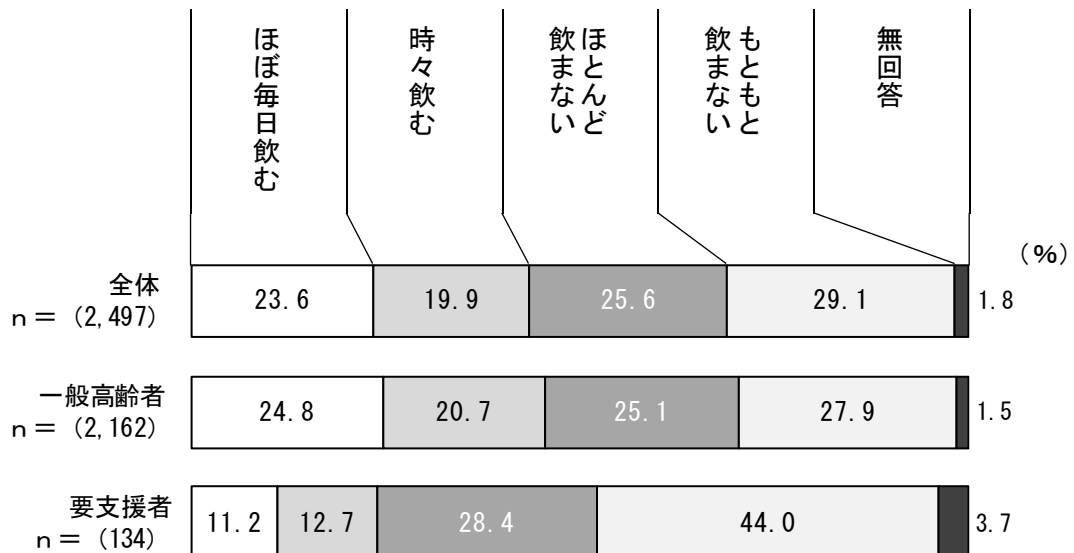


(7) 飲酒習慣

問7 (7) お酒は飲みますか

飲酒習慣については、「もともと飲まない」が29.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(25.6%)、「ほぼ毎日飲む」(23.6%)、「時々飲む」(19.9%)が続いています。

【飲酒習慣：認定状況別】

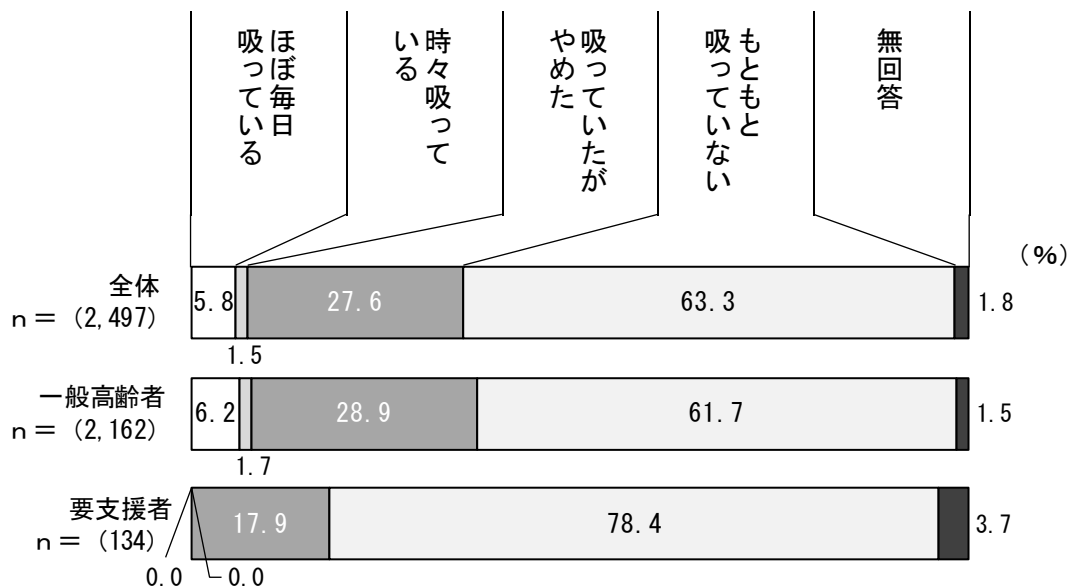


(8) 喫煙習慣

問7 (8) タバコは吸っていますか

喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が63.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(27.6%)、「ほぼ毎日吸っている」(5.8%)、「時々吸っている」(1.5%)が続いています。

【喫煙習慣：認定状況別】



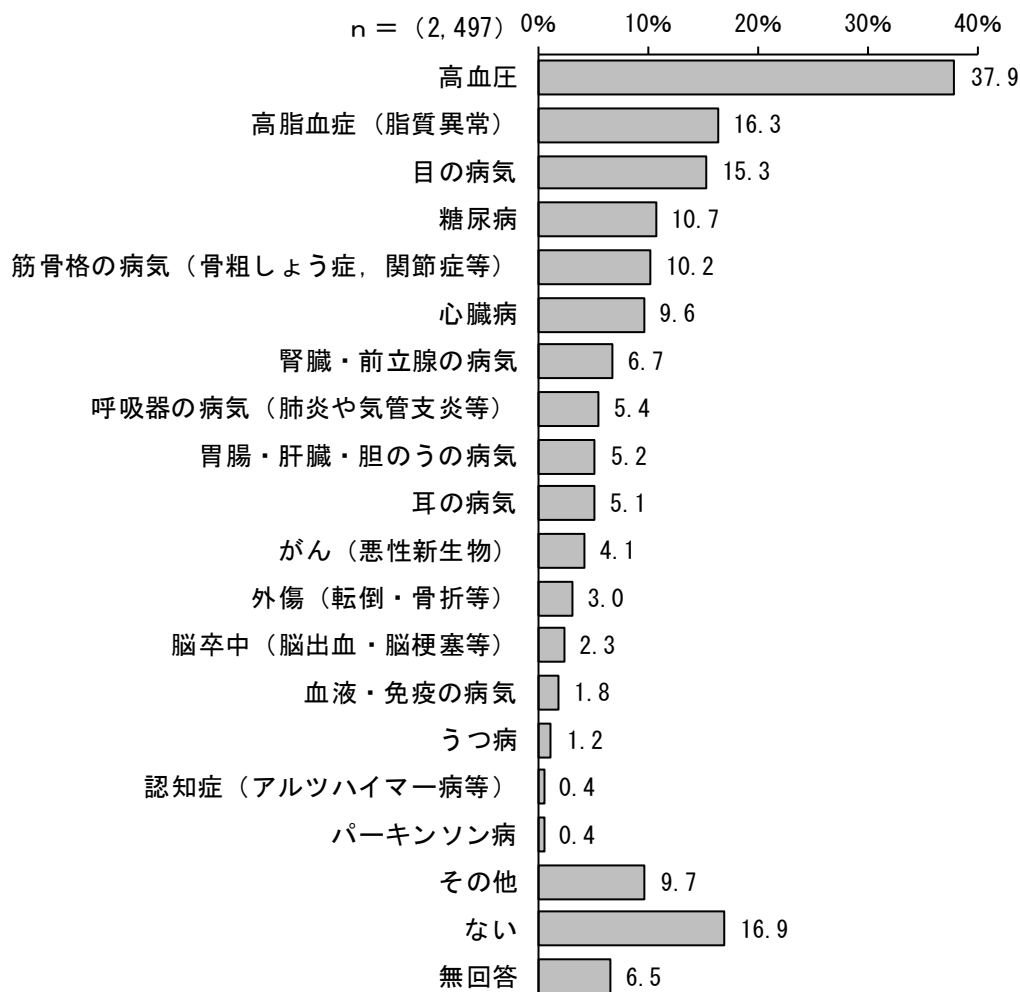
(9) 現在治療中又は後遺症のある病気

問7 (9) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか（あてはまるものすべてに○）

現在治療中又は後遺症のある病気としては、「高血圧」が 37.9%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」（16.3%）,「目の病気」（15.3%）,「糖尿病」（10.7%）,「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」（10.2%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては,「リウマチ」,「花粉症」,「腰痛」,「脊柱管狭窄症」,「甲状腺」,「痛風」等となっています。

【現在治療中又は後遺症のある病気】（複数回答）



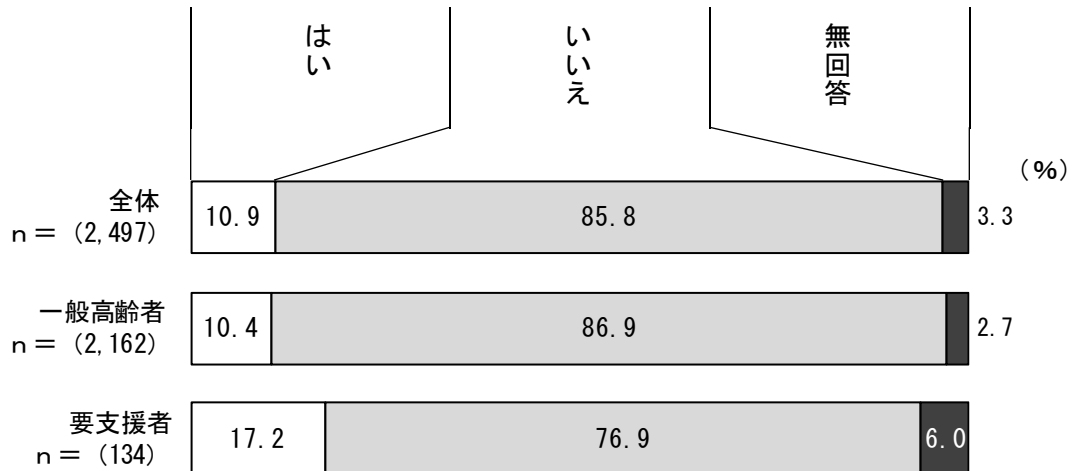
9 認知症にかかる相談窓口の把握

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無

問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無については、「はい」が 10.9%、「いいえ」が 85.8%となっています。

【認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無：認定状況別】

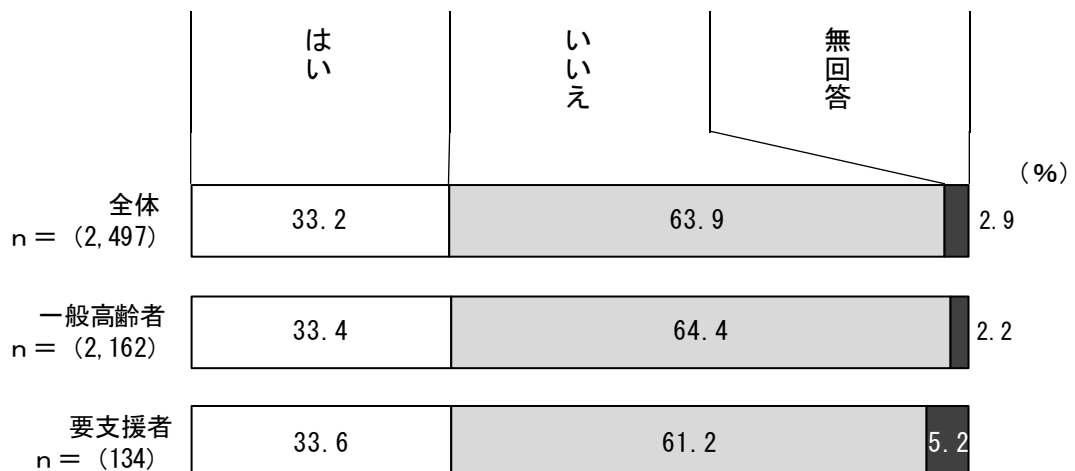


(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が 33.2%、「いいえ」が 63.9%となっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度：認定状況別】



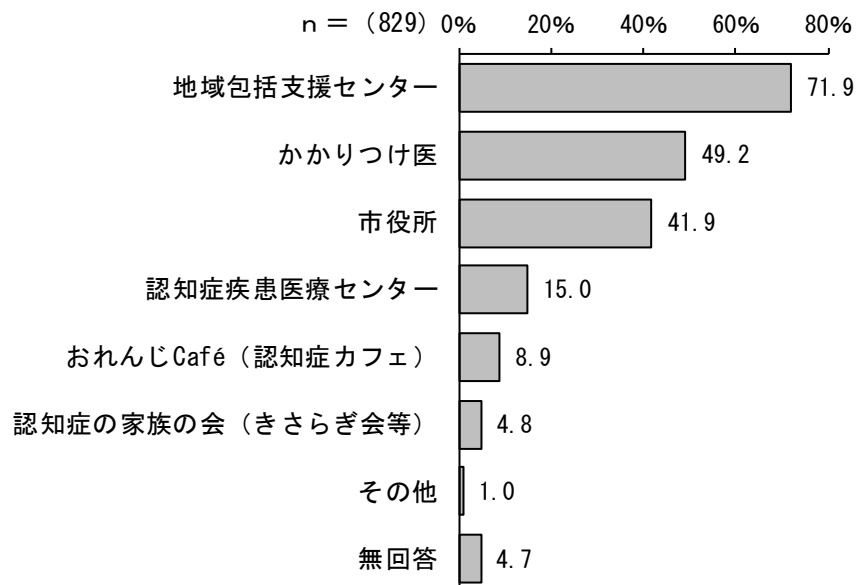
(3) 認知症に関する相談先の認知度

【問8(2)において「はい」を選択した方のみ】

問8(2)①認知症に関する次の相談先を知っていますか(あてはまるものすべてに○)

問8(2)において「はい」と回答した方が認知症に関する相談先で知っているものとしては、「地域包括支援センター」が71.9%で最も多く、次いで「かかりつけ医」(49.2%)、「市役所」(41.9%)等が続いています。

【認知症に関する相談先の認知度】(複数回答)



10 その他

(1) 地域包括支援センターの認知度

問9 (1) あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターを知っていますか

高齢者の相談窓口として地域包括支援センターを知っているかについては、「利用したことはないが、役割は知っている」が 28.3%で最も多く、次いで「名前を聞いたことがある程度」(27.6%)、「知らない」(26.8%) 等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「利用したことがある」が 0.4 ポイント、「名前を聞いたことがある程度」が 1.8 ポイント増加している一方、「利用したことはないが、役割は知っている」が 1.7 ポイント、「知らない」が 0.3 ポイント減少しています。

【地域包括支援センターの認知度：前回調査比較】

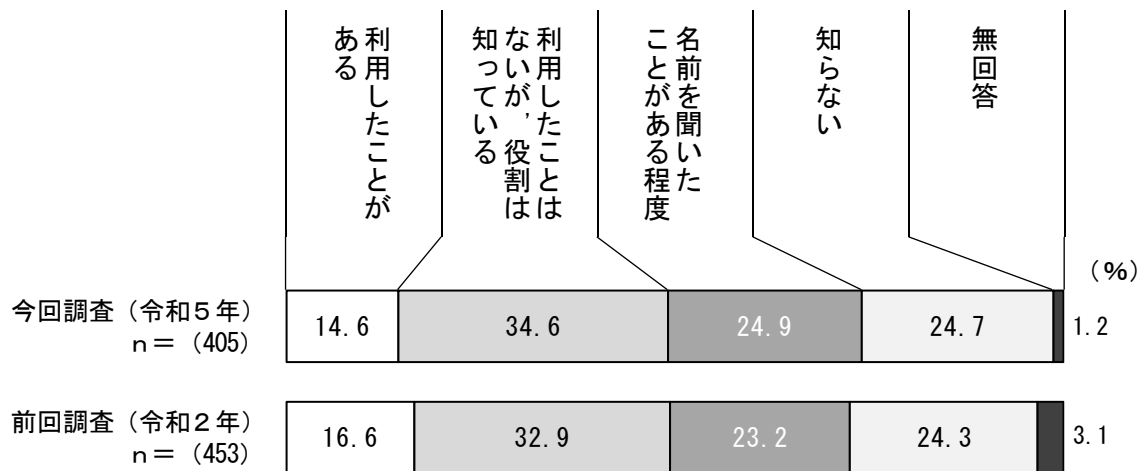
	利用したことがある	利用したことはないが、役割は知っている	名前を聞いたことがある程度	知らない	無回答	(%)
今回調査 (令和5年) n = (2,497)	15.0	28.3	27.6	26.8	2.3	
前回調査 (令和2年) n = (2,779)	14.6	30.0	25.8	27.1	2.4	

【地域包括支援センターの認知度：認定状況別】

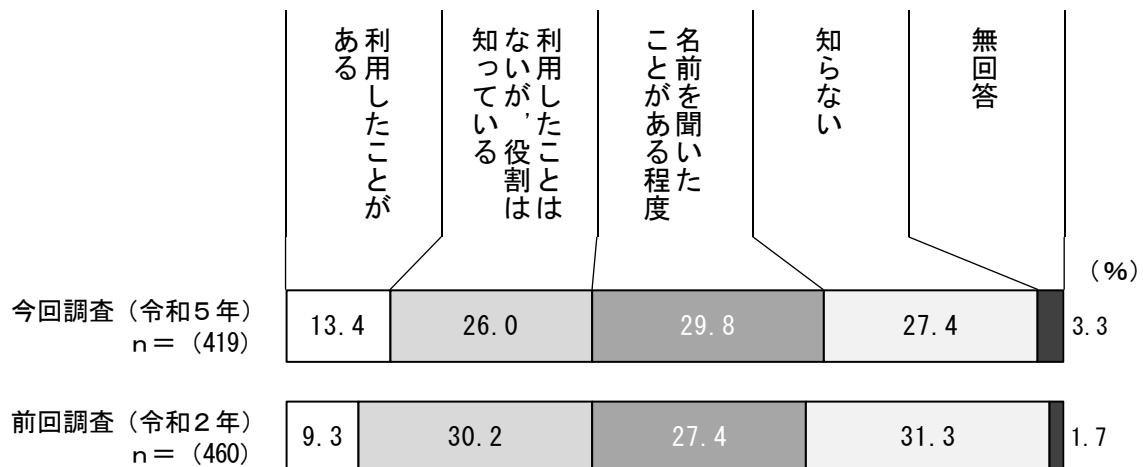
	利用したことがある	利用したことはないが、役割は知っている	名前を聞いたことがある程度	知らない	無回答	(%)	
全体 n = (2,497)	15.0	28.3	27.6	26.8	2.3		
一般高齢者 n = (2,162)	12.0	29.5	29.0	27.5	1.9		
要支援者 n = (134)	65.7			11.2	12.7	6.7	3.7

地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

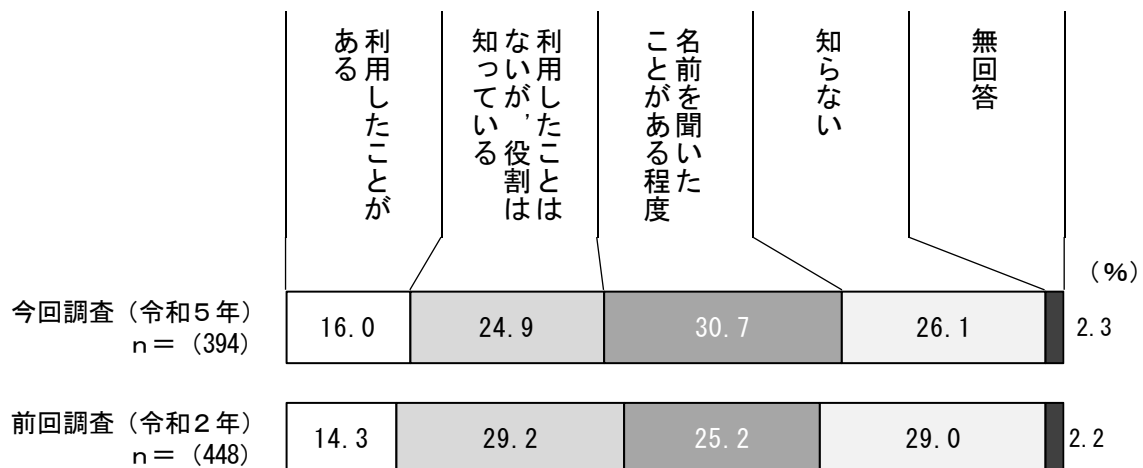
【地域包括支援センターの認知度：もとまち】



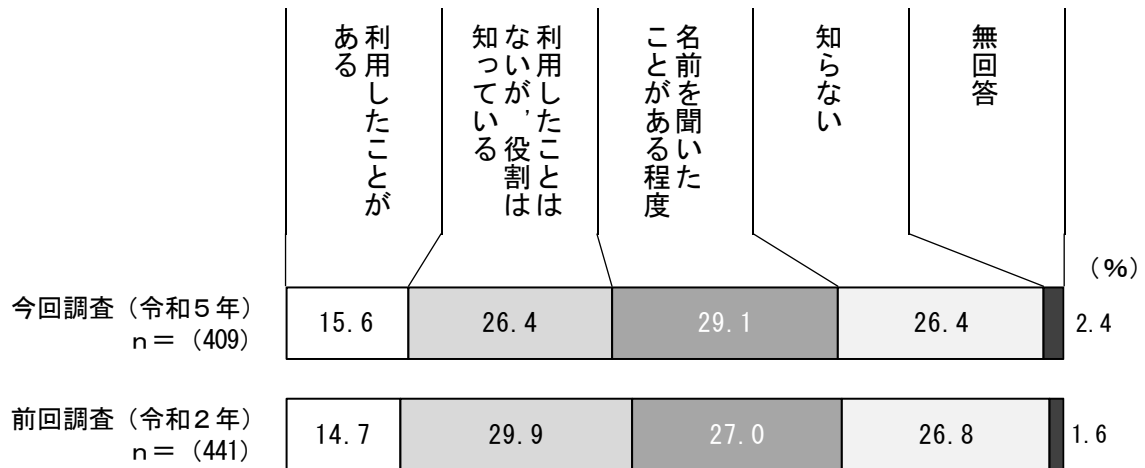
【地域包括支援センターの認知度：こいがくぼ】



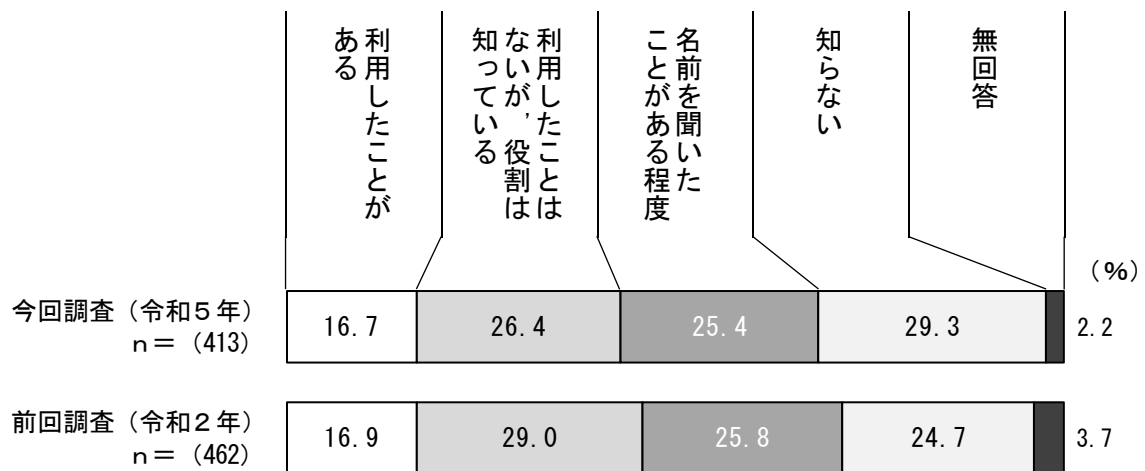
【地域包括支援センターの認知度：ほんだ】



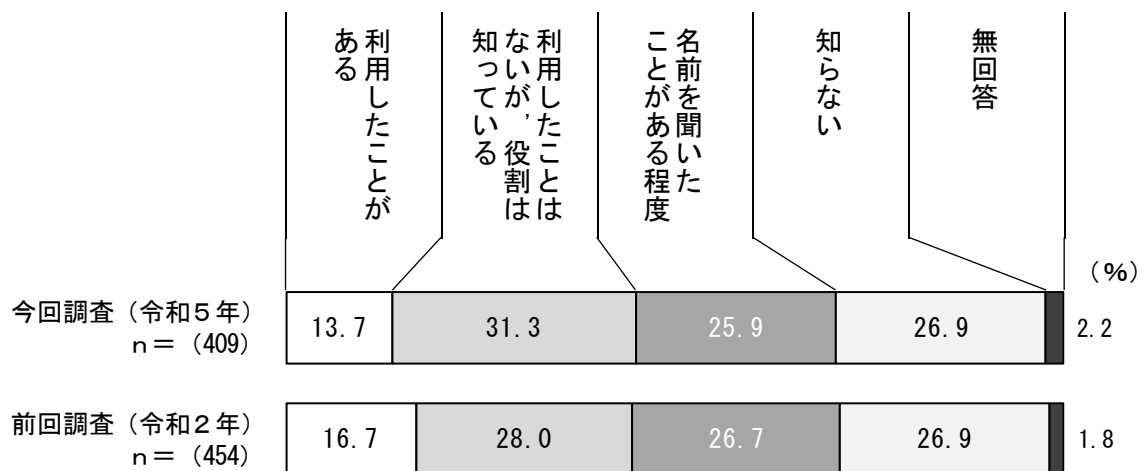
【地域包括支援センターの認知度：ひよし】



【地域包括支援センターの認知度：ひかり】



【地域包括支援センターの認知度：なみき】

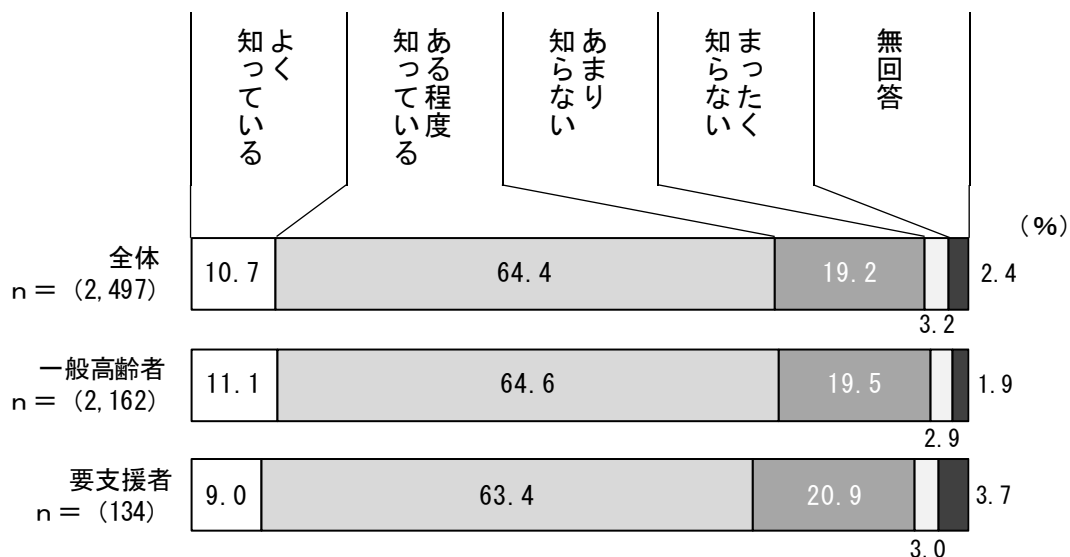


(2) 認知症の知識

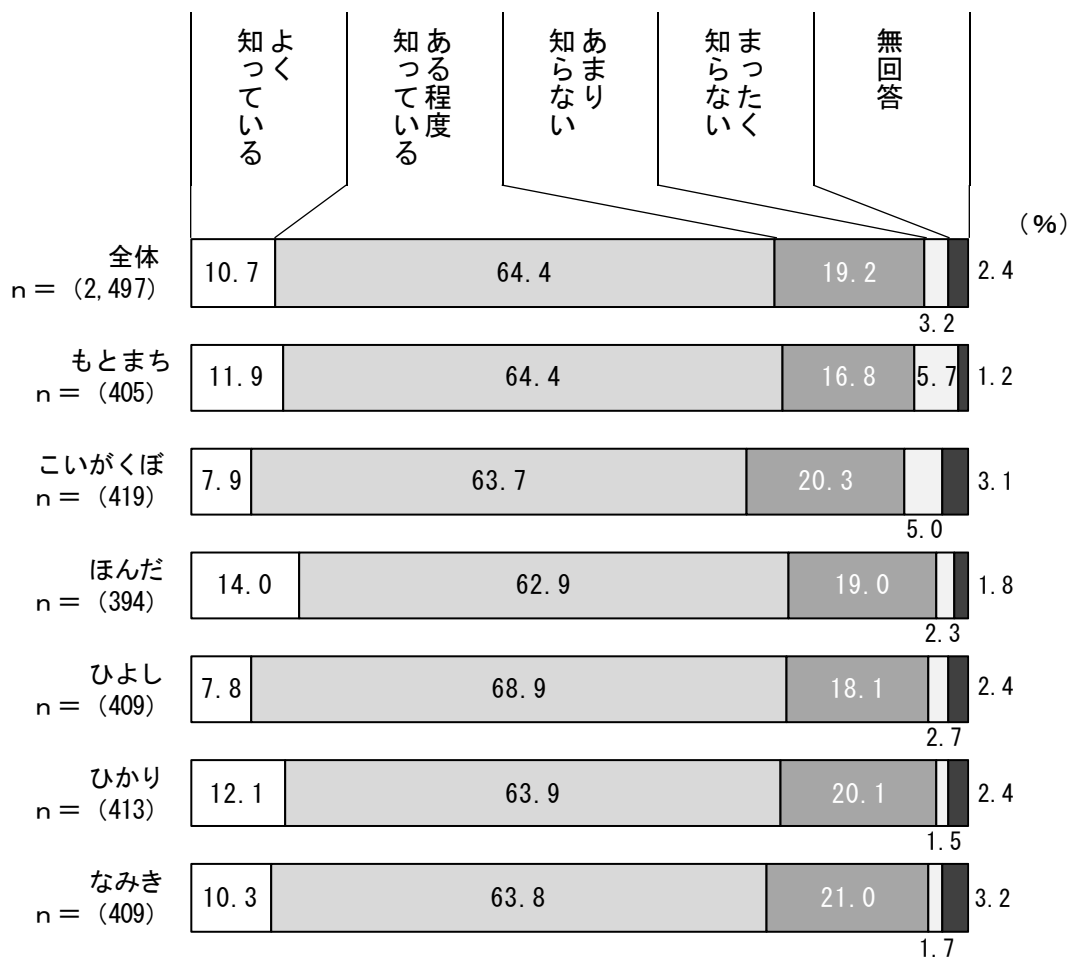
問9 (2) 認知症についてどの程度知っていますか

認知症についてどの程度知っているかについては、「ある程度知っている」が64.4%で最も多く、次いで「あまり知らない」(19.2%)、「よく知っている」(10.7%)等が続いています。

【認知症の知識：認定状況別】



【認知症の知識：地域包括支援センター別】

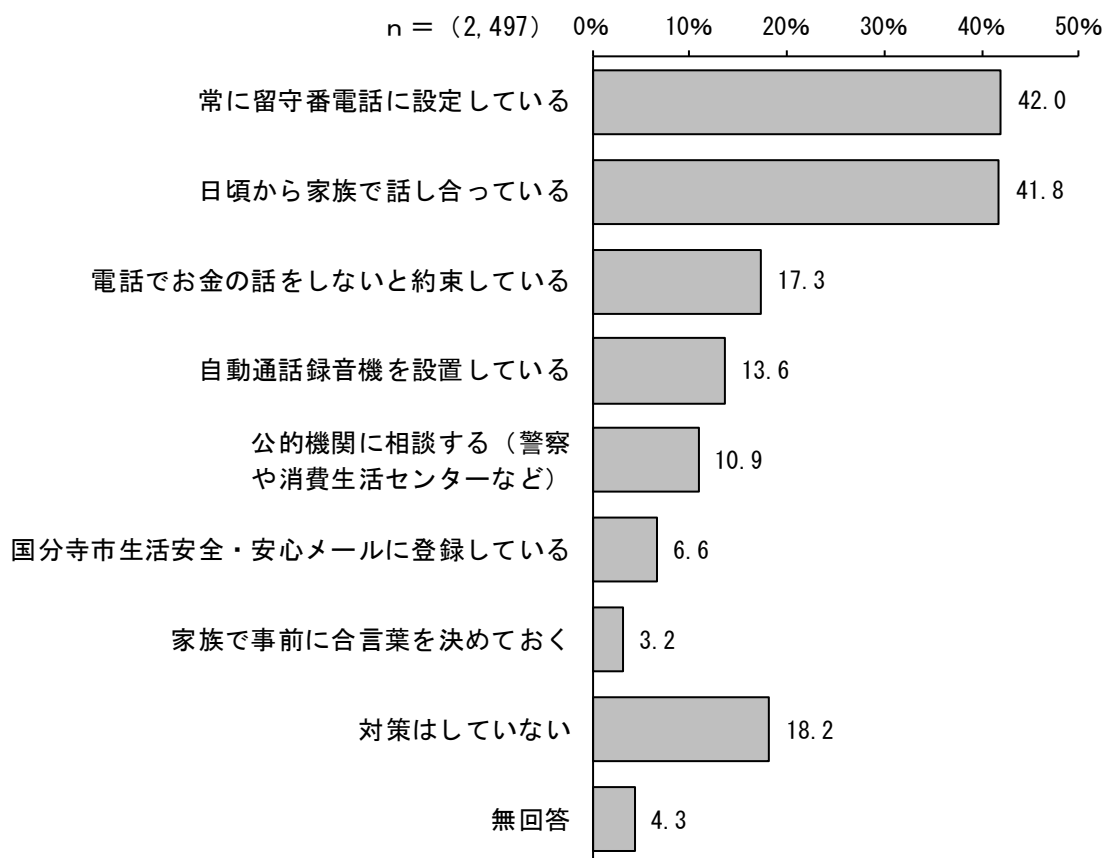


（３）消費者被害等への対策

問9（３）消費者被害等に関して、次のような対策をしていますか
（あてはまるものすべてに○）

消費者被害等に行っている対策としては、「常に留守番電話に設定している」が42.0%で最も多く、次いで「日頃から家族で話し合っている」（41.8%）、「電話でお金の話をしないと約束している」（17.3%）等が続いています。一方、「対策はしていない」は18.2%となっています。

【消費者被害等への対策】（複数回答）



※ 「公的機関に相談する（警察や消費生活センターなど）」は今回調査から新たに追加された選択肢

(4) 成年後見制度の認知度

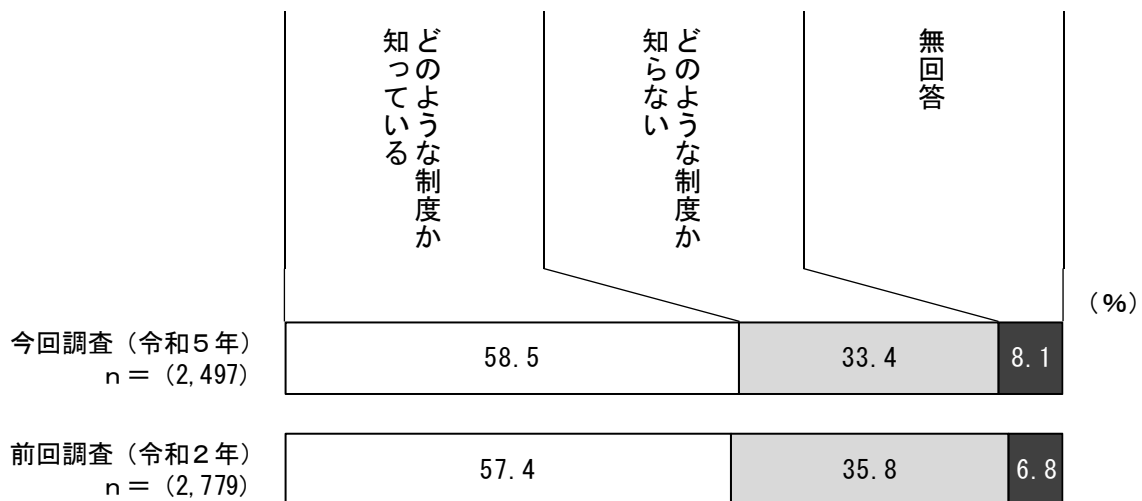
問9 (4) あなたは、成年後見制度を知っていますか

成年後見制度を知っているか聞いたところ、「どのような制度か知っている」が 58.5%、「どのような制度か知らない」が 33.4%となっています。

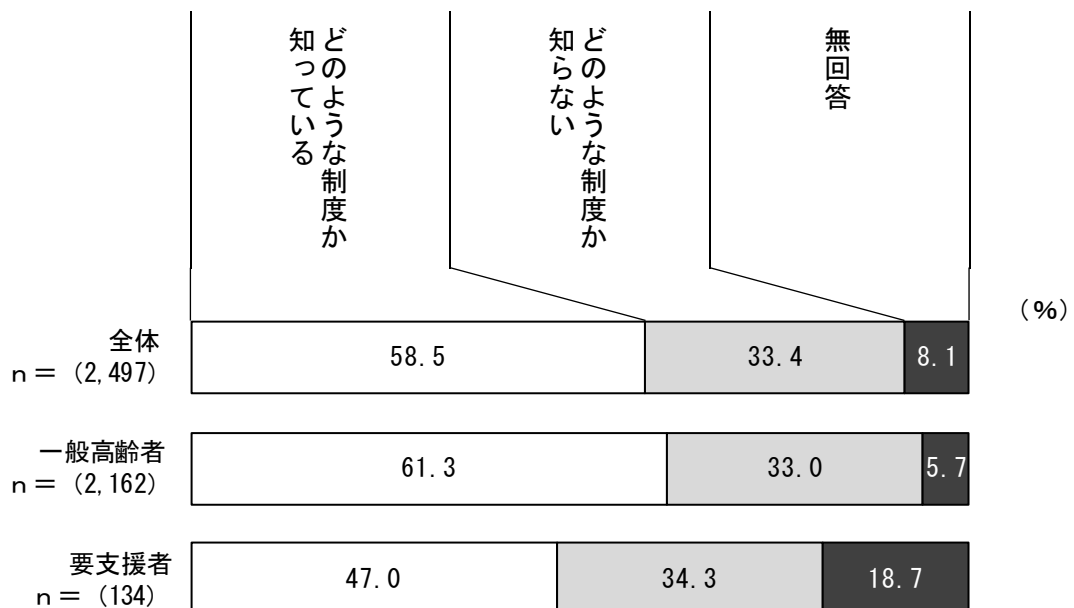
前回の調査結果と比較すると、「どのような制度か知っている」が 1.1 ポイント増加している一方、「どのような制度か知らない」が 2.4 ポイント減少しています。

認定状況別にみると、「どのような制度か知っている」の割合は要支援者が 47.0%、一般高齢者が 61.3%となっています。

【成年後見制度の認知度：前回調査比較】



【成年後見制度の認知度：認定状況別】



※ 成年後見制度とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度

(5) 成年後見制度の利用意向

【問9(4)において「どのような制度か知っている」を選択した方のみ】

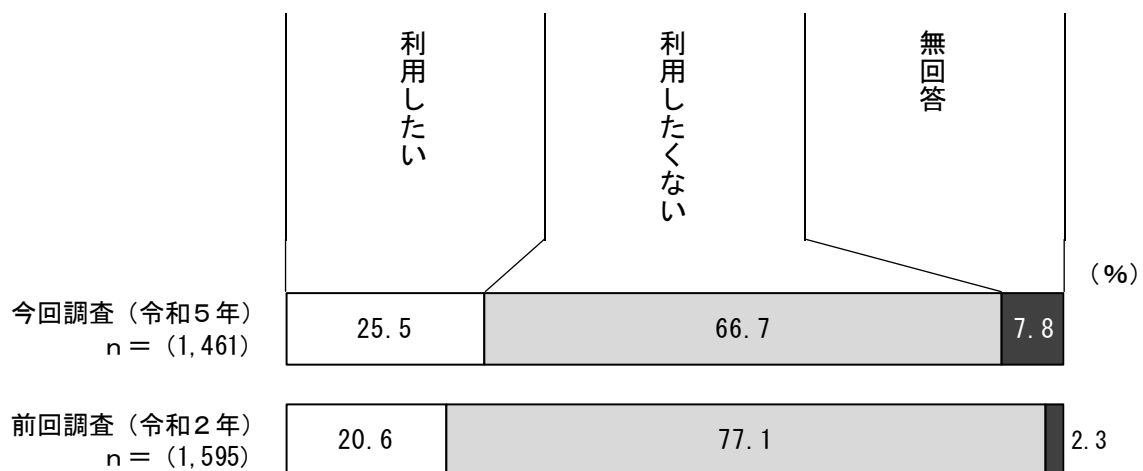
問9(5) 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

問9(4)において「どのような制度か知っている」と回答した方に成年後見制度の利用意向について聞いたところ、「利用したい」が25.5%、「利用したくない」が66.7%となっています。

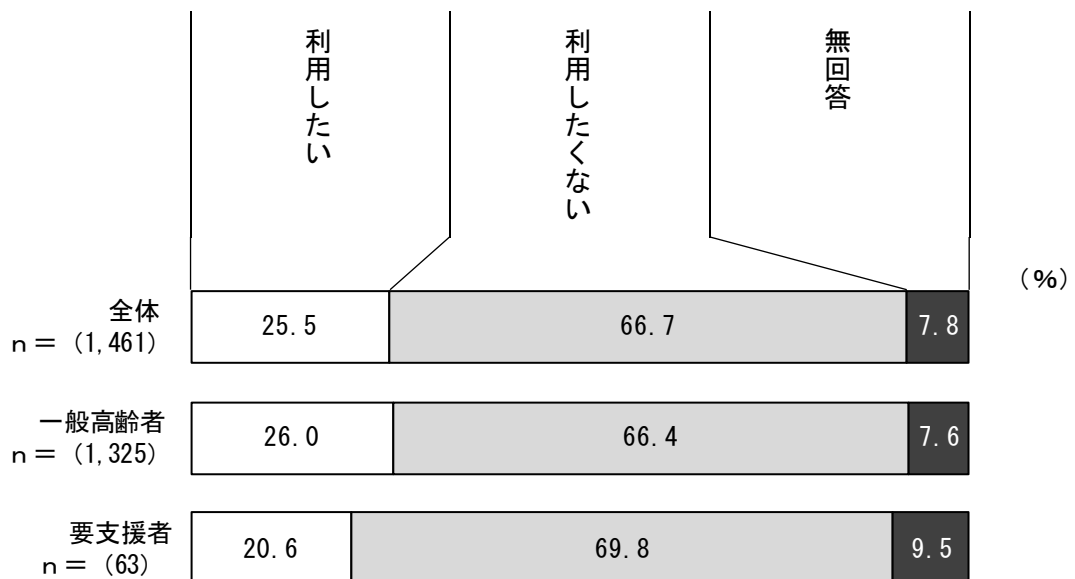
前回の調査結果と比較すると、「利用したい」が4.9ポイント増加している一方、「利用したくない」が10.4ポイント減少しています。

認定状況別にみると、「利用したい」の割合は要支援者が20.6%、一般高齢者が26.0%となっています。

【成年後見制度の利用意向：前回調査比較】



【成年後見制度の利用意向：認定状況別】



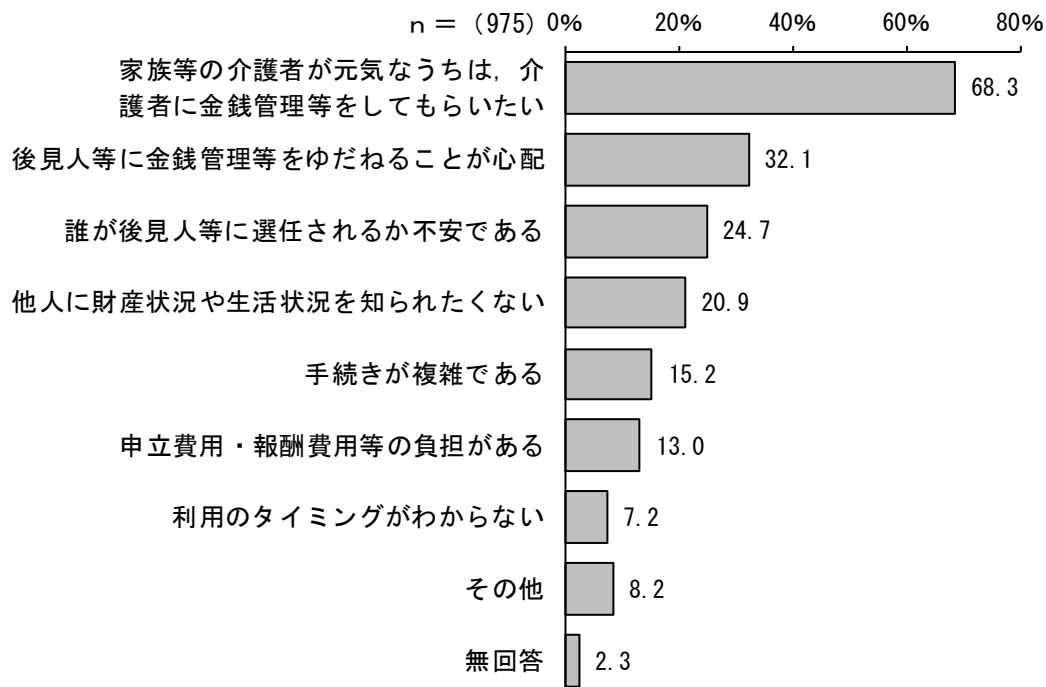
(6) 成年後見制度を利用したくない理由

【問9(5)において「利用したくない」を選択した方のみ】

問9(6) 成年後見制度を利用したくないと考える理由を教えてください
(3つまで選択可)

問9(5)において「利用したくない」と回答した方にその理由について聞いたところ、「家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が68.3%で最も多く、次いで「後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配」(32.1%)、「誰が後見人等に選任されるか不安である」(24.7%)、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」(20.9%)等が続いています。

【成年後見制度を利用したくない理由】(複数回答)



(7) 就労希望

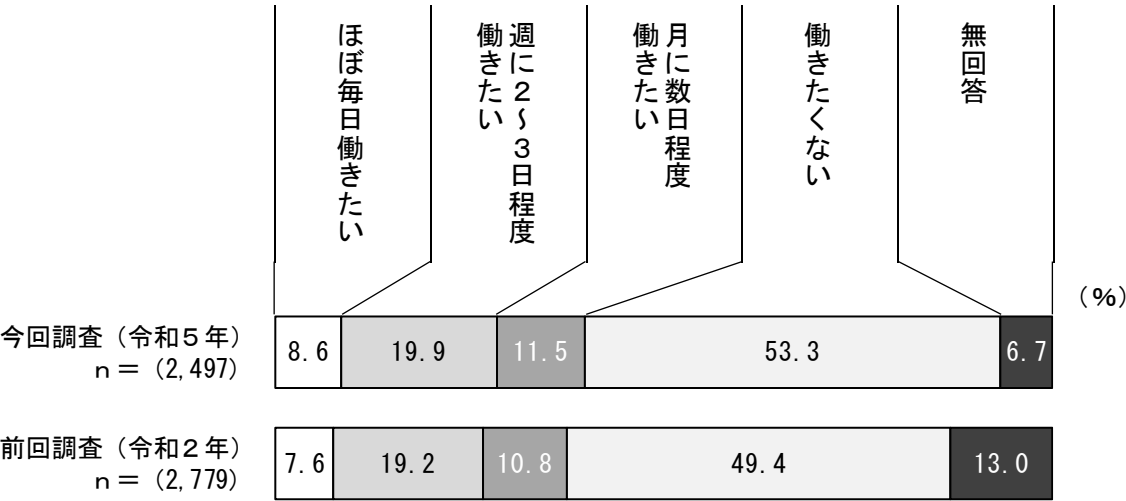
問9 (7) 今後の就労希望についておうかがいします

今後の就労希望については、「働きたくない」が 53.3%で最も多く、次いで「週に2～3日程度働きたい」(19.9%)、「月に数日程度働きたい」(11.5%)、「ほぼ毎日働きたい」(8.6%)が続いています。

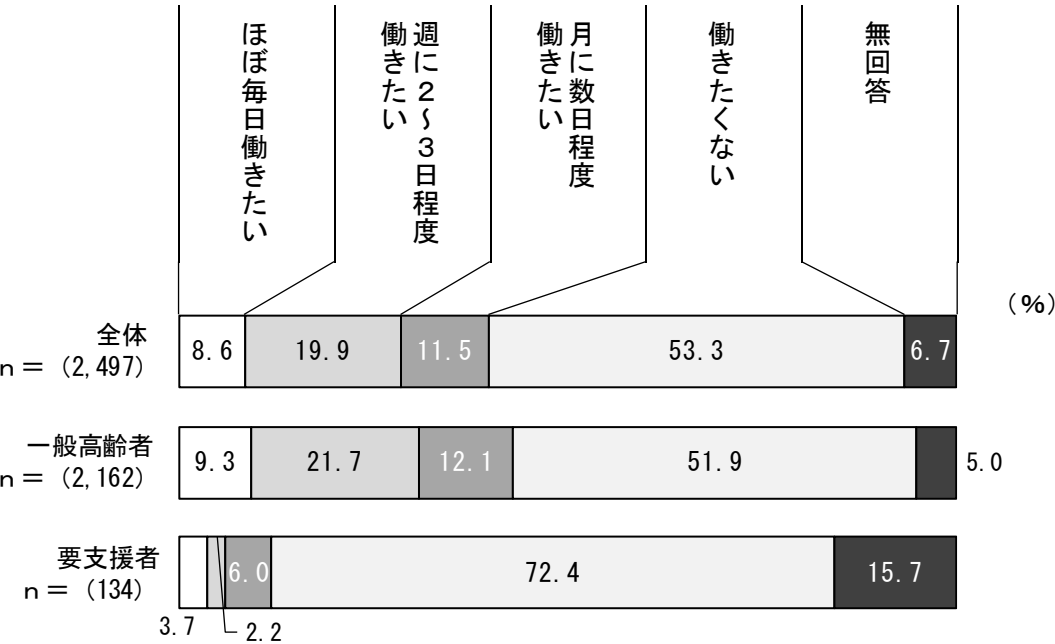
前回の調査結果と比較すると、「(ほぼ毎日・週に2～3日程度・月に数日程度)働きたい」が2.4ポイント増加しています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「(ほぼ毎日・週に2～3日程度・月に数日程度)働きたい」は43.1%、要支援者では11.9%となっています。

【就労希望：前回調査比較】



【就労希望：認定状況別】



(8) 人生最期の場所

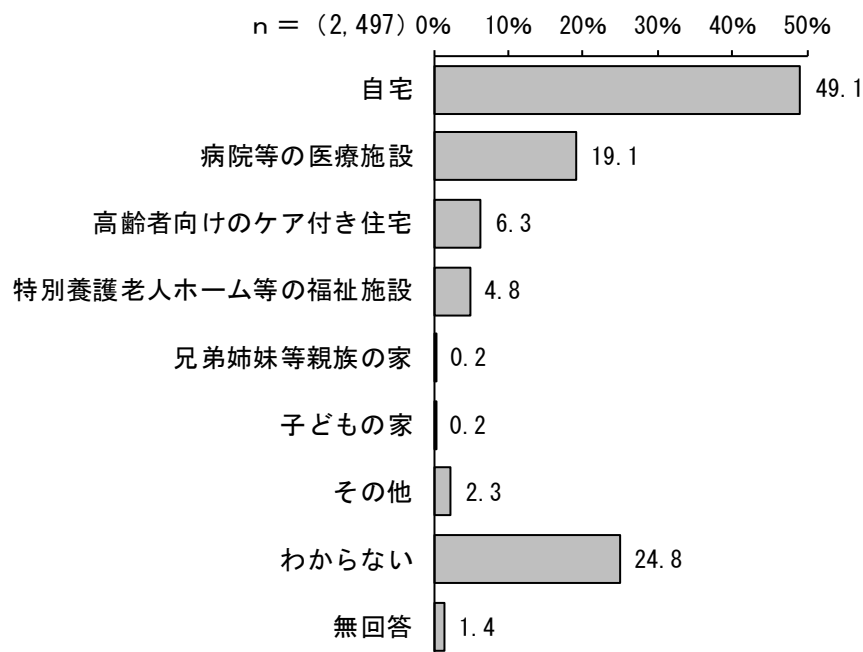
問9 (8) あなたは、人生の最期のときをどこで迎えたいですか

人生の最期のときを迎えたい場所としては、「自宅」が49.1%で最も多く、次いで「病院等の医療施設」(19.1%)、「高齢者向けのケア付き住宅」(6.3%)等が続いています。一方、「わからない」は24.8%となっています。

家族構成別にみると、「自宅」と回答した方は、1人暮らしが43.0%で、他の家族構成に比べて最も割合が少なくなっています。

※ この設問は単数回答（該当する選択肢を1つだけ選ぶ問）でしたが、選択肢を複数回答した方が多くいたため、回答の全数を集計しています。このため、数値の合計が100%を超えています。

【人生最期の場所】



【人生最期の場所：家族構成別】

	自宅	病院等の医療施設	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホーム等の福祉施設	兄弟姉妹等親族の家	子どもの家	その他	わからない	無回答
全体 n = (2,497)	49.1%	19.1%	6.3%	4.8%	0.2%	0.2%	2.3%	24.8%	1.4%
1人暮らし n = (477)	43.0%	18.9%	6.7%	6.3%	1.0%	0.4%	2.5%	30.6%	0.8%
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） n = (1,048)	51.3%	18.2%	6.4%	5.1%	0.0%	0.1%	2.2%	23.3%	1.4%
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） n = (120)	49.2%	18.3%	10.8%	5.0%	0.0%	0.0%	0.8%	24.2%	3.3%
息子・娘との2世帯 n = (375)	52.0%	23.2%	3.5%	3.7%	0.3%	0.0%	3.5%	19.2%	1.3%
その他 n = (429)	48.0%	17.7%	6.5%	3.0%	0.0%	0.0%	1.6%	27.5%	1.4%

